

次ページへ続く

Continued on next page...

カリフォルニア大学バークレー校旧三井文庫写本目録稿

長谷川 強 渡 辺 守 邦
伊 井 春 樹 日 野 龍 夫

1. 本稿は、カリフォルニア大学東アジア図書館所蔵三井コレクションのうち、別置されている写本の目録である。
1. 同文庫は昭和25年に現地に移ったのち、公開されているが、写本は未整理のまま同館のあるデュラントホールのベースメントに別置され、現在に至った。
1. その間、昭和32年に、京都大学小倉親雄教授が一年間滞在して調査をおこなったが、未完に終わったとのことである。本稿を成すに当り、小倉氏調査の成果を参照させていただいた。
1. 整理に当って採用した手順は以下に述べる通りである。まず、カード（図書カード）の一連番号に基づいて、書物とカードとの照合をし、つぎに、この番号に従って、書物の配列を行った。
1. 本目録の整理番号は、カードの分散を防ぐために施された一連番号を利用したものである。したがって、同一番号があったり（2537が2枚ある）、カラ見出しのカードにも番号が与えられ、反対に現物が有ってカードのなかったもの、また、今回の調査でカードの発見されたものに番号がなかったりする。後者については、末尾に置いて、新に番号を与えた（整理番号2820以下）が、これらは後述する「配列の原則」に従っていない。
1. 書名は、カードに記されているものを礎稿とし、表記を通行のものに直すとともに、一つ一つ現物に当って確認し、また誤りを訂した。内題または外題によることとし、仮題を〔 〕に、角書を（ ）に入れて示した。また、書名に問題のある場合、摘要に注記した。
1. 書名は、部首と画数によって配列されている。これはカードの配列の原則に従ったゆえである。その検索の便のため、別に欄を設けて、頭字一字を掲げることにした。ただし、現物と照合確認の結果、訂正を行ったものについては、この「配列の原則」に外れることになるが、これについては、別に添える「頭字一字索引」を活用されたい。
1. 分類番号は、旧三井文庫におけるそれであって、写本に関しては、現在は使われてない。が、伝来を証するものと考え、あえて添えることにした。「宗」は三井宗辰の集書、「鵝」は土肥鵝軒の集書の略である。
1. 冊数は、書物の形態としての数量のみ（単位は冊、袋綴以外のものについては数詞を添えた）を記し、内容に基づく巻数の表示は割愛した。
1. 摘要には、まず、分類を示し、次に、書誌的条項と内容についての説明を記した。

1. 合綴合写または数種の作品が一包あるいは一つの帙に一括されている場合、その状態を作品の整理番号によって摘要の欄に示した。この場合、摘要は、その最も早い整理番号の項に記した。

1. それゆえ、摘要は、必ずしも、その書物の正式書名の項にあるわけではなく、場合によると、カラ見出しにあたりすることになったが、その不自然さを改めることをしていない。書庫内において、現物が、この原則に従って整理配置されているから、である。

1. 本稿は昭和58年度科学研究費（海外学術調査）による成果の一端である。忽卒の間の調査であり、不徹底の感を免れない。また、目録としての体裁を整えるために、割愛せざるをえなかった記事の少なくないことをも遺憾とする。目録稿を称する所以である。

1. 今回の調査は、カリフォルニア大学バークレー校関係当局の格別の配慮なくしては成果を期しがたかった。とくに同大学ウィリアム・マッカラウ教授、東アジア図書館の館長ドナルド・シャイプリー教授、由谷英二氏、石松久幸氏をはじめとする司書の方々に感謝申しあげる次第である。

1. 調査に当り、坂内泰子氏、Roger Sherman氏その他の方々の協力を得た。

1. 三井コレクションの写本は、今回の整理により、閲覧が可能になった。今後、閲覧および複写は、本稿の整理番号によって行われる。

1. 旧三井文庫本の現状は次の通りである。朝鮮本（浅見倫太郎集書）・明清刊本（今関天彭集書）・法帖・地図等はコレクションとしての旧態を残してベースメントにあり、本目録以外の版本は、デュラントホール3階、バイオロジー図書館、リッチモンドの保存図書館に分置されている。

1. 本稿に併せ、三井文庫の概要および移転の経緯等を記した一文と、三井文庫関係の印記の一覧を添えた。

1. 三井文庫関係の印記は、今回、シャイプリー館長の特別の許可により、採取することができたもの、いずれも原寸である。263（78）ページ左の「宗辰・所集」「三井文庫」の二印は新町三井家の三井高辰氏（1845～1922）所用のもの（宗辰はその表徳）。他の印については未考。

1. なお東アジア図書館の所在地は次の通り。

EAST ASIATIC LIBRARY (Head Dr. Donald Shively)

Durant Hall, U. C. Campus,

Berkeley, California, 94720 U. S. A.

〔追記〕 小倉親雄氏にお願いして、バークレー三井コレクション調査の思い出を寄稿していただき、本稿に花を添えることができた。記して感謝する次第である。

整理番号	冊名	分類番号	冊数	摘要
1	一代要記	宗ハ16	10	通史 延宝9一条冬嗣書写本を底本とする
2	一堂答問	鶴哲4	1	儒学 扉題「一堂問答」 南紀高島邦筆記 →2
3	一堂答問		→3	
4	一夜百吟	鶴歌126	1	俳諧俳句集 卷末に「良礎」とあり 皆川良礎詠
5	一夜百詠	鶴歌146	1	俳諧俳句集 署名はないが良礎筆 二字老人緑山の批点あり
6	一字弁	宗ヲ222	2	字典 尾題「字弁集」 宝暦7文会堂岡琴序 極良軒岡野琴糸編
7	一尾殿口決	宗ト121	3	茶道
8	一座会	宗ソ38	1	真宗記録 扉題「金鏡問答記大谷光隆寺知空集」元禄3写
9	一橋公親簡	鶴総324/1	1	書簡 慶応元写 金花堂の用箋使用
10	一遍上人夢	宗ソ446	1	時宗法語
11	七夕之詩歌	鶴総324/18	1	法帖 慶応元松平右京亮写
12	七字十字日取		1帖	兵法 寛永19岡本半助著「岡本半助武御伝書」全14帖のうち 他の各帖外題、軍神可祭作法事・懸待極位之日取・虎巻勝負・統領巻・両家団日取・獅子巻・徳日炊殺・三九之秘法・秘法巻・四十二章巻上・同下・大秘法巻・天全集と一括 →16,913
13	七種茶碗附千家景図	宗ト183	1	茶道 田中吉左衛門著 高瀬信明写
14	七経睡題略	鶴哲163	2	漢籍注釈 巻八之一・二(孟子)のみ 木口題「孟子睡題」
15	七経睡題略	鶴哲164	3	漢籍注釈 巻一之一～三(易経) ⑥「睡題略易経」 15のツレただし別筆 →12,913
16	三九之秘法			
17	三井系譜	B982/27	1	系譜 信州諏訪三井家の系譜 天保5までの記事あり
18	三代好器寸方伝	宗ト46	54	花道 「松月堂古流生花伝書」と総称すべきものは心軒一露の伝書 一冊ごと「生蒔出生伝」など外題を異にす →1759
19	三光院香記	宗ト85	1	香道
20	三先生伝実私記	鶴史339	1	伝記 明治22中島慶著 亀田鵬斎・綾瀬・鶯谷の伝記 鵬斎肖像あり
21	三先生隨筆		1	隨筆 東都晋代山人・玉田逸民・文関処士輯 →2633
22	(粟津義仲寺芭蕉堂)三十六哥仙	鶴歌61/2	1	俳諧撰集 →244と合
23	(香道)三十六法	鶴画537	1	書道
24	三国年数箇中鈔	宗口99	4	年表
25	三壺問書	宗口154	16	雑史 小倉屋太右衛門蔵
26	三壺記	宗口403	10	雑史 ⑨「三壺問書」 ⑩文政五壬午歳仲春
27	三壺記追加	宗口114	1	雑史
28	三好亭回駕記	宗ル482	1	雑史 ⑨「光源相公三好亭回駕記」 ⑩文政二年己卯秋七月七日令書写畢鈴木真爾
29	三好家之事	宗ル307	1	雑史 ⑨「三好家摂津ノ荒木覚書」
30	三好記	宗ル447.2	1	雑史 文亀4成
31	三州奇談	宗 234	1	隨筆 ⑨「幾記多康久佐」
32	三州岡崎年始御礼之次第		1	雑史 ⑨「三河岡崎ニ而毎年正月二日ニ国衆之同名衆御礼之次第」「大樹寺御由緒略記」「参州額田郡大珠山龍海院由来」「遠州光明寺談」 →188,456,697,698,1051,1429と合
33	三度目河中島合戦	宗ハ85	3	雑史 ⑨「三度目河中島合戦之事」
34	三日之庵	L213/5	3	俳諧 野坡著 帝國図書館本の正4写
35	三時鈴事		1	寺院 玄深写 →257,1692,2008,2357,2391,2567と合
36	三朝逸事	宗口225	15	雑史
37	三条中山口伝	宗ツ141	2	有職故実
38	三条家伝		30	家法 三条西・高松・園池・武者小路・風早・花園・徳大寺・滋野井・河鮎・梅園・裏辻・中園・高丘・西園寺・清水谷・今出川・大宮・山本・洞院・小倉・正親町・藪・西四辻・四辻・橋本・阿野・姉小路・正親町三条・押小路家
39	三河之物語	宗ハ171	1	雑史
40	三河国二葉松	宗ホ517	3	地誌
41	三河後風土記	鶴史215	22	雑史 ⑨「三河後風土記大全」 巻3～46
42	三河後風土記	宗ハ91	23	雑史 ⑩「参河後風土記」
43	三河物語	宗ハ172	3	雑史

44	三	三河物語	宗ハ167	2	雜史	小泉忠湛写
45		三河物語		19	雜史	㊟「選老物語」 →48,1315,2537と合
46		三河記	宗ハ169	1	雜史	㊟「続選老物語 三河記」
47		三河記	宗ハ170	1	雜史	享保6写
48		三河記脱漏		19		→45,1315,2537と合
49		三浦子遺書	宗ル35	1	記録	㊟「御三代様江御奉公仕候覚書」 ㊟戊辰季夏吉村球
50		三王外記	B249/1	2	雜史	
51		三王外記	鶴史84	1	雜史	
52		三王外記	鶴史86	1	雜史	文化4 石田惟善写
53		三王外記	鶴史85	1	雜史	文政2 岡子明写
54		三社道中記	宗ホ314	1	紀行	㊟「三道中記」 秋葉山・伊勢両宮・金毘羅 文政9 花月亭老人自序
55		三節会次第	宗ツ1	1	有職	寛文2写
56		三観答話	宗ソ267	1	通俗	仏母 嘉永4 自序
57		三綱編	鶴哲593	1	教訓	夫婦・父子・君臣の三綱を論ずる
58		三郎谷之碑文	鶴地126	1		(現物なし)
59		三長記	B230/10	14	日記	「三条長兼記」 享保7写
60		三体史論	鶴總324/10	1	母道	中沢雪城・大橋訥庵等5家の三体書論 安政5 牧野康濟写
61	上	上書		11	記録	「水府公上書」のうち3冊 嘉永6 亜米利加船渡来につき諸家の上書 →201,541,547,1549,1643,1778,2754
62		上朝供奉日記	鶴史107	1	記録	文久3年2月~4月の將軍上洛の供奉日記
63	下	下学老談	宗ヲ142	1	教訓	文化6 奥村尚之跋
64		下条由来記	宗ロ255	1	雜史	(現物なし)
65		下条言志自筆和歌懐紙	鶴画529	15枚	教訓	孝道を富士信仰に結びつけた説
66	不	不二孝御伝之写	K620/18	1	茶道	寛保3~明和8の茶会記録
67		不羨齋会付	宗ト15	1		(現物なし)
68		不老術	宗	1	教訓	見返題「摺物表紙興訓小冊」不鳴鶯」桃山人序 外題下に「桃園」とあり 版本の写しか
69		(教訓)不鳴鶯	K520/53	1		(現物なし)
70	丙	丙丁亀鑑		2	雜記	慶応4の世間風説の書留 明治4写
71	世	世上形勢風説写	B251/25	1		(現物なし)
72		世俗浅深秘抄	宗ツ137	2	雜記	明治26木凡著 上野図書館本の明治43写
73		世の中くさくさ記	A910/35	1	時務	血刑茅議・均田茅議・攘斥茅議・凌河茅議・茅議雜編の5つを収める
74	中	中井履軒茅議集	鶴法65	1	花道	容真流家元成龍斎一如法眼の伝書
75		(容真御流)中伝舛用之巻	鶴花76	1	通史	慶長7山中長俊序
76		中古日本治乱記	宗イ259	9	外交	巻5㊟「中外経緯付記 征戎遺文」巻4末に「天保六十一稿成信友」天保13資愛写
77		中外経緯伝草稿	宗ロ56	5		表紙に「長承四年二月任大将 頼長十六歳」とあり
78		中宮大進知信記	宗ツ58	1	部類記	
79		中宮御産部類	宗ツ24	1	史論	㊟「東西標準太平論」全10巻2冊で80より内容豊富 →1397
80		中山夢物語	宗ル164	2	史論	80と同内容 巻末に「金森隆夫所持」
81		中山夢物語	宗ロ440	2	四書注釈	安積良斎著 松原穆編録
82		中山卿東問答	宗	1	四書注釈	伊藤仁斎著 →670と合
83		中庸略説	鶴哲277	3	四書注釈	荻生徂徠著 篠崎三島写
84		中庸發揮	鶴哲263/2	1	家伝	中御門・東園・持明院・園・高野・石野・壬生・石山・六角家
85		中庸解	K200/33	9	兵書	
86		中御門家伝		5	和歌	「土御門院御百首」 定家、家隆の点を移す
87		中興源記	宗ル374	1	城郭	図に彩色
88		中院御百首	宗 169	1	城郭	90に比べて簡略 図に彩色
89	主	主図合結記	宗ヲ97	10	武家故事	㊟「驛方日用集主客之巻」 3巻のうち中巻のみ存
90		主図合結記	宗ヲ76	5	家伝	久我・東久世・植松・愛宕・久世・中院・六条・岩倉・梅溪・千種家
91		主客之巻	宗	1	茶道	図解
92	久	久我家伝		10	物語	絵画に関する奇談小説 文化5 生生序
93		久田家伝来灰形	宗ト63	1	神祇	㊟「久能山覚書」 家康の生前没後の種々の奇瑞を記す →96
94		久美物語	宗ロ135	3		
95		久能山東照宮御奇瑞覚書	宗ソ287	1		
96		久能山覚書		→95		
97A		久能記	宗ル171	1	記録	家康の太政大臣就任儀式と葬儀の次第 ㊟文政三年五月於書林求之宮田蔵書

97B	乙	乙卯雑抄	A 920/新/2	1	雑録	吳覃譜等15部の抄録。外題下に朱で「兼葭堂本」とあり、巻頭目録は兼葭堂自筆
98	九	(九冊の冊)			雑録	個別の題名を持つ冊をとりあわせてつけた題 →561, 2214, 2215, 2505
99		九山球拾録	鶴総167	1	雑録	近世初頭から明治初年にかけての雑多な事項を記す
100		九州兵乱記	宗ハ182	1	戦記	㊦「九州紹運録 一名九州兵乱記」 →101
101		九州紹運録	宗ハ182	1		
102		九条年中行事	宗ツ148	1	年中行事	
103		九重双昏	宗ヌ71	2	建築	「新内裏詳図及附説」か 天巻は寛政元落成の新内裏指図 地巻末に「賢聖障子名臣冠服考証」を収める
104	乞	乞食袋	A 910/新/67	2	随筆雑著	
105	事	事語繼志録	宗ル313	2	伝記	松平伊豆守の伝記
106		事実文編提要	鶴史345	1	伝記	正編は収録人士の生没年を記し、附録・拾遺は目録のみを掲げる
107		事蹟合考・南向茶話	宗ロ253	1	雑記	活東子自筆か ともに安政4活東子識語あり
108		事蹟合考	宗ロ363	5	雑記	瀬名貞雄・大田覃の識語ある本の転写本
109	二	二代集	宗イ1	1	歌集	池田山人業納 宝永2識語あり
110		二天流伝記	宗ロ212	1	兵法伝書	享保12丹治峰均入道廓巖翁書写本の写し
111		二尊院文書	宗ニ80	1	記録	史料編纂掛本の大正元写
112		二川随筆	宗ロ270	5	随筆	
113		(遊歴)二度之旅集	鶴歌58	1	俳諧	東雲楼以明著 文化7序 文化12写 版本写か
114		二木豊後入道寿齋覚書	宗ロ408	1	戦記	「寿齋記」
115		二条良基公記	宗 242	1	俳諧	書出し「二条大相国良基公の御記に遁世を……」
116		二水記	宗ツ151	20	記録	文亀4～享禄5
117		(二程治教并朱子行状抄)	鶴哲200	1	漢籍	㊦「二程治教録上(下)朱子行状」 ㊦「二程治教録朱子行状抄略」
118		二階堂伯耆入道本記	宗ル315	1	記録	扉題「円太曆 天龍寺供養武将行粧武家方奉行二階堂道本記」
119	井	井上伯講話	D105/38	1	経済	井上馨著 明治32講演
120		井伊家譜	宗ニ45	1	系譜	
121		井家美談	宗ル358	9	雑史	㊦「井伊美談」
122		井伊軍記	宗ロ449	2	雑史	
123	五	五事略	宗ル33	3	考証	
124		五代史欠文		1		(現物なし)
125		五元集	宗	1	俳諧	
126		五竹坊俳諧集	鶴歌86	1	俳諧	
127		五竹庵俳諧集	鶴 85	2	俳諧	
128		五臣注文選		1		(現物なし)
129	亜	亜米利加船浦賀入船問書	宗ロ198	8	雑史	「安政四巳問書」「安政六未問書」等
130		亜墨利加使節建白	鶴史210/2	1	外交	→504, 633, 635, 1103と合綴
131		亜墨利加使節登場之節御扱之写	B 245/42	1	外交	安政3
132		亜墨利加横文呈書写和解	B 208/33	1	外交	大合衆国英文書簡翻訳 嘉永6
133		亜墨利加登城之事	B 245/39	1	外交	安政4
134	亡	亡名子寐語	鶴哲306	1	漢学	点茶童子筆受
135		亡者の映した写真の説明	宗	1	科学	明治43写 増外人道記
136	享	享保世俗	宗ロ215	1	風俗	
137		享和伊勢勅使記	宗ル126	1	祭祀	㊦「享和伊勢公勅使記」
138	衛	衛中変事録	宗ル96	1	実録	㊦「突未衛中変事録」 安政6松平外記一件
139	享	享和雑記	宗ロ309	2	記録	明治4蓮華邸農写 表紙に「漱芳閣叢書料第一百十又二」とあり
140	京	京師事記・常陽秘鑑	宗ル354	1	記録	安政大獄一件および井伊大老一件
141		京役志	鶴史36	1	雑史	北川長顯録 明治維新鳥羽伏見戦等
142		京極家土蔵諸道具入記抜書	宗ニ64	1	記録	京極家所蔵書籍および巻物
143		(元治元年)京都合戦書留并高札写	B 245/45	1	記録	㊦「京都合戦并焼失高札写其外共書留」 慶応元北川正賢写
144		京都寺院什宝略記	宗ヲ150	1	雑録	㊦「皇都寺院什宝有増記」 太田雅珍写
145		京都大火一件	C 241/41	1	記録	㊦「京都大火記録」 天明8年の大火
146		京都府下名物録(絵巻物)	M210/2	1	書画	明治26西村兼文編 諸寺院所蔵の絵巻物を列挙解説
147		京都服紀図・本朝葬式之図	宗ニ44	1	祭祀	荒木邑幸本の文化2福安写
148		京都法令雑録	宗ル227	1	法令	㊦「法礼雑録」 寛永11～享保17の諸法令
149		京都諸方会附	宗ト11	1	茶道	表千家七世千宗左編か 寛保2～寛延元の茶会記

150	人	人名考	鵜史360	1	考証	㊤「白石遺稿」
151		人相指南	宗ヲ52	4	相法	第1巻末に「明治廿五年九月十五日写揚ケ市原ノ用」とあり
152		人相秘鑑	鵜	1	相法	
153		人相面図秘伝	宗ヲ256	1	相法	山幡流人相判断秘伝書
154		人見私記附録	宗ル380	1	日記	「二田録」第一冊のみ存
155		人見翁雜記	鵜哲312	1	講義雜録	㊤「人見先生自記」 人見璣邑雜録の一
156	今	今川了俊大双紙	宗へ37	1	弓馬故実	安永9 伊勢貞丈録 文化2 伊勢貞春写
157		今川家系図写	宗ヲ199	1	系図	明治31写
158		今市物語	宗ヲ131	1	教訓	㊤「絵本今市物語」 延享3 須賀常成跋
159		今文孝経	宗	1	漢籍	昭和11小沢隆写
160		今日庵書	宗ト201	1	茶道	
161	仁	仁和寺御伝	宗ソ85	2	寺院	㊤文禄2 亮淳
162	以	以呂波声母伝	宗ヲ174	1	語法	芝山広豊著 延享3 写 表紙に「芝山家蔵書」とあり
163	令	令私考	宗ル123	8	法令	㊤享保9 近衛隆英
164	仙	仙石記	宗ロ66	2	記録	
165		仙童寅吉物語	宗ヲ280	4	神道	
166		(仙台藩総士進退名寄)	B975/30	1	武家	㊤「総士進退名寄」 背と木口に「仙台藩」とあり
167	仰	仰恋鈔	宗チ43	21	和歌	「古今仰恋抄」 享保5～7写
168	伊	伊佐新次郎	鵜哲482	1	修身	紙片に「伊佐新次郎著 岑満ト号ス行誠上人ノ弟子」とあり
169		伊勢一色古文書並事蹟取調書	宗268	1	古文書	明治39白塚喬太郎他調査
170		(慶長年中)伊勢兵乱記	C244/24	1	雑史	米山七十郎著 大正2写 原本伊勢山田御巫清白家蔵
171		伊勢北郡諸士録・勢州福島家古文書	宗ヲ143	1	史料	明治16重勝写
172	伊	伊勢国分限帳	B975/3	1	史料	天保10校
173		伊勢国司記略	宗イ260	6	家伝	巻1～8 天保11斎藤正謙著
174		伊勢国司記略	宗ロ372	3	家伝	巻5～9
175		伊勢国志	宗ホ339	3	地誌	
176		伊勢家鞍鑑判形秘極集之四拔書	宗	1	印譜	㊤「要馬秘極集」(巻之四)
177		伊勢志	C244/64	4	地誌	明暦2成
178		伊勢新名所和歌		1	和歌	㊤「新名所絵詞合」 中臣定忠他詠 前大納言為世判
179		伊勢河曲鈴鹿菴芸郡志抜書	C244/75	1	地誌	
180		伊勢物語聞書		1	物語	㊤「伊勢物語註」 書出し「此物語を伊勢と云へる事古注の儀には男女の……」 室町末写
181		伊勢路紀行	C180/4	1	紀行	天保8 木積舎写 城戸千橋朱巻入
182		伊勢軍記	C244/81	1	雑史	津松阪湯田野
183		伊勢軍記	宗ニ154	1	雑史	
184		伊勢風土記	宗ホ323	1	地誌	日本惣国風土記のうち
185		伊勢の巻	B230/25	3	雑史	南北朝末室町期伊勢の戦乱史 帝国図書館本の天正3写
186		伊水温故	C244/13	3	地誌	伊賀・山田・名張郡
187		伊藤仙右衛門浅草観世音蒙靈験事	宗ソ88	1	実録	尾題「鎌倉女敵討」 これが本来の題名か 標題は冒頭の章の題をとったもの 寛政3写
188		伊賀之者御由緒覚書	宗ル413	7	雑史	→32、456、697、698、1051、1429
189		伊賀記並伊賀史	鵜	1	雑史	北島親房・大江広房 明治45風鏡郎写
190		伊賀者由緒書	宗ル412	1	家伝	㊤「由緒書」 第1冊享保11、第2冊子2月、第3冊宝永7、第4冊文化5写
191		伊賀風土記	宗ホ321	1	地誌	㊤「伊賀国風土記」 天正2 中原忠胤在判本の写し
192		伊路波能毒	宗医26	1	医学	食物をイロハ分けにして能毒を解説する
193		伊達家騒動記	宗ロ300	2	実録	
194		伊達成実記	宗ハ139	2	戦記	「伊達日記」
195		伊達記	宗ル366	3	戦記	㊤「伊達日記」
196		伊達鑑	宗ル411	10	記録	9巻本
197		伊達温智集	宗一17	2	地誌	㊤「明和元年申十月吉祥日」署名の部分切り
198	休	休明光記	宗ル301	9	雑史	挿絵に彩色なし
199		休明光記	宗ロ222	9	雑史	挿絵に彩色あり
200		休明光記	C270/6	5	雑史	9巻5冊 挿絵に彩色あり
201		休明光記		1	雑史	巻1のみの写本 →61、541、547、1549、1643、1778、2754
202	但	但馬風土記	宗ホ320	1	地誌	日本惣国風土記のうち

203	作	作州津山城御請取始末記	宗ル	1	記録	㊦「作州津山城御請取始末覚」 文政11興津長後写
204		作法故実	宗ツ	1	有職	
205		作者部類	L212/19	3	和歌	宝暦9写 ㊦「明治二十九年春二月於京都得之曉氷堂蔵」
206		作者部類	L212/19	3	和歌	奥書「本云建武四年七月六日……元盛判……書写了刑部侍郎光之」
207	佐	佐久良塚集	鶺鴒77	1	俳諧	扉題「以哉先師二十三回忌追福/佐久良塚集/美濃久呂埜風庭坊編」
208		(大原氏)佐々木系図	B982/14	1	系図	㊦「佐々木系々図」 嘉永3奥書 大正3写
209		佐々木氏系譜	B982/12	1	系図	㊦「佐々木氏系図」 明応4奥書 宝永2佐々木玄龍写
210		新定佐々木氏系譜	B982/18	1	系図	宝永5室鳩巢編 前田家本の明治38写
211		佐々木軍記	宗イ260	11	軍記	
212		(下総相馬郡)佐倉宗五郎物語	宗ロ401	1	実録	5巻1冊
213		佐渡国風俗土産	本居記480	1	地誌	
214		佐渡風土記	宗ホ63	4	地誌	213とは別本 「上杉系図 本名長尾」を付載
215		佐藤一斎先子行状	鶺	1	伝記	皇考故儒員佐藤府君行状(文久元)・惟一佐藤先生墓碑銘(文久3)・(伝記)(安政6)を収める
216		佐野三代記	宗ル308	1	実録	享保元深野久常写
217	佛	仏蘭西国条約并税則	J320/26	1	外交	
218	但	但州夢物語	宗ハ205	5	実録	平野国臣の乱一件 第1冊見返に本屋仲間の貼紙あり
219	位	位署式私考	宗	1	有職故実	安永2写
220	侍	侍中群要	宗ツ	2	有職故実	10巻 天保13購入の識語あり
221	佩	佩弦斎史論	鶺史155/2	1	史伝	青山延光著 安政5柴田松庵写 「伝疑小史」(文化元中井積徳著)を合 →259
222	保	保元四年記	宗ハ213	1	史料	書出し「保元四年/正月/一日丙辰天陰自夜雨降卯刻頭左中弁俊憲……」
223	俊	俊頼髓腦	宗チ60	2	歌論	
224	信	信州川中島五度合戦之次第	宗ハ87	1	軍記	日本通鑑編纂資料として上杉家から幕府への書上
225		信濃風土記	宗ホ322	1	地誌	㊦「日本惣国風土記第五十九信濃国」 寛文10通村編
226		信濃国諏方神社ノ事	宗レ66	1	地誌	㊦「信濃国諏方神社之事附湖之事」 弘化2編
227		信長治世記	宗ハ66	10	通史	
228	俗	俗雑法	宗 467	1	雑史	㊦「俗雑法」
229		俗語註解	鶺語118	1	俗語	
230	倭	倭漢文藻要語抜粹	鶺語113	1	俳諧	「和漢文操」の抜粹
231	修	修学院御幸御道震記写	宗ロ258	2	記録	享保6.9.27~同16.10.28の間25回の行幸記
232		修学院御幸記	宗ロ105	1	記録	文政7、同8の2回の御幸記
233	信	信濃路之記	宗ホ458	1	俳諧	㊦「志奈乃志の記」 みのむし庵著 安政元の成か
234	俳	俳句詠草	詠80	140枚	俳諧	写6組105枚 刷8組35枚 越前・美濃中心文化~明治
235		俳稿	鶺	1	俳諧	標題は鉛筆による表紙直書の仮題
236		俳諧之秘記	宗チ51	2	俳諧	菊堂旧蔵 同人写か
237		俳諧二十五ヶ条	鶺歌136/2	1	俳諧	→239と合
238		俳諧二見貝註解	鶺歌33	1	俳諧	㊦「俳諧二見貝」
239		俳諧十論	鶺歌136/1	2	俳諧	→237と合
240		俳諧古今抄	宗チ46	3	俳諧	版本の写
241		俳諧天爾波抄	鶺歌140	6	俳諧	版本の写
242		俳諧或論	鶺歌134	1	俳諧	連句作法 黒田左秀写
243		俳諧時宜百箇条	鶺歌138	1	俳諧	俳諧作法 岩国藩何調亭主人蔵本を文化9朝陽館主人写
244		俳諧百人一首	鶺歌61/1	1	俳諧	→22と合
245		俳諧秘書	鶺歌149	1	俳諧	宝暦7五竹坊・同門人興行 文化5雨後庵掃一坊写
246		俳諧秘要抄	鶺歌84	1	俳諧	㊦「五筑老師口授略抄」 文化5雨後庵掃一坊写
247		俳諧衆議	鶺歌148	1	俳諧	版本の写か
248	假	仮名装束秘抄	宗へ222	1	装束	「雅亮装束抄」
249	傍	傍観録	鶺史196	1	雑史	ペリー一來航等開国をめぐる諸事情
250	備	備中国兵乱記	宗ハ186	1	戦記	㊦「備中国兵乱記」
251		備中府志古戰場	宗ホ365	4	戦記	㊦「古戰場備中府志」 全5巻のうち巻3欠
252		備前国城主考	宗ホ365乙	1	雑史	

253	備	備志	鶴	1	雑史	表紙左に「為義」とあり 織田・今川氏および中国古代資料に関する抜番
254		備藩典録	宗ル172	4	史料	㊤「備藩典録有斐録」(第4冊)
255	傳	伝信録跋萃・琉球志	宗ニ43	1	地誌・雑録	天保3 阪宅甫著
256		伝心録	宗ロ275	2	雑史	寛永の四君子十善人のこと
257		伝法灌頂教授作法		1	仏教	玄深写 →35、1692、2008、2357、2391、2567
258		伝習録欄外番	鶴哲280	3	漢籍	天保元一斎居士稿 明治25写
259		伝疑小史	鶴史155/1	1		→221
260	儀	儀礼釈宮補図	鶴哲41	1	儒学	享和3成 赤城関四序
261	備	儒仏神鏡草	鶴哲440	1	思想	寛政2 佐々木独歩撰
262		儒林伝	鶴史347	1	儒学	渋井太室著 寛政4 椿亭主人写
263		儒林姓名録	鶴史293	1	儒学	㊤「照朝儒林姓名録」 明和9 蘇門山人服天遊跋
264	元	元旦記	宗ツ3	5	記録	享保5～元文3 元文4 源珍亮写
265		元和先鋒録	宗	5	雑史	明治42 嵐伊孝写
266		元和先鋒録	宗ハ121	2	雑史	㊤「大坂夏御陣御先手勅方覚書」
267		元和日記	宗イ229	10	雑史	㊤「慶長日記」(16巻8冊) 「元和日記」(4巻2冊) ㊤「慶元日記」 →1086、1094
268		元寇始末	鶴史59	1	記録	宮田敏貞序 天明7 小宮山昌秀録
269		元寇物語	鶴史60	5	小説	桜痴作
270		元文流騎馬之記	宗	1	遊戯	元文3 近藤寿俊 天保13写
271		元服略式(伊勢本)	鶴史676/2	1		(現物なし)
272		元服略式	宗	1	有職故実	寛政9 伊勢貞春記
273		元治秘録抄	宗ロ312	15	雑史	
274		[元治秘録抄]		10	雑史	
275		元治雑談録	宗ロ210	3	記録	幕末の御触書や諸侯の建白書を収める
276		元禄御預人記	宗ロ386	6	記録	5冊目まで赤穂浪士諸家お預け、6冊目は本多出盤守の水野監物へのお預け一件
277		元重書札法式	宗へ321	3	有職	㊤「元重書札」 天文8 秋葉備中守元重
278		元長卿記	ツ9	23	記録	延徳2～大永5
279	先	先帝入水	詠76	9	平曲・和歌	7冊目までは「先帝入水」ほか平曲節付本、他2冊は「和歌知頭集巻三」と「はな見の記(光広)」(文政9写)
280	兎	兎刀伝	B920/D4	1	雑史	京都大丸屋刃傷一件 前巻に「京都儒者芥川氏之作り凶刃刀伝ト名クル一巻也」
281	免	免状		1巻	馬術	㊤「大坪本流武馬之道」 文久2 藤原吉根 →282、657～666、1236、2697と同一箱入
282		免状		1巻	馬術	㊤「大坪本流武馬之道」 元治2 藤原吉根 →281、657～666、1236、2697と同一箱入
283	入	(庚戌)入京紀行	鶴地124	1	紀行	㊤「遊京紀行并日記」 嘉永3、同6 両度美濃より京への旅行記
284		入宦第一義	鶴総324/3	1	漢学	家田大峯著 外題牧野康濟手写
285		入木系譜	B982/25	1	書道	最後有栖川熾仁親王に至る
286	内	(正風俳諧)内秘集	鶴歌139	1	俳諧伝書	㊤「此書は古翁之定にて蓮師より段々道統の宗匠へ授与の書也云々」
287		内務省社会事業調査会議事速記録	G200/9	5	記録	
288	兩	両宮撰社神名	宗レ26	1	神道	
289	八	八事山慈雲比丘肖像并自題辞	B990/2	1枚	書画	㊤文化2 南無仏庵蔵
290		八十四態	宗	1		(現物なし)
291		八掛図	宗ヲ177	1	易学	
292		八幡宮靈驗記	宗レ64	8	神道	
293		八百八町穴たらけ	C211/39	1	地誌	帝国図書館本の明治40写 「名物拝見自由自在」(稀書複製会所収)か
294		八脉論	鶴歌68/1	1	俳諧	童平撰 →1294と合
295		八門遁甲秘訣	宗ヲ202	1	兵法	外題右肩に「孔明」
296		八駅便覧	宗 340	1	道中記	「五駅便覧」の誤り 五海道の道中案内所収最も新しいもの文政5
297	六	六朝文絮鈔		2巻		(現物なし)
298	公	公儀御定書百箇条	鶴総104	1	法令	享和2 松平右近将監 嘉永4 本荘氏写
299		公慈明則	宗ル98	5	隨筆	
300		公武大概記	H210/3	1	雑史	帝国図書館本の昭和4写
301		公用便覧	B249/12	1	史料	表紙に「安政己未年」と朱書
302		公祐詠草	詠1	31通	和歌	文化7～天保6 御会始 聖廟御法楽ほか
303		公福御集雑	詠77	1	和歌	「和歌集」(家仁他詠)・「和歌集」(敦子他詠)・「風俗歌十種」・「狂歌集」(明治初年) →319、391、1040、1081、2092、2203、2322と合帙
304		公卿補任	宗ル100	7	補任	
305		公福詠草	詠22/39	860通	和歌	正徳4 他

306	公	公程閑暇雜書	宗ル382	3	雜記	④宝永3 浅川伝右衛門
307		公刃極秘書	宗ル447	1	雜史	水戸前中納言齊昭御公儀江内密言上之書 嘉永6 田重教写
308	兵	兵家古戦伝後編	宗ロ197	5	兵法	岡崎康邦著 杉本政敏写
309		兵家茶話	宗ロ13	7	雜史	日夏繁高編輯
310		兵家茶話	宗ロ259	5	雜史	④「兵家茶話」(12巻4冊) 「統兵家茶話」 (2巻1冊)
311	其	(太刀小袖)其外披露之記	宗	1	有職故実	表紙右に「伊勢」とあり
312		其席	鶺鴒73	1	俳諧	鶴々亭声之・一止他詠
313	兼	兼仲卿記	宗ツ35	1	記録	建治3 後宇多院御元服 安永9 写
314		兼山麗沢秘策	宗ロ317	8	雜史	正徳元~享保8 文政9 源正路(朱書)
315	冬	冬至文并附録・講義	鶺鴒199	1	漢学	佐藤先生冬至文序(天保4)
316	冷	冷泉家乃門下歌集	L212/46	1	和歌	延享四年七夕七十首・冷泉家大祖長家卿七 百回忌爲村勤他
317		冷泉家伝		4	家伝	冷泉(2冊)・入江・藤谷家
318	出	出品解説書(松阪産木綿織物)	E70/12	1	物産	明治23第三回内国勲業博覧会
319		出雲国名勝和歌	詠77	1	和歌	→303、391、1040、1081、2092、2203、2322 と合帙
320	分	分灯照鈔	鶺鴒321	3	隨筆	安政7 太田信元著
321		分福茶釜註解	宗ト190	1	考証	茂林寺の茶釜由来
322		分門瓊碎録	鶺鴒322	2	医学	至大元年環溪書院刊本の写 目次に全20巻 とするが、本文は13巻まで
323	切	切支丹根本由来実記	鶺鴒420	1	宗教	④「切支丹由来記」
324	刑	刑法類纂	鶺鴒21	1	法律	卷末に「横山由清先生稿本カ」とあり 元 老院の用箋
325		刑罰叢秘録	宗ヲ	1	法律	
326	刪	刪補年中行事秘録	宗ヲ80	12	儀式典礼	④「(刪補秘録)年中行事」 乙丑孟夏 京春堂写 →950
327	利	利家夜話	宗 48	5	伝記	前田利家の伝
328		利久家之図	宗ト69	1	建築	茶室の指図 明治39抄出写
329		利久三百五十年忌会記	宗ト138	1	茶道	不審庵旧蔵
330		利久家寸法	宗ト203	1	建築	328と同内容
331		利久形道具寸法絵図	宗ト210	1	茶道	寛政11刊版本の写
332		利久式百五十年忌会記	宗ト200	1	茶道	大福帳綴じ一冊 333の草稿か
333		利久式百五十年忌会記	宗uncl	1	茶道	332に同じ ただし冊子
334	初	(御流容真)初伝三才之巻	鶺鴒花75	1	花道	御流家元成龍齋一間法眼(押印) 万延元 75とツレか
335		初伝奥十八景	宗 166	2	美術	④「中伝拾景雛形」(坤之巻) 文化13景雲 堂友月(押印) 盆砂の伝書 同類の反古紙背を用いる
336		初学琴譚	鶺鴒11	1	音楽	
337		初心集主乃心得	宗ト119	14	茶道	13冊以後④「初心集考乃心得」 遠州流
338		初瀬ものがたり・二人びくに	宗ハ215	1	物語	扉(目次)に「初瀬物語上下/いはやのさ うし/さるけんし」とあるが、内容は標題 のごとし
339		初而御来幸ニ付御参観并御暇 御願一件	B251/23	1	願書控	明治元佐伯藩主梶川実相
340	制	制度叢話	鶺鴒46	1	政治	④「爲政必読」とする巻もあり 百科全書 的構成 明治期か
341	前	前巻口伝百ヶ条	宗へ170	1	花道	春古洞齋門人古遊軒貞我
342		前田創業記	宗ル209	3	伝記	延宝3 加陰翁徐行子自序 前田利家の一代 記
343		前田御年譜	宗ル420	1	系図	加賀前田家
344	加	加州家分限帳	宗ヲ201	1	名鑑	④「加州御分限帳」 安永10成 加賀前田 家家臣 いろは別
345		加州銭屋一条問書写	H221/52	1	記録	④「加州銭屋五兵衛一条問書写」 大正10 写
346		加賀太守菅原利光大坂出陣日 記	宗ル313	1	記録	
347		加陽紀年	宗ニ31	4	家伝	天文7 誕生より慶長19に至る前田利家の伝 記を主とした前田家の通史
348	助	助字法	鶺鴒116	1	語学	「皆川頼印」の印あり
349		助字雅	鶺鴒87	1	語学	「三宅観瀾自筆」と記す紙片を挿む
350	勇	勇士物語	宗ロ461	1	雜史	元禄16刊版本の写
351	勅	勅使岩倉卿毛利家豊栄社御参 向一件	C253/1	1	記録	三井家編纂分室用箋を使用
352		勅幣類聚	宗レ5	1	幣使部類	④「伊勢幣使部類」 後朱雀~龜山
353		勅幣類聚	宗レ22	1	幣使部類	④「伊勢幣使部類」 持統~三条
354		勅撰外名所部類	宗チ6	3	和歌	勅撰集以外の歌枕部類
355	勢	勢免天話草二編	宗 95	1	隨筆	諸書より孝行の話を抄出
356		勢州一志郡松崎鎮主華表奉加 驛	K610/32	1	神社	延宝7 東海老人釈斎賢作 松崎鎮守社に鳥 居奉加を勧める文
357		勢州一色村取調書類	宗ニ269	1	記録	同地の三井に関する文書収録

358	勢	勢州兵乱記	C244/23	1	記録	神戸佐左衛門良政が寛永15に紀伊大納言に提出した、南北朝期よりの伊勢国諸家興亡の記録 元禄3写
359		勢州松阪潮田主水開運記	宗口202	2	実録	→1368
360		勢州記録	宗ル273	1	神社	伊勢両宮に関する文書・記録の抄出
361		勢州軍記	宗ハ175	3	雑史	中世より秀吉のころまでの伊勢国諸家興亡記
362		勢州軍記	C244/21	2	雑史	361に同じ
363		勢田川浚訴詔状	宗ニ24	1	治水	寛延4
364		勢陽俚諺	宗ホ248	6	地誌	伊勢国地誌
365	勸	勸修寺家伝		2	家伝	勸修寺家(2冊)
366		勸修寺文書	宗ニ88	1	記録	史料編纂掛影写本の正2写
367	北	北小路家伝		1	家伝	
368		北山抄	H240/31	9	有職故実	全11巻のうち巻9・10欠
369		北島志	鶴史209	1	地誌	巻1のみ存
370		北条分限郷郡村略考	宗ヲ115	2	地誌	「鉢形北条分限録」と一括 明治16写
371		北条家分限帳	宗ヲ168	1	名鑑	
372		北条師時伝	宗口445	1	伝記	宝永4 摂州秀松藤吉郎経定述
373		北条時村伝	宗口444	1	伝記	宝永4 摂州秀松藤吉郎経定述
374		北条経時伝	宗口441	1	伝記	宝永3 摂州秀松藤吉郎経定述
375		北海道志義経事蹟考	鶴	1	地誌	
376		北島家系図之扣	B982/31	1	系図	享保六年正法山浄眼禅寺幻住黙堂記之置とあり
377		北島物語	宗イ255	1	実録	7巻 寛永5写本の宝永4転写
378		北島物語	宗イ154	15	実録	15巻 寛永5写本の転写
379		北島多芸ヶ邸割之図並二人名記録	宗 179	2	記録	彩色地図付 大正8写
380		北島親房卿職原鈔	宗 136	1	法制	職原抄の注釈 明暦2 摂州大坂城下逸安散人宗俊写
381		北越記参考	宗ハ177	5	戦記	江川忠隆撰 享禄~天正の越後の争乱
382		北越騷動記	宗口101	1	雑史	「越後記大全」(帝國文庫)と同じ事件に取材
383		北陸道順路	鶴総132	1	地誌	北陸道の道中案内
384	匡	匡遠宿禰記	宗ツ164	1	日記	②「左大史匡遠宿禰記」 観応3年6月~7月
385	十	(十一面観音修法口訣)	鶴哲438	1	仏教	
386		十七史商榷付考	鶴総70/4/1	1	漢籍	②「尚志斎雜鈔」 猪飼敬所自筆か →2404と合
387		十三経歴代名文鈔		16	(現物なし)	
388		十二夜話	鶴歌135	2	俳諧	②「蕉門秘説五竹老師十二夜話」
389		十二月色紙和歌	宗	1	和歌	
390		十二章服攷助語辞和积山海輿地説	鶴哲594	1	雑録	嘉永2 堀堀邑新村亀治元良写
391		十六番各判歌合	詠77	1	和歌	丸岡亮爾他詠「二十番各判哥合」「二十番歌合」(黒川真頼判)「二十番各判歌合」を合 →303、319、1040、1081、2092、2203、2322と合帙
392		十徳四幅袴図	宗uncl	1	有職故実	伊勢貞春著
393		十炷香之記	宗ト153	1	香道	②「香記」
394		十炷香暗部山	宗ト147	3	香道	上中巻は洛下半華室蔵版本の写 下は②「外香和香のうら」②「和香のうら」
395	千	千代田問答・紅葉山神盤記	宗口347	1	雑録	内容は標題の逆
396		千利久忌会付	宗ト168	1	茶道	天保10の二百五十回忌
397		千利久御年譜忠興公巻一抜帄	宗	1	(現物なし)	
398		千字文	鶴総324/24	1	書道	安政2 牧野隼人写
399		千家伝授事	宗ト62	1	茶道	
400		千家図物	宗ト217	1	茶道	高瀬橋江信明写
401		千家棚之書	宗ト193	1	茶道	朱書入多し
402		千家職人定価付	宗ト182	1	茶道	千家出入り職人五家の値段付
403		千家茶事会記	宗	1	茶道	大正2 於不審庵茶会
404		千家茶略式帄	宗ト233	1	茶道	嘉永2 徳永信明写
405		千家茶道問帄	宗ト56	1	茶道	巻3のみ存
406		千家表流	宗ト202	1	茶道	堀内宗完の朱書入あり
407		千曲真砂	宗ホ373	6	地誌	瀬下敬忠著
408		千載松	宗ル340	2	伝記	②「千とせの松」 会津藩主保科正之の伝記 文政11大河原長八著
409	半	半井古庵雑記	鶴総308	1	雑録	半井古庵自筆
410	南	南北相法極意	宗ヲ49	1	易道	「南北相法極意抜粋」(文化9刊)の写
411	半	半山樓日抄	A990/36	10	雑録	
412		半日閑	鶴総394	1	紀行	
413		半宵談	宗ル180	3	隨筆	
414	南	南勢鉄道布設費概算帄	D510/25	1	交通	明治21

415	南	南山巡狩録	宗イ189	18	通史	
416		南山巡狩録	宗ハ41	8	通史	
417		南方紀伝	宗ハ98	5	通史	㊤「南朝紀伝」 ㊤時享保十六辛亥癸春初九日大和州山辺郡深川邑小橋氏子栄→420
418		(茶道)南方録	宗ト2	8	茶道	
419		南朝公卿伝	宗ル222	4	補任	㊤「公卿補任」 いわゆる「南朝公卿補任」
420		南朝紀伝	宗ハ98	→417		
421		南朝紀伝	宗ハ42	3	通史	尾題「異本南朝皇胤譜」 ㊤右南朝紀伝求山岡俊明之校本写シ復得白石翁之蔵本校替了明和九壬辰歲夏五月
422		南朝紀伝	宗イ115	3	通史	尾題「異本南朝皇胤譜」 ㊤右得白石翁之蔵本写之者也
423		南朝紀伝	宗ハ217	3	通史	巻頭に「南帝系図」あり
424		南朝旧事記	宗ル78	1	雑史	吉野に関する伝説など集める ㊤浪花神祇管領学士玉田氏 永教か
425		南朝補任	宗ル9	6	補任	標題は誤り 内容は天曆元~文安4の公卿補任
426		(増訂)南海包譜	宗ヌ3	2	植物	第2冊㊤「増訂南海包譜図」は全冊絵図 ミカンの研究書 元治元上辻邦彦伯英自序
427		南紀分限録	宗ヲ206	1	名鑑	南紀徳川家分限帳 見返に「天保弘化頃」
428		南蛮妖法記	宗ロ330	2	雑史	大久保石見滅亡までの切支丹始末 巻末に「京師蓮池堂人澹阿著、華頂山主順慶大僧正関、知恩山内慈引明導訂」
429		南豊小草	L311/9	1	漢詩	後藤彬の詩稿 甲寅孟夏広瀬淡窓の朱批あり
430		〔南郭往来〕	鸚語138	1	書簡	㊤「南郭来書」 ㊤「春台答書」 ㊤文化三年正月申辭
431		南部新書		4		(現物なし)
432		南部軍鑑	宗ロ173	1	雑史	
433		南部正倉院雲上宝器集	宗ル12	2	工芸	㊤「南部正倉院」は右肩に小書 下巻は彩色絵図
434		南龍言行録	宗ロ55	5	伝記	
435	博	博古雑録	宗ハ第4	29	考証	「博古涉筆」の姉妹編 源顕宣著 天保9箕山居士跋
436		博覧雑志	宗ル492	4	雑史	寛延4小島嘉明著 明和3写
437	卜	卜齋物語	宗ル507	1	雑史	㊤「板坂卜齋物語」 享保14則勝写
438	印	印度蔵志	宗レ59	1	仏教	平田篤胤著 巻下
439		印章備考	M420/22	2	書画	
440	即	即席膳部集	宗ナ16	2	料理	文政 素堂著
441	厭	厭蝕太平楽記	宗ロ143	10	雑史	
442	原	(後証)原古抄・宮中筆記	宗ツ5	5	儀式・地誌	「宮中・京中」「四方拝」ほか
443	厨	厨事類記	宗ナ	1	料理	
444		厨事類記抜書	宗ナ	1	料理	
445	参	参天台五台山記	宗ソ153	1	天台・日記	
446		参州本間氏覚書	宗ル304	1	雑史	
447		参州物語	宗ハ168	1	雑史	㊤「大久保彦左衛門尉筆記」
448		参州長篠戦記	宗ハ209	1	雑史	根岸直利編 木村高郭校正
449		参河記縁起	宗ル378	1	雑史	宝曆11川田平貞傳写
450		参考禁忌要集	H240/30	1	儀式	益弘輯 元禄13松室忠繼奥書 天保7古森厚茂写
451		(追善)参瀛集	鸚歌81/2	1	俳諧	北越中之島以明編 白寿坊跋 →2601と合写
452		参議公年表	宗ツ	4	伝記	
453	反	反汗秘録	宗ロ356	1	雑史	文化元朝風序 乾丘王盛写
454	友	友がらす後編	宗ホ406	1	俳諧	㊤「友閑羅寿後編」 天明5橋本指貫
455	受	受教録附師友事状略	鸚哲328	1	教育	細野忠陳記 文政5他 「師友事状略」は明治2
456	可	可睡齋略譜		1	伝記	→32、188、697、698、1051、1429と合
457		可観小説	宗ロ326	7	隨筆	享保3写
458		可観小説	宗ロ30	6	隨筆	㊤「鳩巢小説一名可観小説」 井上正修跋 →2756と合
459	史	史料	宗ツ56	10	史料	宇多天皇事記第1~第11下 寛平9讓位に至る
460		〔史論〕	鸚史127	1	史論	㊤㊤「良斎史論」 安積良斎著 安政6柴田貞言写
461		史論	鸚史95	1	史論	諸家の史論を集成
462		史談抄	鸚	1	史論	「易経集抄書」を付載
463	右	右文故事	宗ヲ77	16	総記・圖書	
464	句	句帖	鸚	1	俳諧	小折本 発句書留
465		句説例	鸚語61	1	語法	日本書紀神武紀初めに句説を加えたもの 権田直助自筆か
466	古	古事談	宗ロ193	2	説話集	

467	古	古事集	宗ル220	1	雑録	「春湊浪話」等からの抜書 天保15鈴木常卜写
468		古今侠客伝	宗ロ130	2	実録	
469		古今元服口伝	宗	1	儀式	
470		古今列女伝	宗ロ379	7	伝記	序題「本朝烈女伝」寛延元梅月庵自序 寛永～享保の節婦伝
471		古今千里塚	宗ロ26	18	雑録	諸隨筆抜抄
472		古今名物類聚	宗ト196	3	茶道	陶斎尚古老人編 名物茶器図解記録
473		古今名硯図并筆墨硯説	宗ヲ167	1	文房具	文化3直曲庵主人写
474		古今和歌集聞書	宗 142	2	和歌	文亀元宗碩在判の奥のあとに宗祇聞書と引合せ少々書改とあり、その転写本
475		古今明秘鑑	鶴総203	1	隨筆	明和6宜員(振古堂)稿本
476		古今消息集	宗 286	1	文書	内閣文庫本の大正2写
477		古今秘伝抄	宗 102	1	歌学	延享3写
478		古今耳聞録	鶴史38	1	雑録	享保年間の見聞録
479		古今茶話	宗ト167	25	茶道	茶人茶道に関する逸話集
480		古今見聞物語	宗ロ219	1	隨筆	
481		古今諺		1		(現物なし)
482		古今雑談隨聞草紙	宗ロ214	12	隨筆	「(古今雑談)思出草紙」(隨筆大成)に同じ
483		古今馬歌集	鶴歌54	1	狂歌	文化2翠川土編
484		古代御会御柱合之式	宗ト222	1	香道	万治3蜂谷宗清序 明和年中門人藤野専斎写
485		古代料理法	宗ナ	1	料理	尾題「料理珍味集」
486		古伝通解	宗ハ3	9	神道	野々口隆正著
487		(黙守庵伝来)古来会席	宗ト6	2	茶道	扉題「黙守庵伝来古来会席控」㊟「元文四未年四月十日堺吟松庵田沢宗柳茶湯」
488		古来会席附	宗ト8	1	茶道	㊟「会席付」巻頭「井上伊織正展控」とあり 文化元・同2・天保元・同8・同12・嘉永5の会付
489		古嫗物語	宗ル504	1	聞書	扉題「藤森森助遊歴中播州ニテ取出シ候物語」安政4林齋写 おあん物語に似る戦国女性の物語聞書
490		古実咄	宗ロ311	6	雑録	享保9長野素恒著自筆
491		古実問答	宗	1	有職故実	明治44嵐伊孝写
492		古文書抜萃	宗ニ87	1	古文書	内閣文庫本の大正2抜粹謄写
493		古楽園隨筆	宗ロ392	4	隨筆	小寺玉昇著 安政3細野要齋写
494		古河善兵衛行状	宗ニ22	1	記録	㊟「古河善兵衛重吉行状」阿武隈川井の目堰工事一件
495		(生花)古流注書	鶴花2	1	花道	富阿弥流伝書 十三世集花翁除風序
496		古流規範	鶴花31	1	花道	集花翁除風著 引蝶舎宣了写
497		古硯図譜	宗ヲ220	1	文房具	
498		古義堂別抄	鶴哲75	1	儒学	度会世栄録 講義録か 巻1のみ存
499		古老一言集	宗ヲ205	1	雑録	萌蓬寺村安征輯 安征漫筆・雑話筆記脱漏等から武辺咄を集録
500		古老雑談	宗ル427	1	雑録	文禄慶長ころの武辺咄
501		古証文抜萃	宗ニ89	1	古文書	内閣文庫本の大正2抜粹謄写
502	司合	司法職務定制	鶴法32	1	法制	明治5司法省編
503		合戦伝記	宗ロ88	1	軍記	海野口合戦以後武田信玄十度の合戦
504		合衆國伯理璽天徳書翰和解	鶴史210/1	1	外交	嘉永6写 一130、633、635、1103と合綴
505	同吉	同文通考	鶴語117	2	語学	
506		吉凶指掌	宗 194	1	相法	手相・方角
507		吉御記	宗uncl	8	日記	延徳4写本の転写か
508		吉田家伝		4	家伝	吉田・萩原・錦織・藤井家
509		吉統記	宗ツ6	4	日記	文永4～正安4 第7～10欠 寛文年間藤経慶写
510	各名	各門蹟系譜	宗ソ195	1	系譜	諸寺門跡の系譜
511		名伝類纂	宗	10	名鑑	箕山自序の後に「文化十三年迄百五十有三年」とあり その転写か
512		名古屋合戦記・清須合戦記	宗ホ412	1	戦記	
513		名古屋清洲合戦記	宗ホ412/8	1	戦記	㊟「名古屋合戦記」「清洲合戦記」ただし512とは本文異同あり 寛政3写
514		名実叢談	B249/11	2	隨筆	
515		名所便覧	宗ホ536	3	歌学	小沢声庵著 表紙に「入江昌喜手入本」とあり
516		名所便覧	宗ホ475	2	歌学	下巻欠 515に比べ配列に小異あり
517		名所古蹟地理記	C170/10	1	地誌	明治28序
518		名所部類	宗ホ507	2	歌学	
519		名物六帖	A320/4	24	辞書	
520		名物六帖	150	6	辞書	9～13帖欠 奥田士亨校訂 明和3校享和元再校とあり
521		名物帳	M710/4	1	茶道	宝暦4写本の明治43転写 寛永～万治の茶道具名品

522	名	名物数奇屋図式	M710/24	1	茶道	紫野紹星序
523		名目抄		1	(現物なし)	
524		名目抄略解	宗ヲ156	1	有職故実	名目抄の注解
525	吾	吾学紀年	鶴哲76	1	伝記	閩齋学派の年表 天保10福田徳蔵写本により安政4尾崎久愷写
526		吾党源流拾遺	鶴総150	1	伝記	本邦儒者伝記「甘雨亭主」印あり、著者草稿か
527	告	告志編	鶴哲528	1	教訓	天保12松平源忠意写
528	君	君臣言行録	宗ル395	20	雑史	人見求撰
529		君台観左右娘記	宗ヲ198	1	書画	狩野探常識
530	周	(周易伝義講釈問書)	鶴哲10	1	漢籍	㊤「周易程子伝」 ㊦「周易伝義」 朱書入り
531		周易筆記	鶴哲268	1	漢籍	
532	延	延寿和方彙函	宗医	1	医学	宝暦13成
533	和	和歌紀行	宗ホ457	1	紀行	享保6写
534		(和歌艸稿)	鶴歌165	1	和歌	㊤「元文庚申草稿」 児玉英貞詠 他に寛保元・延享2詠など
535		和泉草	宗ト120	9	茶道	文政6沙門本瑞房写
536	喉	喉唾雑史	宗ル173	8	雑史	泰鼎著 天保11平田篤胤
537	和	和漢事物始元集	宗ロ455	5	雑録	天保8細江住久治編
538		和泉日記	宗ホ170	6	随筆	5巻末「文化むつの春三月中のむゆかかき終りぬ云々」
539		和泉日記	宗ホ445	2	随筆	5巻末「文化むつの春三月中のむゆかかき終りぬ云々」 追加末「乙未七月五日一説加朱筆醉園居士」(朱)
540		和漢名数記	鶴花80/1	1	語彙	→2119と合
541		和漢寄文		1	外交	全4巻のうち巻1のみ存 →61、201、547、1549、1643、1778、2754と合
542		和漢故事集	宗ル217	5	随筆	嘉永3相馬輝序 相馬守義輯録
543		和漢徳行談	宗ル341	1	随筆	
544		和漢書籍考	鶴	1	図書	慶安2向陽子 延宝3隣仏 表紙付箋に「此和漢書籍考流布刊本ヨリ漢書籍多ク候」
545		和漢雑笈或問	鶴総352	1	随筆	「和漢珍書考」 元禄6鶴飼信興著 安永3耳順叟明芳写
546		和田戸山御園遊覧記	宗ル121	1	随筆	天保元間宮士信跋
547		和蘭対話筆記		2	外交	幕末阿蘭甲比丹との対話筆記 →61、201、541、1549、1643、1778、2754
548		和蘭陀製油法	N 620/1	1	薬学	㊤「阿蘭陀油薬法」
549		和通雅	鶴総353	1	随筆	九峰高貴徳著
550	品	品字箋抄	鶴語103	1	辞書	外題を「商兵雑雅卷之五」とするが無関係
551	唐	唐官鈔	H290/13	1	法制	
552		唐錦	宗ル352	6	女訓	女則5巻・装束抄1巻・姿見1巻・写絵1巻・古教訓1巻・柳桜集4巻よりなる
553	善	善工利器	鶴語96	1	音韻	文化2源暉辰自序 松井羅州撰
554	啓	(説本)啓蒙則言	鶴哲69	1	教育	教科書 明治期
555		啓迪院玄治法印常合薬方秘伝	宗医23	1	薬学	方劑の書
556	唯	唯心院閩白装束抄	宗へ99	1	有職	㊤「唯心院装束抄」 貞享5写
557	喪	喪祭私説	鶴哲431	1	祭祀	㊤「整庵先生喪祭私説」 享保6自序 宝暦10中井積善序
558	喫	喫茶	宗ト166	4	茶道	茶湯作法
559		喫茶活法	宗ト43	2	茶道	扉題「喫茶活法録」 558の前半と同内容 天保6三誠庵拙斎写
560	啖	啖咭喇紀略	鶴史13	1	外国	清の陳達衡の著に訓点を施す 嘉永6藤森弘庵等序 市野琴堂写
561	喰	喰初之次第	宗	1	儀式	㊤「九冊之書(内を訂正)/喰初之次第/五」→98
562	喫	喫茶話法奥義集	M710/10	2	茶道	茶湯作法
563	嘉	嘉田中村先生行状	鶴史693	1	墓碑銘	
564	嚴	嚴秘明享録	宗ル392	5	実録	八代将軍吉宗の事蹟
565	四	四十六士論	鶴史75	1	史論	㊤「大洲先生四十六士論」 文政3伊大洲自跋 嘉永6関道徳写
566		四季月並床花伝書	鶴花45	1	花道	外題下に「初伝」 石州流八世家元一瓢庵奥書
567		四季物語	宗ハ68	1	随筆	「長明四季物語」 宝永6写
568		四季草	鶴史653	2	武家故実	伊勢貞丈著 武家礼法
569		四宗法要	宗ソ560	1	仏教	真言・浄土・真宗・日蓮宗の宗義関係文を集録
570		四条家伝		8	家伝	四条・山科・西大路・鷺尾・八条・油小路・櫛笥・河辺家
571		四神地名録	宗ホ355	10	地誌	江戸および近郊
572		四神地名録	宗ホ119	4	地誌	571の抜抄

573	國	国事昌披問答	宗ニ38	1	武家故実	加賀藩の故実 宝暦3序 安政元写
574		国史	鶴史72	25	通史	卷1欠
575		国史料	鶴史76	1	史料	慶長10〜享保元の編年体 草稿本
576		国字示蒙録	鶴哲91	1	儒学	仁齋・徂徠に至るまでの通俗儒学史 源勤著
577		国恩録	宗ル12	9	伝記	正編7巻 附録2巻 家康を中心に戦国武将の言行を論評
578		国政問答	J105/4	1	政治	問答体政治論 卷末に「元治甲子」と朱書(現物なし)
579		国朝未刊遺書志略		1	雑記	
580		国朝旧章録	宗ル59	5	雑記	
581		国教広義	鶴総68/9	1	神道	敬神愛國・天理人道・奉戴皇上遵奉朝旨の3部に分つ
582		国校雑記	鶴哲329	2	教育	名古屋藩校明倫堂の文久3〜明治3の記録
583		国郡分割考	宗ホ190	2	地理	明治13松井範春述 往古よりの国郡分割の歴史
584	國	円戒念仏一致章并破一念義	宗ソ36	1	仏教	◎右一念義破并戒念一致の破とも嬰珞大和上茶話也侍者某伝語を間に随て記する者也
585	園	園戸閑談	宗ロ153	1	隨筆	弘化4光園写
586	園	園之物書	宗ト189	1	茶道	外題右肩に「石州」 表具・色紙・戸棚等の規格 安永2樋口松英写
587		園物隨筆	宗ル111	4	隨筆	扉題「故事園物」 日用品・文房具などを園入りで考証
588	大	(園解)大笹会便蒙	宗ツ132	1	祭祀	
589	國	(土佐)國中神社帳	宗イ14	3	神社	
590	土	土佐軍記	宗イ216	3	軍記	
591		土州遺語録	宗ル487	1	地誌	
592		土御門家伝		2	家伝	土御門・倉橋家
593		土御門家伝		1	家伝	土御門・季光・桜町家
594		土津神君言行録	宗ル10	1	伝記	◎「御言行録和解」 保科正之の言行録 天保10柴山世彝写
595	地	地租上納帳	D940/24	1	記録	明治5〜10
596	坂	坂内文書他抜萃	宗ニ82	1	文書	史料編纂掛本の大正2写
597	坪	坪碑史証考	B550/17	1	金石	扉題「坪碑考」 藤塚知明著 「燕沢碑考」(天明3)「宮城郡燕沢之古碑文書」(市川叶是大)「(奥州平泉) 関山中尊寺案内記」を合綴
598	城	城事記	鶴史654	1	雑史	山脇正準撰
599	埋	埋火	宗ル207	1	隨筆	宝永3成 天保3黒沢重吉写
600	執	執筆切紙大成		1	俳諧	「文台床飾の式」ほか
601	堀	堀伝記・島原陣記・亀田大隈覚書	宗ロ462	1	雑史	◎「堀直寄伝記」「島原陣記」(清水正徳)「泉州樞井表台戦覚書」(寛文10亀田大隈守高綱)
602	報	報仇記談	宗ロ68	30	実録	伊賀上野仇討ほか
603	堤	堤中納言物語	宗ハ49	2	物語	
604		〔堤家伝〕		1	伝記	
605	塚	〔塚田菅彦雑抄〕	鶴史64	1	雑録	◎「古事記序解其外 杉園叢書」 「古事記序解」(田中大教正)・「五十音大意」(藤原秀成)ほか合綴
606	墓	(山城全州)墓銘銘集大成	鶴画166	1	金石	◎「医聖堂叢書西京名墓金石文三」
607	増	増訳采覧異言	鶴地48	14	外国地誌	◎「訂正増訳采覧異言」
608	墨	墨直	鶴歌71/1	1	俳諧	文化4、文化5 -667、2806と合
609		墨竹会書画目録三	鶴画123	1	書画	◎「墨竹書画展玩目録」 会主柴山ほか
610		(墨跡雑録)	鶴画495	1	書画	
611	土	土談会稿統編	宗ロ174	1	雑史	享保10尾見正数 延享元常輔写
612	垂	垂仁皇后之禍	鶴	1	雑史	甲辰三月廿七夜灯下書
613	壺	壺飾之式・輪飾之式	宗ト232	1	有職故実	「壺飾之事」ほか
614	夏	夏山雑談	宗ロ284	3	隨筆	寛保元序
615	夕	夕拝備急至要抄	宗ツ166	1	年中行事	按察使親長 明暦4 寛文2資廉 寛文4
616	外	外国通信事略・琉球国事略・高野山事略	鶴史48	1	外事・寺院	◎「外国通信事略」「琉球事略」「高野山事略」(新井白石作) 小宮山楓軒自筆か
617		外国通書略	鶴史47	1	外事	近藤守重編 卷1のみ存
618		外宮儀式帳	宗レ30	1	祭儀	
619		外宮子良館祭奠式	宗イ3	2	祭儀	益弘纂述 貞享4 元禄9 神主末茂
620		外宮神事考略	宗レ71	1	祭儀	享保6度会常彰著 伊勢外宮神事の法
621		外番通書	宗ニ107	10	外交	近藤守重編
622		外番通書		7	外交	8〜10、18〜20欠
623		外題那志	宗ヌ79	1	庭園	天保6 紀州徳川家戸山山荘を訪れた時の見聞記
624	多	多々良問答	宗ツ6	1	有職	多々良(大内)義隆と三条西実隆の問答 文政8橋正紹写

625	多	多気具教行状記	宗口221	4	伝記	伊勢国多気郡司北畠具教の伝記「多気国司九代略」を付す 享保5宗阿自序
626		多気御所	B975/4	1	名鑑	伊勢多気北畠家関係人名寺社名録 大正2写
627		多気御所家中諸侍人数牒	B975/63	1	名鑑	㊦「多気御所侍臣名数」侍帳
628		多田家類族人名	宗ル265	1	名鑑	㊧「多田院御家人旧記」武田家類族43人の名簿-1511
629		多能鄙事	宗医25/13	4	漢籍	明の劉基編 飲食製法・薬方・洗染・造紙・調香・治療等 近世写
630		多賀神社文書抜萃	宗ニ77	1	文書	近江多賀神社 史料編纂掛本の 大正2抄写
631	夜	夜明前		1	戯曲	小山内薫自筆草稿
632	夢	夢中間答	K620/230	2	仏教・禅	下巻欠
633		夢々物語	宗史210/4	1	政論	-130、504、635、1103と合綴
634		夢想戒談	鶴哲516	1	教訓	館山道高著 文化8序
635		夢物語	史	1	政治	㊨「戊戌夢物語」安政3成 -130、504、633、1103と合綴
636		夢の愛橋	宗ル84	1	災害	文化4 深川八幡祭礼時永代橋落下の一件記録 杏花園題詩 天保11写
637	大	大久保利通日記		10	日記	㊩「大久保公日記」安政6~明治10
638		大仏殿雷火豊焼図画	宗ヲ213	1	災害	寛政10京都方広寺大仏殿火事一件
639		大倭原始論	鶴史219	1	考証	天照大神は呉太伯という説を駁した論 未欠
640		大内事輯	宗イ218	6	考証	宮中に関する諸事解説 文化14以後成
641		大内式目	宗ヲ182	1	武家故実	周防大内氏 天保6 韻勝閣主人写
642		大内弘貞伝	宗口362	1	伝記	大内周防介多々良弘貞の伝 宝永3 秀松藤吉郎経定述
643		大内義隆伝	宗口358	5	伝記	宝永3 秀松藤吉郎経定述
644		大内義隆卿記	宗ル451	1	伝記	壬戌五月九日写
645		大内裏図会考	宗	3	建築	
646		大内裏図考証	宗ツ169	26	建築	巻3上・中・下・4上・下・5・6・8・11中・12上・下・14・16・18・19上・下・巻3付上・中・下・巻11付下・「里内裏」・「清凉殿」存(*印重複)
647		大内裏図考証	宗ヌ63	3	建築	目録3巻のみ 646のツレカ
648		大内調度織文図彙	宗ヘ71	1	有職故実	㊪「源氏物語中大内調度織文図彙」丹治行義撰 -1666
649		大和奇聞	鶴総337	1	雑録	明治2 碌々居士編
650		大和平三郎孝状	鶴史497	1	記録	宝暦4 南都大北殿美撰 寛政8 芥子正時写
651		大和紀行	L213/13	1	紀行	山村壺仙著 寛政12法隆寺開帳の参拝記 俳句入り
652		大和軍記付藤堂家伝	宗ハ208	1	軍記	家伝
653		大嘗会図式	宗ツ170	1	祭儀	「羽倉草稿大嘗会図式」 荷田在満著 文政12斎藤彦鷹写
654		大嘗会和詠	13/14	2	和歌	扉に「自仁明天皇到近衛院」 嘉永3 三条西光愛写
655		大坂冬御陣覚書・大坂夏御陣覚書	宗	2	軍記	
656		大坂冬御陣覚書・大坂夏御陣覚書	宗イ94	2	軍記	655と同内容
657		大坪本流善御譜		1	馬術伝書	文久2 藤原吉根 -281、282、658、659、661~666、1236、2697と同一箱入
658		大坪本流常取		2	馬術伝書	㊫「大坪本流常取外手綱目録」[大坪本流常取事法目録] 文久2 藤原吉根 -281、282、657、659、661~666、1236、2697と同一箱入
659		大坪本流常取口決伝		1巻	馬術伝書	元治2 藤原吉根 -281、282、657、658、661~666、1236、2697と同一箱入
660		大坪本流歌枕之巻	宗		馬術	大坪流九世春生軒斎藤定易撰
661		大坪本流玄好記		1	馬術伝書	文久2 藤原吉根 -281、282、657~659、662~666、1236、2697と同一箱入
662		大坪本流繰糸之巻		2	馬術伝書	文久2 藤原吉根 -281、282、657~659、661、663~666、1236、2697と同一箱入
663		大坪本流色紙之巻		1巻	馬術伝書	-281、282、657~659、661、662、664~666、1236、2697と同一箱入
664		大坪本流陰陽之巻		1巻	馬術伝書	-281、282、657~659、661~663、665、666、1236、2697と同一箱入
665		大坪本流雲霞集		2	馬術伝書	文久2 藤原吉根 -281、282、657~659、661~664、666、1236、2697と同一箱入
666		大坪本流取馬系伝		1	馬術伝書	-281、282、657~659、661~666、1236、2697と同一箱入

667	大	(美濃)大垣鶏旦	鶺鴒71/2	1	俳諧	-608、2806と合
668		大壺平先生著撰書目	鶺鴒41	1	書目	平田篤胤の著述目録
669		大外記師遠記	宗ツ57	1	日記	大治2年5月26日・6月1日・同7日・同17日・7月10日の条のみ
670		大学定本	鶺鴒263/1	1	漢籍	-84
671		大学御意見谷中間答		1	戯文	「大学」〔正ふだ付掛値なし〕御意見大安亮「奇妙朝来谷中間答」を収める
672		大学章句	鶺鴒260	1	儒学注釈	
673		大学解	K200/54	1	儒学	表紙に「三島篠崎先生写本 南陽館珍藏」
674		大学講義	鶺鴒259	1	儒学	講義録
675		大学講義	鶺鴒258	1	儒学	講義録
676		〔大学講義〕	鶺鴒255	1	儒学	㊦「従吾軒先生大学講義」 田中従吾軒述 浅井新太郎筆録
677		(宇井先生)大学講義	鶺鴒206	1	儒学	宇井黙齋述 板倉弘毅筆録
678		(黙齋先生)大学講義	鶺鴒201	1	儒学	㊦「黙齋先生大学筆記」 天明6 稻葉黙齋述 鈴木恭太郎筆録
679		〔大学講義筆記〕	鶺鴒208	1	儒学	講義録
680		大学通	鶺鴒267	1	儒学	蒔田忠貞自筆
681		大学風注	鶺鴒266	1	儒学	加藤三鼎著稿本 下巻欠
682		大安寺縁起資財帳	宗ソ193	1	寺院	
683		大家詩集	鶺鴒	1	漢詩	諸家の漢詩集
684		大宝山円通寺中興記	宗ソ301	1	寺院	天明4写 他に「北野通夜物語事」「俊明極参内ノ事」「広有射怪鳥事」「虞舜」を収める
685		大岡忠相政要実録	B249/3	2	実録	大岡政談
686		(第十六回)大師会々記	宗	1	茶道	明治45.4.28益田鈍翁茶会記
687		大御記	宗ツ62	4	日記	第1〜9 明暦元藤原経広写本による享保8写
688		大慈山西明禅寺記	宗ニ66	1	寺院	
689		〔大成武鑑〕	鶺鴒638	1	武鑑	㊦「稿本武鑑」 武鑑(版刷)を切り貼りし、冊入れをして編集
690		大日本史引用書目	本居記85	1	書目	
691		大日本国名探	宗ホ350	2	地誌	㊦「久爾農奈冬免」 藤原政文著 文政13 藤原種敬跋
692		大明律大目論	鶺鴒75	1	法制	㊦「明律目論」
693		大嘗会具釈	宗ツ93	3	儀式	㊦「大嘗会儀式具釈」
694		(諸国名産)大根料理秘伝抄	宗ナ44	1	料理	天明5 虚齋山人序
695		大橋訥庵上書一件	鶺鴒71	1	政治	「福井侯御答書」「御答添書草稿」「此書は越州侯へ被遣候文之写」「訥庵上書」と合写
696		大樹公夜話記	宗	1	雑史	宝永7写
697		大樹寺記		1	寺院	-32、188、456、698、1051、1429と合
698		大樹寺過去帳		1	寺院	-32、188、456、697、1051、1429と合
699		大江戸春秋	鶺鴒20	1	記録	文化3 源信網撰 慶長〜弘化
700		大洞碑文五件御筆五十件謄抄本		1		(現物なし)
701		大的式	宗へ92	1	兵法	宝暦7 伊勢貞丈 天明7 土井主税源利往
702		大塩平八郎同格之助其外頭分 之者共御刑罪建札文首所聞 書覚	宗	1	記録	表紙に天保九戊辰九月十八日
703		大秘録風炉一式	宗ト237	1	茶道	㊦「風炉一式」
704		大神宮式講本	宗レ18	3	神社	文化9 足代弘訓 天保14度会履正 天保14 義利写
705		大嘗会	宗ツ28	15	記録	「大嘗会日次記」 治暦4〜貞享4 未装
706		大嘗会便蒙	宗ツ44	1	祭記	元文4 荷田在満序
707		大館尚氏記	宗ル316	1	雑史	文化5 貞春
708		大般若波羅密多経巻254		4		(現物なし)
709		大般若波羅密多経				→708
710		大観録	鶺鴒153	3	雑録	㊦㊦とも標題に「閑中雑纂之内」と小書 全5巻のうち2・4・5のみ存
711		大邸記	C211/45	1	記録	㊦㊦とも標題に「江戸大名諸屋敷坪数」と小書 帝国図書館本の昭和元贈写
712	攝	摄宮秘録	宗ニ21	2	城郭	帙に「大坂城絵図明細書摄宮秘録」とあり 秘図を付す
713	大	大坂籠城人数付	宗ハ115	1	記録	(現物なし)
714		大櫻之図	宗ツ4	1	記録	㊦「大坂一変事」
715		大塩一揆	宗ロ250	1	記録	
716	天	天下茶屋敵討真伝記	宗ロ103	13	実録	
717		天保八百年見聞実記	B249/37	2	記録	智・仁2巻存 大塩の乱一件書留
718		天元年記録	宗ロ452	2	伝記	徳川家康の一代記 元和3 幕下愚老著
719		天延二年記	宗ツ165	1	日記	天延2年正月1日〜同年12月29日 平親信の日記 鈴木真年校訂
720		(加賀藩某)天延雑記	宗ル334	1	記録	

721	天	天文御日記	宗	18	日記	天文5~23 第9・10冊は㊶「音信御日記」
722		天文書	宗ヲ10	1	天文	保井春海著「天文瓊統」の巻8
723		天文紋帳	宗ヲ259	1	雑録	㊶「紋帳」(天文8佐々木秀勝)と㊷「宇都宮弥三郎殿家巨帳」を合綴 天保6健齋正合写
724		天明秘録	宗ロ17	3	記録	京都大火の見聞記
725		天明録	B249/38	1	雑録	天明3~7年の世上困窮のさまを記す
726		天正武鑑関東御知行割	宗ル470	1	武鑑	㊸「天正十八年北条滅亡以後豊臣秀吉大名分限帳」
727		(大三川志附録)天正征韓記	宗ハ161	8	戦記	㊹「大三川志附録」 松平頼寛撰
728		天河懸志		2	(現物なし)	
729		天磐笛記	宗イ16	1	音楽	文化14宮内嘉長・石上鑿通著
730		天草軍記	宗ハ881	1	雑史	享保14生島氏燕山子好斎跋 天明6幡信厚写
731		天草軍談	宗ハ156	20	軍記	
732		天説弁	K300/5	1	国学	「天説弁」(植松茂岳)・「三大弁」(本居大平)・「三大考書入」(鈴木胤)・「三大考説弁」(橋村正兌)・「三大考ヲヨミテイヘル事」(胤)・「鈴木胤書簡」・「三大旋考」(小国秀穂)・「三大考論弁」(大平)を合写
733		天長節	宗へ236	1	儀式	11月3日天長節祝賀の形式について礼治会員の評決
734		天龍寺造営記録	宗ニ85	1	寺院	史料編纂掛本の大正元謄写
735	太	太宰右衛門封事・鍛冶屋基兵衛上巻		1	政治	享保18春台上巻と天明7基兵衛の伊奈半左衛門あて上巻
736		太平基軍伝	宗 205	11	軍記	関ヶ原合戦に至る経緯 第1・2・11・12・25・26欠
737		太平東物語	宗ロ200	5	雑記	寛政の内裏新造前後の事情を主に幕府開創以前の要事を記する
738		太平策	鶴法54	1	政治	狹生徂徠著 寛政5中川忠英写
739		太平箱崎文庫	宗ロ280	7	実録	黒田騷動
740		太平記理尽口伝	宗	2	軍記物語	「理尽抄」の抜粋か
741		太田道灌自記	鶴歌4/1	1	随筆	伴信友校訂 →1097と合
742		太田道灌自記	宗ル62	1	随筆	武州荏原郡大崎村安楽寺藏本の写
743		太田道灌随筆	宗ロ307	1	随筆	742と同一書 安楽寺本 寛政3源正邦写
744		太祖創業志	宗	1	伝記	津坂考綽著 太祖は藤堂高虎
745		太郎次郎説	鶴法106	1	考証	長子を太郎、次子を次郎と命名する慣習についての説 正徳2修敬著
746		太閤四国征伐記	宗ハ71	10	軍記	
747		太閤加賀邸御成次第	鶴史134	1	記録	文禄3年4月8日の記事
748	奉	奉公覚悟之事	宗	1	教訓	貴人に奉仕する心得 伊勢守貞孝臣河村正秀自筆本による写の奥、享和2伊勢貞春の奥
749	奈奥	奈良を発つ前	D P 2	1	小説	武者小路実篤自筆原稿
750		奥之細道	鶴歌132	1	紀行	芭蕉
751		奥州紀行	宗ホ560	1	紀行	伊達吉村宝永2領国仙台へ帰国時のもの
752		奥相茶話記	宗ロ37	10	家伝	奥州相馬家の歴史 寛文7中津朝睡編
753		奥羽永慶軍記	宗イ93	10	軍記	永祿〜慶長の奥州騷乱
754		奥羽永慶軍記	宗ハ110	8	軍記	巻1~32
755		奥羽永慶軍記	宗 53	7	軍記	巻33~39 754のツレか、ただし装訂を異にする
756		奥遊紀事	宗ホ449	1	紀行	天保4海上随鷗著 奥羽旅行記
757		奥陽軍秘録	宗ハ108	4	伝記	伊達政宗の事蹟
758	女	女官髪結様図解	宗へ318	1	有職故実	享和2白井帯刀平孟雅自跋
759		女房装束図	宗へ181	1	有職故実	明和8写
760		女服制	鶴法31/27	1	有職故実	有侯齋著の諸書よりの抄録 文政9云々の記事あり →2083と合綴
761	如	如心齋会付	宗ト14	1	茶道	寛保3~寛延2の茶会記
762		如心齋問書	宗ト45	2	茶道	不在判本により明治32柳々齋宗静写
763	好	好古漫録二	鶴	1	雑録	雨森芳洲・古賀精里・秦澗浪等諸家の詩文和歌の抄録
764	妙	(学者必読)妙々奇談	A910/34	1	滑稽本	第7回まで存 文政7写
765		妙法蓮華経	宗	8	仏教	
766		妙法蓮華経	宗	8	仏教	元禄5助右衛門写
767		妙法蓮華経	宗	8	(現物なし)	
768	姉	姉小路家伝	へ322	1	家伝	姉小路・平松・月輪・冷泉・世尊寺・高倉家
769	婦	婦女伝	宗ル40	1	伝記	徳川將軍妻妾の家系 家治公母堂までを収める
770	婚	婚儀	鶴法103	1	礼法	某家婚礼の諸儀式の記録
771		婚礼法式		2	礼法	伊勢貞丈著 明和2自跋
772		婚礼簡法 異本	宗	1	礼法	

773	孝	孝経考	鶴哲303	1	儒学	文政2草成(墨筆) 文政13草成(朱筆)
774	孤	孤峯間書	宗ト37	3	茶道	明治30柳々斎宗静写
775		孤松全稿	鶴総75	42	漢学	正編37卷38冊 拾遺2冊 附録2冊 一2786
776	孟	孟子	鶴哲331	1	漢籍	
777		孟子考	鶴哲302	1	儒学	㊟庚寅十一月十一日卒業 荒木彪自筆本か
778		孟子集註講義	鶴哲335	1	儒学	
779	季	季知詠草	詠7/12	384通	和歌	
780	字	字津勢貝	宗ロ411	5	雑録	
781		字陀の法師	鶴歌143	1	俳諧	㊟「字陀法師」 「韓詩外伝抜萃」と合写
782	安	安倍仲満論	鶴史243	1	史論	㊟「安倍仲丸記」 仲麿在唐の是非を論じた文の集録 宝永4写
783		安倍晴明記	鶴史242	1	読本	3巻 安永9写本により天保14写
784	元	元龜天正三傑安土公		1	(現物なし)	
785	安	安土宗論記録他	鶴uncl	1	雑録	標題のほか「太閤秀吉葬行列記」「江陽南北一統運署状」「齋藤内蔵介墳墓由來記」を取る
786		安在録	鶴総68/1	1	医学	長寿法についての問答
787		安国寺文書抜萃	宗ニ83	1	記録	史料編纂掛蔵本の大正3謄写
788		安政二年乙卯十一月廿三日新内裏へ御選幸御列書	H210/2	1	記録	京都太田社二郎蔵本の昭和7写
789		安政二年録	B249/16	1	雑史	帝国図書館本の昭和7写
790		安政御造管記	宗ヌ69	2	建築	㊟「安政新造内裡記」
791		安政新造内裏記	宗ヌ73	2	建築	上巻は790とほぼ同 下巻は相違多し
792		安政新造内裏記	宗ヌ70/a	2	建築	790と同一人による同一書の写
793		安明間記	宗ロ314	1	雑史	
794		(阿淡)安永実録伝	宗ロ278	8	実録	阿波藩主失政による騒動一件
795		安濃白水記	宗ロ264	2	実録	明和年間伊勢安濃津城下騒動一件
796		(安藤知還墓碑文)	鶴史691	1	金石	㊟「知還安藤君墓碑」 文化7松平世軌文度撰 草稿か
797		安藤帯刀物語覚書・水野隼人正覚書・堀直寄伝記	宗ル325	1	伝記	三本合写
798		安斎漫筆		15	考証	元治2写か
799		安斎漫録		17	考証	嘉永元~5写
800		安斎随筆		7	考証	
801		(安斎随筆)		1	考証	㊟「満久那伎」 「まくなき」より「榎殿」まで存
802	守	守成小鑑	宗ル285	3	伝記	第3冊は「守成小鑑別録」 文政元中邨弘毅序
803		守節室雑録	宗ヲ146	1	雑録	「本朝以呂波仮名濫觴」ほか
804		守葺	宗ル126	3	雑記	安政5 鳴津泰助
805	宋	宋世説方	宗	1	歌論	㊟「建保四年十月十三日終功畢還老藤原朝臣定家……明応四年八月十六日 宋世」
806		宋書抄録	鶴史129	1	漢籍	㊟「宋書」 扉に「祇園南海先生真筆宋書抄録 關本」
807		宋百家詩存卷七		1	(現物なし)	
808	官	官中秘策	宗ル	20	法制	39巻 安永4序
809		官中秘策	H200/10	5	法制	安永4序 巻1~33存
810		官位俗訓	宗 477	1	有職故実	享保11慎齋序
811		官職名解	鶴法112乙	1	官職	-2872~2874
812		官舎節論	鶴史55	1	漢詩	正徳元序
813	定	定式之巻	宗 6	1	花道	大正15池坊専啓写
814	宗	宗像軍記	宗ロ367	1	軍記	元禄16序 元禄17川島屋半兵衛開版本の写
815		宗和流茶之湯之番	宗ト206	3	茶道	
816		宗庸雑話	宗ロ375	3	随筆	
817		宗廟社稷答問	宗レ78	2	神道	元文6 藤原之行跋 ㊟文政6 岩間千明蔵書
818		(宗祇終焉記)	鶴地61/2	1	紀行	㊟「宗長法師道行」 寛文13良規写 →2547と合
819		宗長宇都山記	宗ホ171	1	紀行	朴園跋
820		宗関師会席御荘付留	宗ト10	1	茶道	㊟「承応万治宗関公数寄屋田御客荘付之留上」「寛文宗関公数寄屋田御客荘付之留下」
821	客	客窓漫録	鶴総376	2	随筆	小笠原減土常氏録
822	室	室町志	鶴史218	1	通史	
823		室町殿日記	宗ロ94	2	雑史	榎村長教撰 巻1・2、巻19・20存
824		室町殿物語抜萃	宗ロ107	1	雑史	
825	宮	宮参之次第	宗	1	武家故実	
826		宮川日記	宗ホ327	1	神社	多田義俊著 延享3 伊勢参宮の記 故実等を記す附録あり 天明4 橋経亮写
827		宮重随筆	宗ル249	2	随筆	大江春清の奥書に作者未詳とする
828	容	容膝亭雑録	鶴総354	1	漢籍抜抄	
829	宗	宗城御記	宗ツ92	1	日記	宝暦10女院の使として宗城江戸下向の日記

830	家	家康公教訓之文	宗ヲ204	1	書簡	家光の将来に関し秀忠妻に与えた手紙 天保13写
831		家忠日記増補追加	宗ル386	13	日記	寛文3序 寛文8 源忠房跋
832		(円説教授)家相調法記	宗ヲ181	1	相法	森津信安著 稿本か
833		家業道德論	K540/88	1	教訓	元文3 河田孤松正矩跋
834		家相極秘三法之伝	宗ヲ14	1	相法	神谷正晴著
835		家系正義	宗ル79	1	家伝	主膳正源定虎の自己の家系についての考証 享保17自序
836		家綱公御元服記	宗へ323	1	儀式	正保2家綱元服の記録 林道春記
837	宿	(宿曹源寺記)	宗ニ65	1	地誌	冒頭に「宿曹源寺」とあるは詩題 近江の地誌の一部か
838	富	富士講伝書	K620/17	1	神道	元和6成か ただし写は後年 末尾欠
839	富	富士の煙	宗ヲ136	1	和歌	近藤守重編 家康・秀忠・家光等の歌を諸書より採録
840		富士の煙	宗ル253	1	和歌	839と同一冊
841		富家殿言談	宗ル203	1	有職故実	
842		富強論	鶴法70	1	政治	「時勢論」を訂正 富強は富国強兵 明治2 藤原孝直の稿本
843	實	実冬卿記	宗ツ161	1	日記	
844		実教詠草	詠75	36通	和歌	寛永13・14・16年前後 三条西家
845		実教詠草(二)	詠3	25通	和歌	寛永16・17・18・21年前後 三条西家
846		実勲詠草	詠5/0	157通	和歌	享和・文化・文政 三条西家
847		実称詠草	詠40/71	1308通	和歌	三条西家
848	寛	寛安日記抜萃	宗ロ256	25	日記	④「寛安日記抜萃記」 寛永元～慶安4
849		寛政新内裏図	宗ネ4	1	建築	寛政2 柴野栗山著 秋里籬島写
850		寛永小説	宗ロ321	2	言行録	享保3 林信篤写
851		寛永平察録	宗ル515	3	実録	天保8 緒方氏写
852		寛永甲戌御道之記		3	儀式	延宝9写1冊 他に「寛永行幸記」「御上洛之記」の2冊を一括 -853
853		寛永行幸記	宗ル18	1	-852	
854		寛永行幸記	宗ヲ176	1	儀式	崇伝著 漢文 853とは別本
855		寛永諸家系図伝抄	B982/13	1	系図	
856	寶	宝明記	宗ツ2	12	記録	渡辺珍亮著 宝曆明和間の宮中諸事記録
857	寺	寺嶋蔵人上巻	宗 237	1	政治	
858		寺社歴調	宗レ3	1	宗教	浅草太郎稻荷、白山神社その他の書上 明治期
859	射	射法本紀註解	宗	1	弓術	嘉永6 山本悠哉写
860	將	將軍家日光御社参	B249/47	1	記録	安永5 標題は保護表紙の新題簽に記したもの
861		將軍宣下記	宗ル281	1	記録	天明7～天保8
862		(洛西天龍寺供養)將軍御行列記	宗ル512	1	儀式	貞和元の行事 將軍は足利義教 大正2写 -863
863		將軍御行列記		-862		
864	對	對嶽塾雜纂	鶴総360	1	雜記	④「伊豆七島全国」他に「答和蘭國」「平山行蔵上巻」「(嘉永六年)宣命」「啖唎喇紀略」「(錢屋五兵衛一件)」「松平越中守上巻」「松平薩摩守上巻」「(答大俄羅斯國)」を収める 「對嶽塾蔵」の用箋
865		對策冊稿	鶴哲249	1	教育	入学試問とその對策を集める 学校名は未詳
866	小	小佐治文書	宗 276	1	史料	史料編纂掛本の天正2 贈写
867		小原桃洞小原関峽伝	B940/2	1	伝記	鉛筆書き
868		小堀遠州侯茶会記	宗ト123	4	茶道	寛永3・正保元・2年の会記
869		(小学序講義筆記)	鶴哲207/2	1	漢籍	⑤「小学」⑥「迂齋先生小学序筆記」 文化15 -1812と合写
870	北	北山行幸記	宗ル179	1	記録	藤原経嗣
871	小	小汀道草	宗ル125	4	神道	神道関係の諸書抜録
872		小汀藻草	宗ル125	2	神道	天保2写
873		小瀬復庵蔵書	宗ル319	1	隨筆	⑦「永禄以来出来初し事」巻末に「右は甫庵曾孫小瀬復庵蔵書 日下部景衡識」
874		小牧陣長久手原戦	宗ハ178	1	戦記	⑧「尾州小牧陣 渡辺図巻覚書付参州長久手原御一戦事」
875		小田原衆所領後帳	B975/38	1	史料	天保8 松田右馬介編
876		小田原記	宗ハ106	2	雜史	巻末朱で「右之一部文禄二年九月相州小田原而蒞之于時二十五歳」 ⑨間宮土信
877	上	上田原軍役	宗	1	雜史	⑩「上田原合戦」他に「土佐一条家士兵法」「関東公方兵法付小田原軍役」「小田原陣触」「日取 平沢合戦」を合 万延2写
878	小	小疏記	鶴語19	1	語彙	⑪「備忘録」 越前時田忠亮公弼著
879		小笠原流小性廻	宗へ330	4	武家故実	⑫「小性廻」(7巻2冊 文政7) 他に「燕饗」(2巻1冊)・「食饗」(2巻1冊)を合

880	小	小笠原流獻方口伝書	宗ナ1	1	料理	㊟「飲食記事抜書 小笠原流獻方口伝書」
881		小笠原流雜学集抜書	宗ナ	1	料理	㊟「雜学集抜書」上原定宜他
882		小笠原系図	宗ヲ179	1	系譜	㊟「当家系図抜書」 信濃守貞宗序
883	尚	尚古漫筆	宗ホ477	1	地誌	下野国に関する記事集成
884		(尚志齋雜鈔)	鶴総70/2	1	雜記	㊟㊟なし 太平記その他の抜録 猪飼敬所自筆
885		尚書天文解	鶴哲162	1	天文	㊟「経籍天文解」 文瑟田瑣著 安永8 巖垣彦明跋
886		尚書考	鶴哲297	5	儒学	卷末に朱で「辛卯秋八月備尾州恒川生讀踏写之借九月十二日夜校了 彪志」
886	尺	尺牘消裁	鶴総324/6	1	漢籍	寛延4序 慶応3写
888	尹	尹良親王遺事	鶴史142	1	雜史	明治15写
889	尾	尾州名古屋御殿間画名録	宗	1	書画	
890		尾州中納言殿江御咎三ヶ条・松平左近将監江御咎七ヶ条尾州長久手戦記内書抜	宗ヲ191	1	政治	享保17 ㊟延享4
891			宗ハ210	1	軍記	㊟「尾州長久手戦記」 根岸直利編 木村高敷校
892		尾張分限帳	宗ヲ172	1	名鑑	徳川光友時代のもの
893		尾張國人物志略	宗ル144	1	名鑑	明和7写
894		尾張風土記	宗ホ324	1	地誌	奥書「右風土記残冊十七冊之内尾張國今度以台命之故訂誤字者也 寛文十年庚戌五月十四日 大納言源通村在判」 宝暦12信州尾畑村の化猫騒動
895		尾畑山吹猫物語	宗ロ355	2	実録	宝暦12信州尾畑村の化猫騒動
896	履	履斎示児篇23卷		2	(現物なし)	
897	山	(山下幸内上書)	鶴法104	1	政治	㊟㊟なし 享保7写
898		山城寺社宝物随見録	宗ヲ102	2	書画	山城大和の寺社所蔵書画の解説 西村兼文著
899		(山崎周敬雜録)	鶴総336	4	雜録	㊟㊟なし 明治9~16年の雜記帳
900		山川太平論	宗ロ399	10	実録	嘉永7写 白川侯一件
901		山形軍記	宗ハ109	6	軍記	最上義光生涯の戦記
902		山槐記陣執筆図	H240/10	1	記録	座・硯・墨など執筆に関する諸事を記す
903		山泉抄	鶴総237	2	辞典	人倫・器財・気形等七門に分けて種々の語に故事を引き説明 人見竹洞の自筆とする古筆家極め付
904		山田志	C244/15	1	雜記	伊勢山田史料 御巫滑白蔵本により大正2写
905		山田流箏曲譜	鶴楽23	1	音楽	安永8大沢山人序 箏曲譜
906		山陵考略	宗ル241	1	陵墓	神武~平城陵の考証 安政2山川正宜自序
907		山鹿先生自啓	鶴哲358	1	漢学	㊟「先生自啓」「先生子弟警戒」「先生御侯之警戒」「寛文丙午先生居文賈追戒子弟」 安政4雨森友篤写
908	岐	岐組紀行	鶴地28	1	紀行	錦水源天錫子娘著 天明7江戸より大垣に至る 寛政9長崎吉邨正隆跋
909		岐阜卓筆記	宗ル296	1	地誌	西川正敷著 岐阜城下および近郊の地理
910	岡	岡屋関白記	宗ツ150	3	日記	藤原兼経宝治3~建長3の日記 宝暦6~9写
911		岡崎家伝		1	家伝	
912		岡崎記	宗ロ131	1	伝記	
913		岡本半助武御伝書	宗uncl	14	→12、16	
914		岡本関白記	宗ツ159	1	記録	正和2伏見天皇出家の模様を記す 賀茂清茂写
915	岩	岩渕夜話	宗ロ38	4	伝記	㊟「岩渕夜話別業」 家康の逸話集 8巻4冊
916		岩渕夜語別集	宗ロ228	5	伝記	5巻5冊 文化7写
917	島	(島原合戦覚書)	鶴史54	1	軍記	㊟㊟なし 天保7松蔭村尾元融写
918		島津家録在略志	宗ル472	1	雜記	㊟「録在略志」 伊集院忠棟父子誅罰一件他に「立花家譜」「立花戦功録」「立齋話記」 天保12越智直澄写 版本の写か
919	崇	崇孟	鶴哲215	1	儒学	㊟に「付録倉殿家来代名」と小書 宝暦6改
920	島	島津家分限帳	宗ヲ212	1	名鑑	
921	嶋	嶋津琉球軍精記	宗ハ159	14	雜史	島津家琉球侵攻始末記
922		嶋田先生文	鶴総324/2	1	漢文	㊟「緯侯倭侯數優論」 嶋田雲村著
923	山	山吹塚供養	鶴歌75/1	1	俳諧	扉に「以雪庵先師卒哭忌/山吹塚供養/美濃大垣社中編」 文化12写 →1260、2064と合
924	嶺	嶺景雲書古詩文		1	墨跡	江州水口藩士嶺谷景雲の書を表装したもの
925	川	川中島後戦記	宗ハ86	1	雜史	川中島合戦に関する文書3点を収める 天和3写
926		川岡氏筆記	B940/56	2	隨筆	㊟「川岡筆記」 鴨長明以下江戸中期に至る人士の逸話集
927	左	左伝凡例	鶴哲96	1	漢籍	
928		左伝續考	鶴哲98	16	漢学	天保5成

929	左	左伝集説	鶴哲99	3	漢学	欽斎澗部光有謙 左伝についての諸説集成
930		左伝亀翼考義	鶴哲161	2	漢学	亀井南溟著
931		〔左氏伝抄〕	鶴哲282	1	漢学	④「左氏伝」 宝暦11
932	己	己未漫録	鶴総158	3	雑録	古今雅俗万般の書留め
933	布	布袋和尚忍字記雜劇	L 330/1	1	漢籍	
934	帝	帝王編年集成	宗8/14	5	通史	
935	師	師郷記	B 830/23	4	日記	中原師郷
936	席	席絵図	宗 333	1	武家故実	將軍よりの下賜を受ける儀礼 ④右肩に「被下物」
937	常	常憲院贈大相国公実記付録	宗ル387	1	伝記	
938		(古今類聚)常陸国志	宗ホ394	5	地誌	
939		(朴翁居士)常陸帯	宗ホ459	1	紀行	明治29年小沢醉園書入
940	幕	幕之間書	宗へ309	1	武具	享和3年伊勢貞春識 文明本
941	平	平城東大寺鴨毛屏風記	宗ヲ200	1	考証	鴨毛屏風についての考証 嘉永2年源正直自筆 →1382
942		平安落穂集	宗ロ46		隨筆	
943		平家物語考証	宗ハ214	10	軍記	源道格編 語句・事実の考証
944		平忠度伝	宗ロ432	5	伝記	宝永3 秀松藤吉郎経定(十九歳)著
945		平語二十絶		1	漢詩	日根野弘享作 天保5
946		平通盛伝	宗ロ374	4	伝記	宝永4 秀松藤吉郎経定著
947	年	年中行事	宗ツ26	1	有職故実	④「当今年中行事 識仁」付「地下職官志」 宝永元伴正明写
948		年中行事	宗へ190	1	有職故実	江戸城の年中行事
949		(刪補)年中行事	宗ツ21	6	有職故実	目錄題「刪補年中行事秘録抄」
950		(刪補秘録)年中行事	宗ヲ80	12	有職故実	→326
951		年中行事秘抄	宗ツ	1	有職故実	享保14写
952		年代記	B 203/14	1	年代記	寛永3 珍蔵司写
953		年浪草	宗ロ204	19	歌文集	似雲歌集 天明6 寿栄写
954		年表	宗ル199	2	年表	慶長5～寛政12
955		年記録	鶴史538	1	年表	大化～天仁間の記載 明治17成 卷二
956		年賀御礼御入内恐悦其他覚書	B 206/39	1	有職故実	「年賀御礼御入内恐悦并御献上大宮御新殿御移徙恐悦」米津伊勢守出文書控
957	幸	幸田精義墓碑文	鶴史697	1	金石文	④「穆靖先生幸田君精義墓誌銘」 寛政4 滝川惟一撰
958	幼	幼学問答	宗ル313	1	教育	伊勢貞丈著 安永10成
959	幽	幽遠隨筆	宗ロ433	2	隨筆	安永3年刊本写
960	府	府県社表	宗レ80	1	神社	④「明治十九年十一月調製 二十年一月十一日畢」
961		府藩県廳置並長次官任解捷覽表	B 973/8	1	政治	広瀬進一纂 明治元～4
962	庚	庚申仇問書	宗ロ414	1	雑史	万延元関某写
963		庚申祭儀並甲子祭式	宗ツ177	1	祭祀	④「享保五年庚子三月十八日玉木正英 享保十六年五瀬関録」
964	庖	庖厨撮要	宗ニ207		料理	
965	席	席話抄	宗ル107	2	隨筆	
966	座	座右便覧	H 240/20	1	有職故実	代々帝王御諱他 帝國図書館本「総要録」の転写
967	庭	庭園花譜	宗ヌ34	2	植物	彩色花園
968		庭田家伝		5	家伝	庭田・慈光寺・綾小路・五辻・大原家
969		(庭訓往來注)	K 712/52	1	教育	
970		庭の摘草		1	(現物なし)	
971	康	康斎詩集	鶴総325/1	4	漢詩	④「詩稿」表紙に「塩谷先生於出候之詩作」裏表紙「安政二乙卯年九月十五日改之康斎謹書」他
972		康顯記	宗ツ162	1	記録	表紙に「嘉吉三年十一月」
973	庸	庸軒八炉集	宗ト175		茶道	
974	廣	広幡家伝		1	系譜	
975	延	延享四丁卯歳九月廿一日御即位式		1	儀式	④「延享四丁卯歳九月二十一日御即位式并上使大名使」
976		延喜式神名帳考証	宗ツ127		神祇	④「神名帳標目私考」 天保15春村の朱冊入有 文化10成 伴信友
977		延喜祝詞式解	宗ツ128	4	祭儀	卷末「明和五年十月賀茂県主真淵七十二のとしにしろし竟つ」
978		延季詠草		587通	和歌	寛政二年六月廿五日他詠
979		延暦十三年曝涼目録	宗ワ126	1	目録	東大寺使解 申曝涼香薬寺事
980	建	建仁元年十月熊野御幸道之間記	宗ル312	1	記録	④「建仁元年十月熊野御幸道之間愚記」 定家 享保7 壺井義知
981		建武式目	宗ル322	1	法制	
982		建治三年日記	宗ル475	1	記録	④「建治三年丁丑日記」 朱「伊勢貞丈旧蔵本」
983		建隴県志 (16卷目録1卷)		10	(現物なし)	

984	弓	弓箭定法・弓塗定法	宗	1	弓道	日置流の弓の作りかた 奥書「右雖為秘説許御伝写畢/吉田八左衛門」
985	弘	弘前一統志	宗口350	4	伝記	藍原越通貞著「愚耳旧聴記」を補訂したもの
986		弘安礼節	宗ツ176	1	儀式典	礼 伊勢貞丈 壺井義知の注を巻入れる安永9写
987	弱	〔弱水軒筆二〕	鶴総252/1	1	随筆・地誌	㊤「随筆及全国郡集」 「郡名字訓考」(2540)を合綴
988	彌	弥志納意久佐	K540/94	1	教育	董蒙心学の書 脇坂義堂著 文久4写
989		弥生空	宗口113	5	雑録	安政6年5月～万延元年11月の世事雑録
990	彦	彦根御領分村々古城主付	C243/18	1	人物	大正3 嵐鋭郎写
991	彫	彫鷹記	宗ル391	9	伝記	八代将军吉宗の伝記 初政・政事・文学・武備等に類聚
992	役	役行者小角一代記	宗ソ569	1	実録	㊤「役行者一代記」
993	往	往事聴書	宗	1	雑録	㊤「往事きき書」 明治41嵐鋭郎写
994		往事聴書抜書	宗	1	雑記	「三重県伊賀国上野ニ於て渡辺数馬仇討/往事聴書抜書」 明治41写 993よりの抜書
995	後	後山本左相府記	宗ソ36	1	記録	㊤「花園院巳日節会記」
996		後師録	鶴哲87	1	外交	古賀精里序 精里・草場佩川が韓使と行った答問三種
997		後楽園紀事	鶴地46	1	雑記	㊤「後楽園紀事」 礪川後楽園の記 額賀信興著 寛政9石川清秋写
998		後深心院関白御記	宗ソ38	6	日記	永和5年7月～応安7年6月
999		後浄明珠院殿御記	宗ソ52	1	日記	「康道卿記」の抜書か
1000	柳	柳營秘鑑	宗ル131	33	法制	㊤「前篇一(～六)」「後篇一(～五)」「拾遺一(～三)」「残集一(～四)」「脱漏一(～六)」「新益一(～五)」「温知一(～六)」→1418と同
1001	後	後鳥羽院後宇師徳鍛冶	鶴	1	刀剣	㊤「後鳥羽院御宇鍛冶結番之次第」
1002	御	御上洛御道記・吉野記・武蔵の道記	宗ホ7	1	紀行	標題三書の合写
1003		御使御詣記	宗ホ198	1	紀行	勅使の伊勢参拝記 嘉永2 荒木田興平写
1004		御伝	宗ソ37	3	伝記	宝暦12僧天笠盤蘇写 「〔親鸞聖人〕御伝」
1005		御先祖記	宗ハ166	10	伝記	家康の系図並びに伝記
1006		御即位幣旗之図	宗ツ129	1	有職故実	㊤「明治元年辰八月廿七日」と冠
1007		御即位御大礼一式覚	B206/38	1	有職故実	即位時米津伊勢守より献上関係文書控 慶応4
1008		御即位御役定書他	宗ツ143	4	有職故実	「御即位御役定書」「御即位御祝儀進献之品」「御即位執役定書」「御即位次第」 享保20桜町天皇関係
1009		御即位記	宗ツ174	1	記録	外題下に「寛永七年九月十二日/羅浮子道春作」天保13盤観写
1010		御参内記	宗ル91	1	記録	寛永十一年七月十九日家光
1011		御大典大饗応御膳目録	宗	1	記録	㊤「大正四年十一月」と冠
1012		御婚礼御祝	宗	1	儀式	
1013		御家中略系譜	宗98	23	系譜	有馬家(久留米藩)
1014		御家中系図	宗ニ74	1	系譜	1015の大正2写 →1016
1015		御家中系図	B982/9	3	系譜	加賀藩家中
1016		御家中系図	宗ニ74	1		→1014
1017		御家伝	宗ル251	1	系譜	奥州岩城(後日向延岡)内藤家
1018		御家老中略系譜	宗97	1	系譜	袋のみ存
1019		御家譜	B982/10	1	系譜	加賀前田家 外題上「癡龍翁編選」と冠
1020		御家譜	宗ニ81	1	系譜	1019の大正12の写
1021		御年譜藤孝公	宗ル141	11	系譜	「藤孝公御年譜」四・「忠興公御年譜」五・「忠利公御年譜」一・「光尚公御年譜」一 「細川家譜」の写
1022		御幸記	宗ツ56	1	記録	修学院離宮他行幸記 享保13～16
1023		御幸記	宗ツ54	1	記録	享保6～13
1024		御役人総鑑抄	B972/3	1	記録	京都所司代・大阪城代・大坂定番・江戸町奉行・京都町奉行・大坂町奉行 元禄以降表紙に「嘉永五子年より/安政二卯十二月迄内寅年ハ無之」 逐年の献立表
1025		御懷石御献立	宗468	1	料理	
1026		御懺法講次第	K620/51	1	講式	幕府法
1027		御政務御定番箇条	鶴総103	1	法制	(現物なし)
1028		御会始歌集	詩16/4	3		
1029		御日記	宗ツ155	20	記録	慶長16～寛永20に至る幕府史官の日記 但し第9冊(元和元年)からは「元寛日記巻之一」となり第20巻は「元寛日記巻之七」で終わる 「元寛日記」にそれ以前の4年分を追加したものか

1030	御	御昇壇記	宗ロ211	2	記録	元禄14~正徳元の間(中御門天皇誕生~即位)の儀式次第 寛政2番写奥書あれど、明治の転写本か
1031		御本日記附注他	宗ヲ77	16	(現物なし)	
1032		(御条目)	H221/48	1	法制	題簽が「御条」以下剝離す 郷中十七箇条(天和3)・町中二十一箇条(貞享3)・寺社七箇条(貞享3)からなる
1033		御流茶湯廻記	宗ト19	3	茶道	松平不昧公茶道伝書 天保15写
1034		御湯殿記	宗ツ84	2	日記	㊦「慶長三年つちのへいぬのとし御ゆとのうへの日記」(坤の巻)
1035		御番帳 永享年中ヨリ永正年中マテ	宗ル320	1	名鑑	輪台蔵本に拠つて古屋光教写
1036		御目見以上大概順并場所	宗uncl	1	法制	お目見以上の石高、席次、管轄等記す
1037		(桂御所二条城名古屋城西本願寺)御換画工人名書	宗ヲ224	1	書画	襖絵とそれぞれの画工をあげる
1038		御系譜	鸚史421	1	系譜	慶安~嘉永 徳川家(尾張)系図
1039		御経済之趣意書	D105/42	財政	藩財政の窮乏に対する趣意書 「丑正月倉田耕之進」とあり	
1040		御着到百首	詠77	1	和歌	寛永十四年「三十首」(寛永二年智仁)「十首」他 →303、319、391、1081、2092、2203、2322と合帙
1041		御行幸次第	宗ル311	1	行幸	寛永三年九月六日の行幸の記事及び「後光明院朝覲行幸記」(慶安四年二月廿五日)からなる
1042		御装束之品并御着座等次第	H240/7	1	武家故実	
1043		御装束之次第・御着座之次第	H240/6	1	武家故実	1042とは別本
1044		(桂御所江城二条城名古屋城)御換画工人名書	宗ヲ67	1	書画	襖絵とそれぞれの画工
1045		御親征大坂行幸道中并諸日記	B251/17	1	記録	㊦「慶応四辰年三月二十一日御親征大坂行幸道中并諸日記 堀河殿役所」
1046		御触書写	宗ル50	5	法制	天保十二年五月十五日~同十四年八月二十一日の御触書を収録
1047		御道経由東省州県分站程図及志畧		32枚	(現物なし)	
1048		御遷幸供奉色目書	宗ヲ118	2	有職故実	㊦「安政二乙卯年十一月廿三日 御遷幸供奉色目書」
1049		御遺状御宝蔵八百箇条	宗ル65	1	教訓	異本と対校の跡あり
1050		御遺状御宝蔵八百箇条	鸚法24	1	教訓	
1051		御降誕考		1	伝記	延宝4写 →32、188、456、697、698、1429と同
1052		御陵墓之抄	宗ル97	1	陵墓	彩色図入り陵墓の所在地の研究 泉涌寺御廟の図に後桃園帝まで記入
1053	復	復性弁	鸚哲315	1	漢学	内題下に「表行齋」とあり
1054	徳	微妙院様御直之御意覚書	宗ル368	1	記録	享保五庚子八月八十一歳藤田内蔵允安勝
1055		徳川外戚伝	鸚史422	1	家伝	
1056		徳川家光公参内行列記並御進献 同家茂公御進発行軍附	宗ル314	1	記録	
1057		徳川家旗本石高姓氏録	宗ヲ78	6	名録	姓のいろは別
1058		徳川家系及連家	宗ル458	1	系譜	系図の後に略年譜あり 宝暦5に至る
1059		徳川家阿茶の局一件	宗ロ86	1	記録	㊦「従一位阿茶之御局并子孫御奉公勤候次第」 文昭院殿御代まで →2620と同一番
1060		徳川幕府殿中之記	宗ル359	8	記録	内容は宝丙密津秘と津一冊・嚴密頃日噂二冊・近代公実嚴秘録三冊・要秘録抜卒二冊
1061		徳川幕府祚胤伝	宗ル510	6	系譜	文政十一年十月上諭竹尾寛斎序
1062		徳川御家記	宗ハ192	1	記録	家康に至るまでの徳川家の記録
1063		徳川記	宗ル389	1	記録	家康に至るまでの徳川家の記録 ㊦「此書天保十二辛丑二月写之」
1064		徳河史畧	宗イ227	8	記録	家康の一代記 松斎重任の跋によれば大道寺友山の著
1065		徳語	鸚哲286	1	教訓	家康の遺徳遺言を述べる 清府医臣谷其草謹記 ㊦嘉永庚戌二月二十一日卒業
1066	心	心能友昔譚	鸚総218	1	雑録	紀記万葉以下の図書から種々の事項を抄出
1067	志	志士清談	宗ロ371	1	雑史	
1068		志野流香茶之記	宗ト83	1	香道	㊦元文元年仲夏日峰谷宗先判
1069		志野流香道葛蒲草	宗ト171	1	香道	
1070	怪	怪談諸国物語	宗ロ394	1	浮世草子	弘化4年11月25日写
1071	性	性理鄙説	鸚哲595	1	儒学	
1072	思	(古今雑談)思出草紙	宗ロ360	1	隨筆	
1073		思ひのまゝ	宗ル69	2	隨筆	種々の雑説を記す
1074	恐	恐惶神論 附恐惶神論評	鸚法14	1	政治	㊦「恐惶神論」「恐惶神論評」 庚申春三月 優婆塞金剛覚識
1075	恢	恢国編	鸚地125	1	地誌	㊦「万国形勢大編年」
1076	懸	懸狐三国伝記	鸚文32	2	隨筆	

1077	惠	惠乃露	鶯歌41	1	和歌・漢詩	源正路編
1078	惟	惟喬親王記	宗ニ93	1	伝記	明治41写
1079	愚	愚昧記別記	B230/9	2	記録	寛政9本の影写
1080		愚得隨筆	宗へ169	1	隨筆	卷5・6存 日下部景衡編
1081		愚詠	詠77	1	和歌	「詠藻」(文久三年四年)「文久三年四年」 「元治二年」他合綴 →303、319、391、1040、 2092、2203、2322と合帙
1082	惺	(惺窩文集)	鶯歌16	1	和歌	㊤「惺窩倭詞集」 ㊦「惺窩先生集」 和歌集 (現物なし)
1083	慎	慎守編 附諸葛亮心書・蘇洵 權書		4		
1084		慎齋日録	鶯総246	2	記録	文政三年庚辰七月ヨリ同壬午三月迄 文政 十年九月ヨリ文政十一年
1085		慎齋聯珠	鶯総389	3	漢詩文	俳諧等合綴
1086	慶	慶元日記				→267、1094
1087		慶元闘戦記	宗38	15	雑史	
1088		慶応年間書類(史談会採集史料)	B245/18	1	史料	東京大学本 明治45写
1089		慶長中外伝東征西願	宗ハ206	15	雑史	
1090		慶長中外伝(関ヶ原陣惣論)	宗ハ122	1	雑史	
1091		慶長中外伝附録寛永南島交	宗ハ157	5	雑史	卷十一、十二(寛永南島交付録上下)
1092		(慶長年中記)	宗ル373	1	雑史	㊤「卜齋記」板坂卜齋 文化14
1093		慶長年中記	宗ル377	1	雑史	享保8佐野泰政序 成島道竹著 ㊦「卜齋 覚書」 →267、1086
1094		慶長日記	宗イ229			
1095		慶長記	鶯史238	1	雑史	元和2跋
1096		慶長記板坂卜齋	宗ロ342	3	雑史	
1097	森	森京集	鶯歌4/2	1	歌集	太田道灌歌集 伴信友校訂 →741と合
1098		森焔絵	宗ソ126	1	真宗	慶安元年書写奥の転写本
1099	憲	憲廟実録	宗ル477	1	伝記	正徳4年源(柳沢)保山跋、吉里奥 延宝 8~宝永6
1100	懲	懲忿録	鶯史148	1	歴史	貞享4伊藤長胤後叙あり
1101	懷	懷恩夜話	宗ル	1	伝記	享保4成
1102		(史談会採集史料 勝安芳・由 利公正)懷旧談	B245/36	1	隨筆	勝のは東大本の明治45写、由利のは國民の 友抜粋
1103	戊	戊戌夢物語	鶯史210/3	1	政治	㊤「夢物語」 →130、504、633、635と合綴
1104	我	我成日記・梁麗日譜	宗ヲ183		日記	羽倉用九著
1105	我	我泉草	宗ト37	5	茶道	作法、道具
1106	戰	戰記雜録	鶯総324/12	1	雑史	㊤「拔萃書」 戦国期
1107	戴	戴恩編年録	宗ロ29	15	雑史	天文11~天保8
1108	所	所歴日記	宗ホ460	2	紀行	江戸~有馬往復 寛文4石出吉深著
1109	房	房総里見誌	宗ル398	5	雑史	里見氏
1110	扇	扇之記・鳥目之記	宗	1	考証	装束、貨幣
1111	扈	扈從録	鶯史68	1	記録	木原元礼著 慶応2世子の封内巡視に供し た時の記(漢文)
1112	手	手紋変通	鶯哲549	1	手相	
1113	扶	扶桑遊記		1	紀行	清人王韬の日本旅行記
1114	抛	抛入花薄	M730/2	5	花道	千葉一流著 明和4序 後編同7序
1115	扶	扶桑街巷記	宗巴2	10	地誌	安永6序
1116	抄	抄書	鶯	1	漢籍	漢籍抄出印集録
1117	折	(折紙)		3通	古文書	古筆了仲の元祿8蜷川親当筆伊勢物語註 を証する折紙と極札のみ
1118		折たく柴の記	宗ル310	3	隨筆	正徳6跋
1119	拙	拙作俗文章草稿 五至十	鶯語120	1	書簡	表紙「嘉永紀元戊申以後」 弘化3梅林書 屋主人跋
1120	抱	抱一堂海函録続抄	鶯総302	2	隨筆	卷六(嘉永甲寅秋、安政乙卯夏) 卷九(安 政辰春至同己酉秋)
1121		(抱独齋道中覚書)	鶯地64	1	遊覧	「道中手扣」「雅俗止簿」(文政6)他合 綴 (現物なし)
1122	拜	拜経撥詩話統編		1	雑録	㊤「□書」 漢詩他雑集
1123	拔	(抜書)	鶯総301	1	雑録	→1375と合写
1124		拔萃	鶯歌28/1	1	雑録	
1125	拾	拾古雜篇	宗	1	隨筆	㊤「集古雜篇」
1126	挿	挿花住之江(遠州流)	鶯花33	3	花道	貞松齋一馬序 寛文6 関氏一登丈(識語)
1127		挿花千筋	鶯花36	1	花道	㊤「生花大意」 卷末朱「寛政四壬子冬十 月 水隣舎写之」
1128	拾	拾菓集 抜書	鶯歌171/1	1	宴曲	㊤「拾菓集上」 下巻は欠 表紙「拾菓集 抜書并歌書抜書」 「天海僧正 拾菓集外 題林道春各真疏 表紙裏反古脇坂安元 古 筆了仲」(極札) →1472と合写
1129	按	按察使親長年譜	宗ツ142	5	記録	親長卿記
1130	接	接穂の花	鶯歌78	1	俳諧	文化午年きさらぎ日序 白寿坊

1131	掃	掃寄草紙	宗ル262	2	隨筆	安政7序
1132	揀	抄 菓妙菓	宗医31	1	医学	
1133	換	(換杏余話)	鶴	1	雜録	㊤「換杏余録」(「録」をミセケチ「話」とす)「涛声」(表紙)
1134	挿	挿花稽古願定(一陽家初段序)	鶴花20	1	花道	㊤「挿花大意」(卷末)一陽家五段筆記
1135		挿花について	D P 4		小説	幸田露伴自筆草稿
1136	提	提唱慢筆	宗ル261	1	隨筆	元治改元仲夏 松裏江華正
1137	榻	榻鳴晚筆	宗口157	21	隨筆	
1138	琴	琴刻発微	鶴画133	1	繪画	法帖のこと
1139	摩	摩訶止観提要	宗リ572	1	仏教	明治44写
1140	擊	擊壤余録	宗ル517	8	隨筆	于時弘化五戊申年二月上旬出来
1141	撥	撥證真詮	鶴画486	1	書画	㊤「撥路真詮執筆撥證法図式」 安永2知 文跋 文化十二乙亥年七月十日
1142	操	操練略式	鶴史651	2	兵法	山脇正準著
1143	攝	撰家清華之事	H240/15	1	有職雜録	諸家来歴
1144		撰州天下茶屋敵討	鶴文33	1	実録	
1145		撰州生玉崇泉寺敵討大全	宗口95	3	実録	松翠軒是未跋 (現物なし)
1146		撰営秘録(付撰営秘図)				
1147		撰社参詣記	宗ル347	1	紀行	度会延賢著 享保7伊勢神宮撰社参詣の記
1148		撰陽落穂集	宗ホ516	10	隨筆	文化5浜松歌国自序
1149		撰陽落穂集	宗ホ390	19	隨筆	一〜七、附録上下、後篇一〜十 1148の改編
1150	撰	撰睡劇談	宗口180	5	隨筆	㊤「増補評註撰睡劇談」 鳥取辺の怪奇談集 延享元序
1151	放	放鄭膠柱譜縁起	鶴案27	1	音楽	弘化3渠易老人山嵯洪 序文のみの稿本か
1152	故	故事本語本説連哥聞書	A910/68	1	連歌	故事による連歌の解説
1153		故実撰要集	宗へ266	3	有職故実	伊勢貞丈奥に条々聞書を抜書し増補の書と
1154		故実書籍類	宗	1	有職故実	故実に関する書籍の目録 幕末期成
1155		故穆山師	宗ソ570	1	隨筆	西有穆山(禅僧)の逸話 明治43〜44中外日報抜書
1156	政	政所賦銘引付	宗ル324	2	記録	外題内題下「政所伊勢伊勢守貞親被管/政所代蟾川新右衛門尉親元日記」文明5〜17
1157		政春古兵談	宗ル509	6	軍談	享保20写
1158	改	改正太平秘記	宗口428	2	雑史	元文5序
1159	政	政語(巻之三)	鶴法45	1	政治	諸葛翁著 租税・田禄の部 ㊤「政語抄」
1160	政	敵帯記	宗ト34	6	茶道	享保7楽只斎宗二序 茶道の作法・故実書
1161	政	文久三年風聞書	B245/33	1	雑録	文久3の落書等集録
1162	文	文久聞書	宗ル169	1	雑録	巻説・事件見聞集
1163		文人画家評判	鶴画113	1	戯文	「文人穴さかし」か 畑銀鷄自筆稿本か
1164		文字顧問	L700/1	1	語学	大森惟中著 問答体で言語・古諺・故実等を解説 明治期の成か
1165	綴	統文字顧問	L700/2	1	語学	1164の続編
1166	文	文廟墓御記	宗ニ41	1	記録	徳川家斉葬儀の記録 ㊤「右一卷森宗竹表法師勤中の書留」
1167		文房四賢伝	鶴画115		伝記	某人の文房四賢伝に新井白石・三宅観潤などが加賛したもの 某人の宝蔵法印胤栄并弟子尚政伝を付す
1168		文政雑記	宗口384	13	隨筆	全25巻のうち巻12まで 天保二年四月大奈言小豆序
1169		文会雑記	鶴総319	3	隨筆	
1170		文法直截真訣抄	鶴語106	1	文法	
1171		文集録	鶴	1	漢詩	某人の漢文数篇 明治の書生のもの
1172		文泉子遺稿2巻		1		(現物なし)
1173		文熊手	鶴総359	1	雑録	
1174		文芸諸家便覧	鶴史465	1	名録	冒頭は亀田鶴斎
1175	斑	斑鳩御所皎月御流初伝表之巻	鶴花30	1	花道	
1176	料	料理作物仕法記	鶴総106/2	1	料理	裏表紙に「文化八辛未正月津山主計」
1177		料理秘伝書	宗ナ29	1	料理	
1178	新	新井氏献本目録		1	書目	明治13白石の子孫が宮内省へ献納した図書の目録
1179		新名所絵詞合	宗チ61	1	和歌	
1180		新增浮世絵類考	宗ヲ	1	繪画	慶応4春 龍田秋錦自序
1181		新安手簡	宗ル134	3	書簡	
1182		新安手簡 巻下・附録	鶴史714	1	書簡	㊤于時安永八己亥春二月写之句水軒三宅高彦
1183		新武州金石銘類	鶴画156	1	金石文	富岡八幡宮鳥居銘を始め種々の碑文を収集した書
1184		新撰藩翰譜 畿内巻	B940/69	1	系譜	㊤右肩に大日本藩札研究会編著とあり、大正十二年一月石松喬の例言あり
1185		新撰類林抄		1	仏書	巻四の複製

1186	新	新笈会	宗ツ27	6	有職故実 卷1欠 天慶元～嘉禎2の新笈会についての記事を諸書から抄録
1187		新猿楽記	本居技862	1	漢文 文化十一年四月十五日校合済の識語あり
1188		新田徳川世良田家譜	宗ル187	1	家伝 木口に「新田三家考」とあり
1189		新田真伝記	宗ハ153	4	家伝 新田家伝 弘化4の記事で終る
1190		新編江戸志	C211/3	11	地誌 東武懐山子輯著 慶積校正
1191		新造内裏清涼殿障子色紙和歌	宗ヲ195	1	和歌 清涼殿障子色紙和歌とその歌人並びに清書筆者
1192		新嶋夜話	宗ロ420	1	随筆 ㊤「御代恵新嶋夜話」 藤田重行著 寛政12自序 同年逍遙館自得敬跋 嘉永元写
1193	断	断絶家譜	宗ル129	2	系譜 ㊤「断絶諸家大概」 堂上家以下断絶した家系
1194	於	於神宮忌僧尼参入内院例・当神事之時忌仏事并僧尼雜例	宗レ35	1	神道 ㊤「大神宮の内院に僧尼の参入することを忌む例、神事また伊勢の事に仏法あるひは僧尼をいまるくさくさの例」 弘化2写
1195	旅	旅中見聞記	宗ホ384	3	紀行 旅日記 文政以降のもの
1196	た	(俳諧)たひ仕合	鶴歌67/2	1	俳諧 朝暮編 山中紀行 →2523、2461と合綴
1197	旅	旅廻菜	鶴地66	1	紀行 桂處賢著 以下五部よりなる 遊仙旅日記 (明治23)・避暑記行 (明治25)・雨霧漫録 (明治25)・投間編苞 (明治26)・放念漫策記稿 (明治28)
1198		旅順往復日記	J430/5	1	戦記 明治38年7月27日～8月27日 当時 (明治38) 大本営陸軍参謀鏑方徳蔵の昭和5年2月28日識語あり
1199	旗	旗差物装束記録	宗	1	武具 旗差物装束の説明
1200	日	日光山修善雜記	宗ソ249	3	記録 ㊤「修善雜記」
1201		日光御祭礼奉行一件	宗ホ306	7	記録 元禄13・宝永5・寛延3・宝暦12・天明7・天明8・寛政2の計7回の日光祭礼時の奉行記録
1202		日光御祭礼之図	宗レ348	1	記録 家康を日光に改葬した折の祭礼図 天保11阿部忠四郎藤原正馨秘蔵本に拠って尾嶋信古が書写
1203		日光紀行	鶴地94	1	紀行 勝田獻著 明治4成か
1204		日光紀行	鶴地95	1	紀行 ㊤「景山公日光紀行」 天保14年將軍の日光参拝に従った徳川斉昭の紀行 明治22野口勝一写
1205		(日光紀行)	鶴歌57	1	紀行 日光参拝の折の紀行文・和歌 柳圃、蠡舟ほか
1206		日光巡拝図誌		4	地誌 天保11 画工大岡柳斎 筆者堤等道 経師清兵衛
1207		日光郡郵枕	宗ロ224	1	実録 ㊤「(秘録)日光郡郵枕」 正徳2写
1208		日光郡郵枕	鶴文34	1	実録 寛延3 浪華隠士於可茂登序 序題「増補日光郡郵枕」文化6写
1209		日光郡郵枕	宗ロ73	3	実録 ㊤「日光郡郵枕実録大全」 1207、1208とは別本
1210		日原先生示徒遊之士談并諸先輩語録	鶴哲209	1	漢学 字話を集めたもの
1211		日向国旧都誠論	鶴史709	1	地誌
1212		日向風土記	宗ホ318	1	地誌 ㊤「日本惣国風土記第六十四日向国」
1213		日吉山王知新記	宗118	1	神社 ㊤「日吉山王知新記巻上抜書」
1214		日本使節巡行紀事	D P 5	1	外交 明治17写 文久2 遣欧使節の行程
1215		日本名家肖像集	鶴史523	1	書画
1216		日本国現報善悪靈異記	宗ソ132	3	説話 ㊤「日本靈異記」本奥書「建保武年甲戌六月日酉剋計書写了」 天明7 法眼謙道写 1217、1226、1227と同
1217		日本国現報善悪靈異記			→1216、1226、1227
1218		日本外史論贊	鶴史50	1	外交 頼山陽著
1219		日本惣国風土記	宗ホ511	28	地理 一部重複を交えて不揃
1220		日本新国史	鶴史187	1	通史 板倉勝明著 (自筆)
1221		日本新国史諸国瑞祥妖災之部	宗ヲ193	1	通史 ㊤「日本新国史巻十二」弘化4北川政武写 →1220と同
1222		日本書紀	宗ハ6	7	注釈 日本書紀の注釈 その書名未考
1223		日本書紀纂考	宗イ217	11	注釈 寛延元所住軒方秀著
1224		日本海陸道程記	宗ホ172	15	地誌 ㊤「海陸道程記」
1225		日本長曆	宗ヲ15	2	曆算 貞享2 安井春海著
1226		日本靈異記	宗ソ132	3	→1216、1217、1227
1227		日本靈異記			→1216、1217、1226
1228		日次記目録	宗ツ91	5	目録 二条良基著 寛政5岸本能登写
1229		日知録	鶴総391	1	雑記 「三善清行封事」「義光伝豊時元室秘曲」その他の諸書からの抜書
1230		日野豊田系図	B982/20	1	系図 史料編纂掛本大正4写

1231	日	日くらし硯	宗94	1	政治	恩田李著
1232		日野家伝		13	家伝	勘解由小路・外山・裏松・三室戸・日野西・豊岡・北小路・竹屋・烏丸・柳原・広橋家
1233		日野町家伝・武者小路家伝		1	家伝	
1234	且	且亭漫筆	鶴総330	1	随筆	表紙に「漫筆草稿／且亭」 嘉永4成
1235	舊	旧刊書目	鶴総15	1	書目	老泉門人保人編
1236	早	早馬練秘伝之集		1	馬術	㊤「七段早馬之巻」→281、282、657～659、661～666、2697と同一箱入
1237	昔	昔伝拾葉	宗口228	3	故実	宝永6成
1238		昔伝拾葉集	宗口238	3	故実	寛永(宝永の誤)6 登井鶴翁跋 1237と同一書
1239		昔日北萃(三越紀元・富樫家系図)	宗ル479	1	家伝	
1240		昔日録	鶴史704	1	雑史	一年間の各日に昔起った事件を記す 明治20成
1241	易	易	宗ヲ45	1	曆占	各卦の説明
1242		易附記		21	(現物なし)	
1243	昌	昌平坂学問所経書講義式	鶴哲485	1	教育	「附歴史和解対問式」講義法 歴史の問題と模範答案
1244		昌平坂学問所弁書草稿写	鶴哲487	1	教育	表紙「文政十一子松昌昌平坂学問所御試／中条鉄太郎弁書草稿写」
1245	明	明倫堂雜記	鶴哲330	2	教育	天明3～安政4 細野要斎写
1246		明君享保祿	宗ル163	1	雑史	
1247		明君徳光録	宗ル497	3	雑史	寛政10大河原直清写
1248		明君白川夜話	宗ル437	3	雑史	松平定信著
1249		明君曾勳録	鶴総136	1	伝記	松平吉邦の伝記 天保9写
1250		明和雜録 前篇	宗口305	5	随筆	
1251		明暦三年武鑑	鶴	1	名録	
1252		明暦火事之記	宗ル452	1	災災	
1253		明月記	宗	1	日記	文禄5(本奥) 柳原本を以って校合との奥
1254		(龍頭偶評)明治文纂	鶴文28	2	漢詩文	諸家の文集録
1255		明治詩文第五帙目録	鶴	1	漢詩文	諸家漢詩文集録書の目録のみ
1256		明珍類当図解	鶴史678	1	武具	
1257		明良洪範	宗口274	35	伝記	
1258		明訓一斑抄	鶴哲517	1	教訓	
1259		明訓一斑抄 附景山公御章	宗ル116	1	教訓	
1260	春	春興	鶴歌75/3	1	俳諧	佐賀城東連の文化11・12春興帖 文化12冬写→923、2064と合綴
1261		春宴部類記	宗ツ90	2	記録	野府記その他の公家日記から元日、踏歌の儀式を抄出 ㊤「元祿四年八月二三日野々宮定基」
1262		春屋五雜記 公武吉記巻	宗ヲ163	1	法制	冊之巻・式のみ 法制に関する諸書の抄録
1263		春屋茗話	宗口298	8	教訓	教訓に資する街談巷説を集める 見返に朱で「只誠云春の屋は笹田新七云々」
1264		春山詩草	鶴詩文1706	1	詩集	溝部実光有謙著
1265		春景花都路	宗ホ484	4	紀行	江戸から京への道中記
1266	問	(春秋小賦)問目草稿写	鶴哲486	1	教育	昌平坂学問所の問目とある旗本の答案 ㊤「安政四丁巳歳孟夏四日云々」
1267	春	春秋左氏伝列国君臣系譜	鶴哲97	1	系譜	摂州府福岡政成子爾輯 表紙右端に「明治十八年五月四日水哉楼蔵」
1268		春秋提要	鶴哲184	1	漢学	㊤万延年閏三月松庵学人柴田言誌
1269		春秋毛氏伝36巻		17	(現物なし)	
1270		春秋経伝大要	鶴哲180	2	儒学	㊤「庚寅八月九日就緒、八月既望写了」他の一冊は㊤「要説附録」 ㊤「八月既望就緒、文政庚寅仲秋下四写之於北筑草江塾中荒木文」
1271		春秋附記		15	(現物なし)	
1272		春華先生建白	鶴法41	1	政治	㊤文政戊年二月藤原香島録す
1273		春記	宗ツ31	8	日記	
1274		春の紅葉	宗ヲ272	1	災災	㊤天保十二年正月木村正樹
1275		春のみじ	宗ル143	2	災災	㊤嘉永五年正月二四日東条春枝
1276	晃	晃嶺紀游	鶴地96	1	写真	㊤「晃嶺写真真名所記」明治十一年七月日光紀行の写真集
1277	時	時信記	宗ツ149	1	日記	天承元年十一月一日～十二月二九日
1278		時勢論	J105/5	1	政治	中岡慎太郎道正著 ㊤丁卯夏日
1279	晏	晏子春秋証注	鶴哲1	2	儒学	伊藤馨著 文久紀元十一月付著者の上表文を巻頭に置く
1280	笹	屋ねの目覚	宗ヲ84	8	外交・雑録	「あつきものがたり」「異国船渡来一件」他漂流譚
1281	晶	晶山漫筆抄	鶴総350	1	雑録	文化八辛未歳七月中旬写之畢 嶋田船斎周
1282	更	更鑑	宗ル109	1	随筆	安政3 板倉勝明 中江藤樹他
1283	杵	杵叢杵第五集後	鶴総152	1	伝記	

1284	冊	書写記小倉色紙	宗口271	3	実録
1285		書拔	鶴	1	漢詩雜
1286		「一大奇異」書林文庫初帙		2	(現物なし)
1287		書籍考	鶴総387	1	書籍
1288		書経蔡氏集註私解	鶴哲194	1	漢籍
1289		書附記		14	(現物なし)
1290	會	会席記	鶴茶1	1	茶道 嘉永六年丑二月廿六日 有桑流
1291		会津陣物語	宗ハ130	4	雑史 延宝8 国枝清軒序 安永5 篠田信賢写
1292		会津風土記	宗ホ302	1	地誌 寛文6 山崎嘉序
1293	月	月州稿	鶴詩文976	1	漢詩
1294		月のかゝみ	鶴歌68/2	1	俳書 五竹庵琴左 →294と合綴
1295		月のゆくゑ	宗ハ64	3	隨筆 ㊶「荒木田氏月行衛序」安永己亥 淡海野公台撰 文政十一年 佐藤幸太郎(巻末識)
1296	有	有桑流真台司之伝	宗ト59	1	茶道 正徳四年自在軒跋 寛政四年亀陽子(識語)
1297		有職懐中抄	宗ツ9	1	有職故実 元禄九年吉田惣次郎殿(巻末識語)
1298		有職抄	宗ツ10	4	有職故実 寛永十九年八月廿二日 県主季芳(識語)
1299		有職私記	宗ヘ215	1	有職故実 寛和二年藤原朝顕 享和元年丹羽頼理文化二年佐伯盛条(識語)
1300		有馬伊予守豊範系譜	宗ニ248	1	系譜 (巻末) 寛政十一己未年何月
1301		有馬日記	L240/12	1	日記 表紙「藤原磯足書写本」(朱) (巻末) 寛政三年藤原磯足
1302		有馬系譜	宗ル372	2	系譜
1303		有馬系譜	宗247		系図 ㊶「系譜」 ㊷「有馬」寛政11有馬頼貴編
1304	朗朝	朗詠譜	鶴業28	1	音楽 朗詠90首に節博士を付す
1305		朝倉始末記	宗イ226	8	軍記
1306		朝野旧聞衰葉	鶴史152	21	伝記 家康の事跡 不揃いか
1307		朝鮮人来朝之記	宗ル243	2	外交 宝暦13来朝時 滝川忠厚写
1308		朝鮮製度図	宗201	1	地誌 正徳元辻井竹窓著 「三韓人物諸器図説」か 1309と同
1309		朝鮮製度図	宗201	1	→1308
1310	木	木下人	鶴総278/2	2	隨筆 表紙に「木下人」と直書 題簽2冊とも「千坂万年隨筆」 2冊目内題は「詩家春秋」「万年先生ハ昇平校儒官にして向山黄村等の師也」(前見返) →2329
1311		木子仙和詩	鶴歌60/2	1	俳諧
1312		木草物語	宗ハ47	4	物語 緑山編 「めくる風車集」(2814)を合綴 末に「木草たにおもはむことのはつかしな我心なき筆のすさきは万女」
1313		木蘇道中名所并日光共	宗ホ224	1	地誌 ㊸「木曾名所書拔」 秋里羅島「木曾路名所図会」の書拔
1314	末	末茂流		2	家伝 内外題なし 添紙に「末茂流 四条・鷲尾・山科・六条」別の1冊も同じく「末茂流 山科・冷泉・四条・押小路」
1315	本	本佐録		19	雑史 ㊹「三河物語」 ㊺「遣老物語」→45、48、2537と合綴
1316		本多家書	宗ル103	1	家伝 式番丁様・小石川様・六番町様・愛宕下様の4流に分つ 岡崎本多家
1317		本多家邸怪異之事	宗	1	記録 靴町区上六番町本多家の井戸より出る幽霊についての取調べ
1318		本多家ノ儀書類入	宗uncl	1袋	記録 1317のための下書類一括
1319		本多平八郎聞書・遠州中泉御殿上意・井伊諫争記	宗口418	1	雑記
1320		本朝世紀	宗ハ184	2	通史 貞観11～長元2 1321とは別本
1321		本朝世紀	宗ツ145	20	通史 通憲著
1322		本朝作者目録	宗ヲ89	5	書目 ㊻「増補本朝作者目録」とし、朱で「書籍目録作者寄」と傍書 朱書込多し
1323		本朝列國志	宗イ153	23	雑史 正徳4 阿部佐治著 前編11巻10冊 後篇23巻12冊 統篇上下1冊
1324		本朝古戦短歌	鶴歌40	1	和歌 文化4写
1325		本朝名伝略記	宗ル215	12	伝記 元禄9刊「本朝略名伝記」の写し
1326		本朝名功録	鶴史211	1	伝記 宝永2 敬信序
1327		本朝名盆石之図	宗ト164	1	盆石 延宝4成 寛政11年松石亭写
1328		本朝故事略	鶴総327	1	説話 標題書の他「鷗鷗言」その他雑抄か
1329		本朝盛衰記	宗204	8	雑史 第三篇 大阪の陣のことを述
1330		本朝著述目録	DP8	1	書目 ㊼「書籍品目集」寛政七年改正
1331		本社参詣之菜	宗uncl	1	神社 大阪府石切剣箭神社由緒(大阪府志による) 他
1332		本草図譜	宗ヌ27	3	本草 岩崎常正著 転写本(巻40、47、48)
1333		本草序例鈔	宗医32	6	本草 ㊽「序例鈔」 「本草綱目」の序例・「新添本草衍義」序・「重修政和經史証類備用本草」序等の注解
1334	未	未然本紀注	宗ル329	2	注釈 聖徳太子予言の書という「未然本紀」の注解 享保13依田貞鎮著

1335	未	未生流花伝	宗ト158	1	花道	寛永13未生齋一甫奥 文化14正義奥
1336		未谷詩集4巻		2	(現物なし)	
1337	朽	朽木古文書	宗271	1	文書	近江朽木家
1338		(寛永諸家系図伝抄・佐々木氏)朽木系図	B982/17	1	系譜	㊤「寛永諸家系図伝 百四十八」
1339	朱	朱子書節要	鶴哲172	7	儒学	朝鮮の李滉の著「朱子書節要」寛政11和訓本を写し朱書入 ㊤「朱子書節要」は印刷
1340		朱子語類	鶴哲170	3	儒学	㊤「重録朱子語録」巻7〜13、巻113〜117、118〜121
1341		朱談抄	鶴語135	1	語学	㊤「宇野明霞/先生手写」と冠 天地人倫等部門を分け解をつけた語彙集
1342		朱陸太極論	鶴哲173	1	儒学	「与朱元晦/陸子」「答陸子静/朱子」「答陸子静/朱子」より成る 表紙に「庚寅仲秋尽 古賀坤」
1343	朴	朴堂隨筆	鶴総326	1	雑抄	前半の「群書拔萃 安永四年乙未九月五日」に漢籍、「朴堂消日録 安永四年乙未秋七月四日初起筆」に和書抜抄
1344	松	松乃さかえ	宗口429	10	伝記	目録題「松のさかへ」 初・二集各5巻
1345		松之落葉	宗ル264	4	隨筆	嘉永3写 目録欠か
1346		(真田家)松城通記他	宗ル486	3	記録	巻之四〜七、附録巻一〜三、「滋野世記」1冊より成る
1347		松嶋亭雑抄	宗ル182	1	寺院	外題下に「釈」とあり 寺院関係記事抄
1348		松嶋軒雑抄	宗ル176	1	雑記	外題下に「変事」 火事地震等変異記事抄
1349		松崎家伝		1	家伝	
1350		松崎家伝		1	家伝	松崎・藤江・高嶋 他
1351		松平啓運記	宗口424	1	伝記	家康伝記
1352		(深溝)松平好房行実	鶴史461/1	1	金石	㊤「行実」 ㊤「深溝家行実」 鷲峯先生著 →1406と合写
1353		松平定信君御案文	鶴法108	1	政治	㊤「松平越中守定信君御案文」 天明7跋 天明8
1354		松平宗崇開運録	宗口216	3	伝記	徳川家康伝
1355		松平御先祖巻	宗ル388	1	伝記	享保二年龍集戊戌初夏下五日写書訖 行歳七十歳一睡軒愚禿老翁敬而記
1356		松平記	宗ル490	2	雑史	桜田伊藤旧蔵
1357		松月堂古流出生伝後伝之深秘	鶴花39	1	花道	㊤「草木出生伝後伝之秘書」 ㊤「出生伝後伝之深秘」 法眼一露居士 1359と同本
1358		松月堂古流挿花十二雜葉物集	鶴花42	1	花道	→1357
1359		松月堂古流生花伝巻		1	伝記	㊤「松浦武四郎略伝」 明治21市川三兼撰
1360		松浦弘略伝	B940/M37	1	雑録	㊤「松花堂上人行状」 松花堂昭乗上人行状・古今和歌集の序・無名抄序他 1362と同本
1361		松花堂上人行状		1	雑録	→1361
1362		松花堂昭乗上人行状	宗ソ190	1	記録	
1363		松蔭乃記	宗ル379	4	和文	
1364		松蔭日記	宗口260	6	隨筆	阿川義広著 ㊤「(初編)松蔭閑語」
1365		松蔭閑語	宗ル418	10	雑史	松前家の伝
1366		松陽竊々夜話	宗ル403	6	政治	㊤「松平越中守殿御渡被成候御書付写」
1367		松越申渡書	宗ル274	1	政治	→359
1368		松阪潮田主水開運記		1	歌論	安永6賀茂季鷹輯
1369	枕	枕辞一言抄	本居技839	1	歌論	
1370	柿	柿園雑録	宗口299	5	隨筆	
1371	枝	枝折	鶴総239	2	雑録	第2冊末「皇朝精華集巻二畢」 明治13阪谷案序 和歌・漢詩
1372	東	(滑稽)東京名所案内記	C211/120	1	名所記	原表紙に「明治十一年十一月/東京名所案内記/九春社」各所に戯文の説明を付す
1373	紀	〔紀行〕	鶴歌167	1	紀行	天保3、福井辺の人の名古屋・身延・江戸・中山・信濃を経て帰着の紀行 原題なく後人の「東北紀行」とするは誤り 作者は法華信者の俳人か
1374	東	東北風談	鶴法62	1	雑録	東北北陸諸藩の評 鹿兒島の肝付七之丞 (松島陳人兼武) 著 文久3杉山大成の奥
1375		東園和歌集	鶴歌28/2	1	和歌	→1124合写
1376		東園戦記	宗甲3	8	戦記	戦国時代関東諸氏の戦記
1377		東園戦記		1	随筆	→1376
1378		東園隨筆	鶴総286	2	随筆	大高秀明(東園)著 一冊㊤「天保丙申雜記」、一冊㊤に「天保八年」と冠(但し未は嘉永元に至る)
1379		東園隨筆		1		→1378
1380		東寺執行日記私用集	宗ニ114	3	寺院	東寺の諸行事等を項を立て考証 →1384
1381		東大寺要録	宗ソ276	10	寺院	長承3、建保2奥の転写
1382		東大寺鴨毛屏風記		1		→941

1383	東	東寺執行日記	B230/28	20	記録	元徳2～元亀4
1384		東寺執行日記私用集				→1380
1385		東山好雲龍釜之記	宗ト61	1	雑史	嘉永5江戸城火災に破砕の雲龍釜を修理又模造品を作る 前者は明治元彰義隊の戦に上野で亡、模造を昌晴入手、その由来記 明治16湘泉老人記
1386		東武十景	鶺鴒324/17	1	詩文	跋尾斎吟 前に「雅吟」と題し東武十景の詩、後に「激慨哦」と題し前と同題で風刺を含む詩 慶応元成
1387		東武実談	宗ロ196	5	雑史	慶長～寛永
1388		東武実録	宗ル88	20	通史	元和2～寛永9
1389		東海紀行詩歌抜帙	鶺鴒170	1	詩歌	井上通女の讃岐より江戸へ、その帰路の紀行(元禄13跡部良頭跋)から詩歌抜抄
1390		東海談	鶺鴒288	1	隨筆	篠崎維章著
1391		東海談	鶺鴒287	1	隨筆	前書と同、但し前に井通熙の「哭東海羊山人」二首 同人撰の「東海先生墓銘」を写
1392		東照宮御遷座之記	宗レ61	1	神社	烏丸光広「二条之亭行幸之時御歌」「寛永十一年六月御上洛之記」「同七月御参内行列」「同御参内之記」合写
1393		東照宮記	宗ル167	3	伝記	「東照宮紀」一冊・「台徳廟記」二冊 「御實紀調所」印あり 徳川実紀編纂資料か
1394		東行日記	鶺鴒78	1	紀行	本荘新兵衛著 天保9岡山より新橋投宿まで 上巻のみ存
1395		東行晴雨	宗ホ458	1	紀行	文化9江戸への紀行 興福寺隆範著 ㊟明治二十八年八月五日入手 醉園居士
1396		東西奇談	宗41	1	演劇	反古庵著 書中享和三年正月云々の記述あり
1397		東西標準太平論	宗ロ440	2		→81
1398		東谷原三郎谷之碑文		1	地誌	天保4大橋眠龍撰
1399		東遊雑記	宗479	12	紀行	彩色挿圖入り 古河古松軒著 26巻本
1400		東遊雑記	宗ホ61	5	紀行	20巻本 26巻本の巻7～巻22
1401		東遊基業	鶺鴒158	50	伝記	家康の一代記 佐久間健著 自跋享保十八年八月付
1402		東都故事考	B249/33	2	雑史	宝永5～享保3の江戸の年代記
1403		東都落穂集	宗ロ208	11	雑史	㊟「落穂集」 大道寺友山著
1404		東鑑鈔	鶺鴒2	1	雑史	東鑑以外に「近間寓筆」「開田耕筆」等の抄録を付す 外題下に「屋代家塾抄録本」
1405		東雅	宗ル121	10	語学	新井白石著
1406	林	林鳳谷先生碑銘并序	鶺鴒461/2	1	金石	㊟「故国子祭酒正貞林先生碑銘并序」 安永3紀正順撰 →1352合綴
1407	柴	柴栗山遺篋	宗ル345	1	書簡	栗山の書翰・栗山宛の書翰などを収める
1408		柴野彦輔上帙	宗ル331	2	文書	㊟「奏上書誠恐々々頓首沐手再拜一(～四)」いわゆる栗山上書
1409	柏	柏の伝	宗ル72	1	歌学	㊟「柏伝」 竹内二位口授 歌語「かしは」の口伝
1410	柳	柳保山行実	宗ル236	2	伝記	㊟「郡山藩士の蔵本を大槻君の写せしもの」の写し 癸巳林鐘
1411		柳営外戚婦女伝抄	B982/8	1	系譜	㊟「柳営婦女伝」 ㊟「柳営外戚婦女伝巻之三上」
1412		柳営夜話	K520/47	1	教訓	徳川吉宗の垂訓の書留 その中の道歌を注釈した「はつかし草」を付す 文久元細野要齋写
1413		柳営婦女御伝	B940/9	1	伝記	
1414		柳営婦女伝系	宗ル501	5	系譜	17巻 追加1巻
1415		柳営年表秘録	鶺鴒540	3	年表	慶長5～寛政12の幕府の年譜 ㊟「嘉永五壬子年十一月加藤則懿写之」
1416		柳営故諺記	宗ロ470	2	雑史	初期幕臣の言行録
1417		柳営秘鑑	宗ル234	5	法制	9巻本
1418		柳営秘鑑	宗ル131	6		→1000
1419		柳営録補	B982/5	1	家伝	吉宗～家慶までの將軍及び連枝の経歴書
1420		柳荘識人賦并五条相法	鶺鴒587	1	雑録	「司馬温公家訓」「表柳荘識人賦」その他の書抜 享和2石孝安写
1421		柳莽雑筆	宗ヲ138	1	隨筆	
1422		柳谷抜帙	宗ハ77	2	説話	続古事談・宇治拾遺・十訓抄その他説話集からの抜帙
1423	桑	桑華蒙求 人	鶺鴒336	1	漢詩文	㊟「新撰自註桑華蒙求」 正徳技嚮 桃原楚沝魯南甫識 端本か
1424	桃	桃源遺事	宗ル438	2	伝記	水戸光圀の伝記 1425と小異あり
1425		桃源遺事	宗ロ194	3	伝記	安積滄泊著「西山遺事」
1426	根	根来寺焼討太田賈細記	B230/42	1	戦記	安政5百花園蔵の識語
1427		根来寺焼討太田賈細記	宗	1	戦記	1426に比べて簡略
1428		根来寺焼討太田賈細記	宗ハ179	1	戦記	1426と同書

1429	根	根来寺由緒記		1	寺院	㊦「根来由緒」「覚鑿聖人由来之事」承応3成 →32、188、456、697、698、1051と合
1430	栗	栗花集	L262/16	1	狂歌	南畝著 帝国図書館本明治42写
1431	條	条々建武二	宗ル323	1	記録	建武年中の文書雑纂
1432		条々問書	宗116	1	故実	㊦「条々問書 貞丈抄第二」
1433	梧	梧陰隨筆	宗ロ248	7	雑抄	天保12梧陰主人自序 諸書からの抜書 巻2欠
1434	梅	梅下雜録	鶴総299	3	雑録	諸書からの抜書に合せ随想等を交える 巻2~4存
1435		梅小路家伝		1	家伝	
1436		梅岳遺事	宗ル514	6	伝記	㊦「梅岳公遺事」ただし巻6は「巖屋完節志」天保15笠間葆光編 岡弘道校 立花鑑連の伝記
1437		梅村載筆	宗ル205	2	隨筆	愷齋藤欽夫(愷窩)著 柔兆執徐孟春写
1438		梅村載筆	鶴総393	1	隨筆	1437と同書 ただし東武逸士風柳齋の「統子家書」を付載
1439		梅田村おもと	宗ロ104	1	仏教	㊦「梅田村おもと得脱記」 天明8成
1440		梅花道人遺墨		2	墨跡	
1441	桶	桶峽間合戦記	宗ハ123	1	戦記	㊦「尾州桶峽間合戦記」 山澄先淡路守著本の異本
1442		桶峽間戦場絵図添道程方角記	宗ホ412/9	1	戦記	㊦「永祿三年夏五月尾州智多郡桶峽間合戦古跡之絵図相添覚書」
1443		桶峽間合戦記・耶蘇宗門来朝根元記	宗ホ412	1	雑集	二本合写
1444	極	極秘伝名所図式	宗ト77	1	盆石	盆石名所に関する秘伝 寛政12石岡正朝より門人狩野八尋子(麴廻園)に皆伝されたもの 狩野八尋旧蔵
1445		(一子相伝)極秘録	鶴史698	1	記録	寛政12~享和2幕府の慶弔儀典等の人事日次記録
1446		極論時事封事・泰西録話	鶴法15/1	1	政治	「泰西録話」(1598)を合
1447	棚	棚かざりの図	宗ト184	1	茶道	棚かざりの図
1448	森	森騷動記	宗ロ334	1	実録	㊦「安永森鏡邪正録」
1449	桶	桶五代軍記	鶴史239	5	戦記	巻2~24存
1450		桶公記	鶴総324/20	1	陵墓	元祿4に造立の桶正成墓碑文
1451		(桶公遺書・鴨長明方丈記)	宗ヲ185	1	雑集	「桶公遺書」「鴨長明方丈記」「沢庵和尚神妙録」「白隠施行歌」「中山殿与親鸞上人問答之書」以上5種合写
1452	業	業資王記		1	(現物なし)	
1453	椿	(西洋情話)椿色色	鶴文13	1	小説	鶴廻舎千年筆録 椿姫の翻訳
1454		椿葉記	宗イ264	1	家伝	㊦「南朝実記 椿葉記」 寛政11写
1455	椈	椈箇堂旧考記	C239/9	1	雑史	三河国梅ヶ坪村由来
1456	楓	(楓題三詠)	鶴総324/7/2	1	漢詩文	㊦「盤溪文鈔 楓題三詠」 慶応元写「盤溪文鈔」(慶応2写)を合 →1835
1457	榊	榊原御武功記	宗ル471	1	日記	榊原康政の日記
1458	槐	槐記	宗ト5	7	隨筆	甲辰(享保9)・乙巳・丙午・丁未・戊申・辛亥・壬子の7冊あり
1459	樂	樂器図	宗ヲ209	1	音楽	樂器の図
1460		樂焼茶碗名物集	宗ト66	1	茶道	樂焼茶碗の名品とその解説 図入り
1461	橘	(橘氏薄家伝)		1	家伝	薄・和氣・賀茂家
1462	橙	橙露集	鶴歌8/1	2	和歌	明治初期和歌 在垣内筋彦
1463	橘	(橘本左内建白書)	鶴法1	1	政治	冒頭「此書面ハ安政四巳年二月三条内府へノ建白ノ草按ナラン」とあり
1464	橘	橘庵漫筆二編	鶴総378	1	隨筆	文化2左京錦里忍容齋序
1465	横	横山隆興翁		1	(現物なし)	
1466		横浜瓦斯会社	J240新22	1	法政	㊦「市中瓦斯管ヲ布列シ或ハ之ヲ公橋ニ引渡シ或ハ之レカ為メ新ニ橋梁ヲ建營スルニ其免許ヲ乞フノ条件」 明治5
1467	檢	檢田紀行	鶴地21	1	經濟	㊦「家尊 檢田紀行草稿」 安政3
1468	櫻	桜町院御葬儀供奉次第	B910/43	1	儀式	(表紙)寛延三庚午年五月十八日酉刻天氣宜 御宝算三十一 四月廿三日崩御
1469	歌	歌中山東物語	宗ロ331	1	隨筆	諸持と谷鷲老人の歌贈答 →1476と合帙
1470		歌問答(諸持谷鷲老人)		1	歌論	正徳元秋田甘節序 第1冊表紙「本多忠常碑」
1471		歌崎碑解	宗ロ458	5	雑史	
1472		歌書抜書	鶴歌171/2	1	歌論	㊦「拾葉集抜書并歌書抜書」 →1128と合写
1473		歌林記識論	鶴総238	1	語義	㊦㊦「しをりの説」 葉についての諸説
1474		歌舞伎劇の保存に就いて		1	演劇	坪内逍遙自筆草稿 1475と同
1475		歌舞伎劇の保存に就いて		1	→1474	
1476		歌道筒守		1	歌論	㊦「歌道筒守初重之巻」 享保20五木正英
1477		(歌集)		2	歌集	→1470と合帙 万葉仮名表記 一面一首

1478	歌	歌辨百人選	鶴歌 5	2	俳諧・和歌 大岡越前守忠相詠他 注釈
1479	敵	敵討名浅広記	宗口 93	5	実録
1480		敵討喝ル辻	宗口 354	2	実録 天保十五辰年中夏之日 津平信
1481	敵	歐西紀行	鶴地 18	13	外国地誌 高島烈著
1482	止	止戈編	鶴史 652	1	兵法 延宝 9 貝原篤信跋
1483	正	正名緒言	鶴語 91	2	考証 天明 9 尾藤肇 文化 6 の序
1484		正夢後悔記	宗口 15	1	隨筆
1485		正法山誌	宗ソ 255	5	寺院 龍華道忠撰
1486		正法開山如雪和尚紀年録	宗ソ 125	1	伝記 寛文 12 登頼跋
1487		正風遠州流挿華伝書住の江巻	鶴花 28	1	花道
1488		正風遠州流挿華伝書切紙巻	鶴花 27	1	花道 末に「正風遠州流挿華おもと口伝書」を付す 天保 9 写
1489	歩	歩遠綱目	H240/11	1	故実 小笠原流伝書 歩遠先師の伝という
1490		歩遠綱目叢書	H240/12	1	故実 作法の具体的な説明
1491	武	武備目録	宗口 16	2	武家故実 鶴飼平矩著 武士作法心得 元文乙未年成
1492		武備目録			→1491
1493		武功吟味集	宗口 126	1	兵法 ㊟「寺沢志摩守武功吟味」 天草の乱時の寺沢家臣勲功録
1494		武家掣要	H221/46	1	故実 武家必携ともいうべきもの
1495		武家温古叢目録		1	兵法 分類して書名を記す 慶応元の小中村清矩の奥「古学館」の野紙使用
1496		武家略伝	宗 J 167	19	伝記 西田定道編 道臣命より江戸時代に至る武人伝 文化 6～13編
1497		武家秘談	宗口 193	3	伝記 戦国期、江戸初の武家逸話集 明暦元覚岸居士著
1498		武家統盛衰記	宗口 49	12	雑史 近世初諸家について
1499		武家耳底記	宗口 138	2	雑史 浅加左藤次友郷の聞いた武士の逸話を録したと序にいう 享保 16 朝東軒序
1500		武家装束替用図	宗	1	武家故実 袋表に左の題があるが中の本は別本 首欠 武士武装時の諸具考証
1501		武家諸法度	鶴総 114	1	法制 注解を付す 宝永 7 成 万延元昌栄館蟬羽写
1502		武家諸流略伝	宗ル 500	20	系譜 徳川以下諸家の系図
1503		武家閑談	宗口 227	7	雑史 木村高教著 享保 6 序
1504		武徳太平茶話	宗ル 66	1	雑史 江戸初期の武家逸話集
1505		武教全書	鶴	1	兵法
1506		武教私語	鶴史 668	1	兵法 武道由来より武士心得まで 木鳳脚著 文化 15 跋
1507		武林叢話拾遺	鶴総 115	1	雑史 ㊟「武林叢話前編」「せめて話草抜萃」とあり 伝記 万延元柳閑亭孝道
1508		武林隠見録	B 249/9	5	雑史
1509		武用品録	鶴史 677	1	兵法 弓矢・甲冑・鉄砲・馬等武具図入解説
1510		武田家起請文	宗ル 471	1	文書 武田信玄及び麾下諸臣の奉納したもの
1511		武田家類族人名・多田家類族人名	宗ル 265	1	→628
1512		武田流五箇条切紙記聞・武田流十二箇条記聞	鶴史 657	1	兵法 武田流軍学秘伝書
1513		武田流伝書類極秘口訣	宗ヲ 157	1	兵法 武田流軍学秘伝書 山本矩政が寺田忠に与えたもの 印判あり
1514		武総法華靈場縁起	宗ソ 331	2	寺誌
1515		武表文書集	宗ヲ 2174	1	書札 武家方から公家・寺社へ出す文書の例文集
1516		武話叢書	宗口 93	10	雑史 「武隠叢話」巻 3 以下
1517		武辺咄聞書	宗口 403	8	戦記
1518		武辺咄聞書	宗ル 385	4	戦記 1517とは別本
1519		武野燭談	宗口 91	6	雑史 不完備本
1520		武門無窮録	鶴史 672	4	武道 山崎正徳編 武具・武道に関する諸書抜書
1521		武門要鑑抄	鶴史 670	1	兵法 全 20 巻からの抜書
1522		武門要鑑抄穿鑿安全伝註解	鶴史 671	1	兵法 ㊟「穿鑿安全両伝」「武門要鑑抄」の巻 21 穿鑿伝・巻 22 安全伝
1523		武門諸説拾遺	宗口 41	16	雑記 30 巻 16 冊
1524		武陽禁談	宗口 329	2	雑録 10 巻 2 冊
1525		武隠叢話	宗口 50	5	雑史 9 巻 5 冊 各冊の区切り、話の始まりとは一致せず
1526	歳	歳事考証	宗ツ 18	3	年中行事 小野高潔著(自筆) 小野高尚序 卷末に「七十二歳高潔」 1527の増訂
1527		歳事記三潮草	宗ツ 46	10	年中行事 1526と同書 ただし奥書に六十歳とあり 巻 7・8 欠
1528	歴	歴代名将月旦	鶴史 721	1	人物 慶応 4 深澤禎写
1529		歴代名書記巻三	鶴画 538	1	絵画
1530		歴代後顧明曆懲懲録	宗口 213	2	変災 ㊟「後見草一名明曆懲懲録」 亀岡入道宗山著 「後見草付録」(志賀紀豊著)と合

1531	歴	歴代炎上鑑	B 249/35	2	変災	明暦から文化までの火災の記録
1532		歴代琴式	鶴楽20	2	音楽	蟹間林有隣仁甫輯
1533	歸	帰愚子雜記	鶴總232	1	雜記	和歌・俳句・語釈・漢文他 「水鏡」(紫野一休大和尚著)合綴 明治25
1534	殘	殘燈隨筆	宗ト50	2	茶道	題簽二「藤村廐軒茶法」 文政九年(卷末)
1535		殘花集	鶴歌87	10	俳諧	㊤「追善殘花集」 白寿坊
1536	殺	殺報転輪記	宗口21	1	實錄	
1537		殺法転輪	宗口395	2	實錄	
1538	殿	殿舎考証	宗ネ2	2	寺院	㊤「豊受皇太神宮殿舎考証」 延経撰
1539		殿記	宗ツ55	6	記録	「一」ナシ 二「攝家神斎類聚抄」 五「行幸部類」
1540	母	母	D P 3		小説	芥川龍之介自筆原稿
1541	毎	毎事問失考	宗レ25	1	神道	寛保2 南峯山人序 ㊤「毎事問上失考」
1542	毛	毛利三将伝	宗ル364	1	雜史	
1543		毛利家指物図	宗ル481	1	武具	
1544		毛利家記	宗ル400/2	6	伝記	
1545		毛受善上巻	鶴法110	1	政治	〔建白巻〕 官封公閣下 官姓某頓首再拜(卷末) 毛受善再拜
1546		毛詩考	鶴哲299	5	漢学	巻末朱「文政辛卯秋八月南越荒木文」 朱書入多し
1547		毛詩考	鶴哲298	4	漢学	巻末「天保癸巳十二月廿六日卒業 翌年夏門人万写了」
1548	毫	毫埃	宗ツ139	10	雜録	夷浜釣叟編
1549	水	水府公御書	宗ル272	1	雜記	水戸斉昭書簡附書の宮夢物語 →61、201、541、547、1643、1778、2754と一括全11冊のうち1冊
1550		水府景山君建白	宗ル252	1	政治	天保九年戊八月朔日 源斉昭謹上
1551		水戸先哲遺墨集	鶴總398	1	雜録	「烈公朱書 花押アリ 自筆」の紙片有 漢詩・墨跡他
1552		水戸史館珍書考叙	宗ヲ167	1	図書	元禄昭陽 鶴飼信興序
1553		水戸史館珍書考	宗ヲ192	1	図書	元禄昭陽 鶴飼信興序
1554		水戸弘道館掟書写	鶴哲349	1	教育	
1555		水庵記	宗口357	2	戦記	㊤「渡辺勤兵衛覚書 水庵記」
1556		水湖見聞集 斉昭公御家督之記	宗口287	5	記録	斉昭時代の水戸藩の記録
1557		水無瀬家伝		5	家伝	水無瀬・山井・桜井・町尻・七条家
1558		水藩見聞録	宗ル204	1	雜録	天保13師椿園翁の命で水戸藩兵馬訓練を見学した小島洪祚の記 天保14年3月小島の奥書あり
1559		水里玄義預章記附河野系三通	宗ル80	1	系譜	「水里玄義」「豫章記」「一遍上人俗姓系図」「河野系図」「河野家系」の合写 文政4 浅草芝崎僧坊都講忠充写
1560		水野家記	宗369	1	家伝	巻4・5・10~12・17・19は略し、計13巻を抜萃して文化11兩宮長貞写
1561		〔水鏡集増刪百問〕	鶴哲575	2	相法	㊤「人相水鏡集」 ㊤「右増刪永楽百問 相正問答」 鹿園艸堂板の写し
1562		水かゝみ	鶴歌76/4	1	俳諧	㊤「俳諧定法格」 寛政7 阿雪隠士序 →1793、1794、2684
1563	永	永亨八幡放生会日記	宗ル321	1	記録	㊤「権大外記中原康富放生会記」 寛政12 伊勢万助貞春写
1564		〔永平元禪師語録〕	K 620/205	1	仏教	㊤㊤なし 帙に「道元禪師語録」 興聖寺上堂・永平上堂・小参・法語・普勧坐禅儀・坐禅箴・自贊・偈頌を収む
1565		永日記	宗ル376	2	記録	大阪陣関係の記事
1566		永貞古兵談	宗口142	2	兵法	㊤「永貞古兵談殘葉拾玉集」 加賀の兵法家永貞の著 享保21有沢武貞写本の文政2 脇田尚方写本の首地正弘転写本 英国ヨハン・ケイル著 医学物理学 漢籍抜粹
1567	求	求法論	鶴理8	1	科学	文政3 池坊四十世専定自序 立花の図
1568		求志堂隨筆	鶴	1	雜録	天保10梅薫斎一遊写 標題の他に「生花式」(天保11)・「草木集」(天保10)・「回立集」(天保10)・「生花七種の伝」(天保8)・「草木具掲秘伝」を収む いずれも池坊専明著
1569	池	池之坊流挿花百規之図式	宗ト229	1	花道	池坊門人の立花図 梅薫斎写か
1570		池之坊生花定式部	宗ト219	1	花道	㊤「立花伝書 附座敷莊殿之図」 松薫斎一遊写
1571		池之坊流生華百花式	宗ト221	1	花道	
1572		池之坊流立花伝書附座敷莊殿図式	宗ト228	1	花道	
1573		池尻家伝		1	家伝	
1574	江	江城季録	宗ル101	6	記録	第6冊のみ「江城年録」とする 江戸城内の諸事記録 第1冊元和元~4・第2冊同6~9・第3冊寛永3~5・第4冊同6~7・第5冊同8~10・第6冊同11~13

1575	江	江嶋五巻縁起写	宗239	1	寺社	江之島縁起
1576		江州姉川戦記・遠州味方原戦記	宗ハ211	1	戦記	2冊合写 共に宝永2根岸直利著 木村高敦校正
1577		江州近来侍聞伝録	宗275	1	雑録	近江源氏の家の者・近江国寺社・事件など
1578		江府御旦家帳	K610/121	8	名録	表紙に「天保十四癸卯年五月改 江府御旦家帳 榎倉修理進銘」江戸の武家町人檀家名簿(いろは順)
1579		江戸三拾三間堂由緒書	宗249	1	寺院	享保10堂守久右衛門の差出したもの 明治5写
1580		江都岐岨行路記	蜀地13	1	紀行	甲寅(安政元か)四月二三日~五月七日木曾紀行 裏表紙に「中村清左衛門」とあり著者か
1581		江戸町奉行統譜	B972/10	1	系譜	その沿革名簿「市政纂要」(帝国図書館蔵)よりの写
1582	雑	(雑抄)	宗ル236	1	雑録	題簽剥離表紙に「廿二」とあり逸題叢書の一冊か「江戸著聞集」「競奇」「山海名産図絵」「杏花園秀言」よりの抄
1583	江	江戸諸方会附	宗ト12	1	茶道	宝暦3~明和8江戸における千家茶会記録
1584		江湖集書抄	L312/37	2	曹洞	「江湖風月集」講義
1585		江湖集聞書(巻上)	L312/34	1	曹洞	尾題「新編江湖風月集聞書」
1586		江談抄	宗ツ135	1	説話	元文3橋方基写
1587		江陽屋形年譜	宗ロ286	1	年譜	㊦「江陽六角屋形年譜」元亀~延宝間 延宝9六角義範写本の転写
1588	法	法の絵草紙	宗52	2	教訓	仏教的通俗教訓 挿絵彩色
1589	治	治乱記(林春斎太平記考証)	宗ハ164	6	戦記	「太平記」の考証批評
1590		治国談	蜀法56	1	政治	寛政戊午年李庭亨主人著
1591	河	河内国風土記	宗ホ319	1	地誌	㊦「日本惣國風土記第三河内國」弘治2 寛文10奥書本の転写
1592		河南公孟法師碑	M220/34	1	金石	小本 未に「明治十七八年頃/乙葉観山双鉤脊硯」
1593		河南尹先生文集27巻附録1巻		4	(現物なし)	
1594	泰	泰平年表 統統々共		19	年表	「泰平年表」7冊・「統泰平年表」7冊・「統々泰平年表」5冊
1595		(武家必撃)泰平年表	宗ル228	4	年表	未に「忍屋隠士略伝」あり
1596		泰平年表	ル267	8	年表	同一冊 略伝なし
1597		泰平年表	宗ル268	12	年表	3篇8冊、4篇4冊 1594の「統々泰平年表」に相当
1598		泰西録話	蜀法15/2	1	政治	→1446
1599		泰階月令	宗ヲ29	3	随筆	中山直温著 享和2序
1600	洗	(洗革)	宗ル85	1	考証	表紙に「安斎随筆四」とあり 題名は巻初の一項による
1601	洞	洞房語園	宗ル237	1	遊里	
1602	洛	洛北紫野龍宝山大徳寺之記	宗ソ245	1	寺院	㊦「洛北紫野龍宝山大徳寺」
1603		洛東誓願寺如来縁起	完ソ15	1	縁起	明和八年卯正月廿五日 善宗精舎唯乘写之
1604	津	津輕紀譚	完ル397	6	雑史	弘化4藤原建本序 小山内建本編述 石橋遜翁校正 明治17鈴木真年写
1605	活	活花秘文之大成	蜀花10	2	花道	安政3里秀齋松甫著之序
1606		活面断例并図式ノ部	蜀哲532	2	相法	「活面断例」「活面断例図式ノ部」山口朝晋齋極秘巻
1607	浮	浮世絵類考(附録・追考共)	M210/9	1	書画	享和2山東庵跋 文政元年戊寅六月晦日七十翁蜀山人
1608	海	海上行囊抄	宗	3	交通	巻3~5
1609		海嶋風土記	宗ホ326	6	地誌	㊦「伊豆海島風土記」
1610		海徽消息	蜀史27	1	雑録	「合原惣蔵ヨリ聞書」「北重墨利加御返翰之大意」「横槩余韻」など収録
1611		海舟日録	蜀総133	8	記録	㊦「文久慶応年間海舟日録」
1612		海録	蜀地23	1	外国地誌	黙阿漚文泰)・「爪亜風土拾遺」と合写
1613		海防備論	蜀法10	1	海防	嘉永六年癸丑秋七月起草 藤森恭助神大雅誌
1614		海防問答図式	蜀史674	1	海防	文化13兵原真逸序 文久三癸亥歳夏六月十四日畢牧野康濟著
1615		海防新編	蜀法8	4	海防	裏表紙見返に「安中城主板倉氏蔵書借写」
1616		海防策	蜀法9	1	海防	
1617	浪	浪合記	宗ハ187	1	雑史	元文二年冬十二月廿三日也源久豊頭首拜田元直重拜謹書「徳川世紀」と合写
1618		浪合記	宗イ250	1	雑史	明和七歳次庚寅仲夏既望写之武川源門健于時明和八辛卯年十一月七日多賀氏常政
1619		浪合記	蜀史168	1	雑史	宝永6写 渡辺明蔵本
1620		浪合記	宗イ223	1	雑史	天文二年癸巳三月五日云々
1621		浪花加賀見	C242/31	1	随筆	
1622		浪花軍記	宗ハ120	7	戦記	㊦「浪花軍記大全」ともする

1623	浪	浪花軍記(異本)	宗ハ114	15	戦記	㊟「浪早軍記 異本三十本 合十五本 大阪銀主十人衆天満屋弥左衛門伝来」
1624		浪華一覽	C242/8	2	法制	卷末朱 大阪図書館所蔵大正元年十二月謄写了
1625		浪華落雷記・江都大火之記	宗ヲ119	1	変災	大阪落雷の江戸への通報書 「江都大火之記」は古来の大火記録 末に天明8の京の大火記録を付す
1626		浪速戦記	宗ハ119	10	戦記	㊟「浪速戦記大全」
1627		浪速蓋鷗記	C242/63	1	地誌	
1628	淺	淺井日記	B240/24	2	戦記	内閣文庫本の明治43写
1629		淺田氏兄弟復讐記	宗ロ423	1	実録	文政3の仇討の記録
1630	混	混見摘写	宗ロ293	21	隨筆	20卷附録1卷 吉田守尚著 抄録見聞記録
1631	淡	淡海八景吟	鶯歌127	1	漢詩	九景吟 十句を録す。天保2自筆
1632		淡海志	宗ホ499	2	地誌	淡海散人原田蔵六著 元禄元自序 近江国地誌
1633		淡海温故録	宗ホ533	8	地誌	淡海國山隠士白頭翁著 4卷8冊
1634		淡海温故録	C243/1	4	地誌	前書と繁簡の差があり、この方が整っている 4卷4冊 帝国図書館本の明治42写
1635		淡海落穂集	C243/17	3	地誌	㊟「淡海落穂艸」 帝国図書館本の明治44写
1636	淨	淨厳大和尚行状記	宗ソ305	2	伝記	蓮体著 享保3以降の成
1637		淨厳院宗論之巻物写	宗ソ516	1	仏書	天正7の安土宗論の記録 天正9成
1638		淨蓮筆記	宗	2	神道	勢州丹生の長井淨蓮の録した丹生山神宮寺蔵の「丹生明神由来」(万治4 兼意飯)の写
1639	清	清儒解経諸説鈔	鶯哲211	1	儒教	森約之抜抄 嘉永5〜万延元 自跋 自筆か
1640		清少納言枕双帯抜書	L240/13	1	隨筆	外題下に「春曙抄見安目録」とあり
1641		清厳茶話 徹巻記	宗ソ410	1	歌道	元禄9の勝榮の書写奥を写す
1642		清閑寺家伝		1	家伝	
1643		清朝説		1	外国	幕末清国についての風聞 61、201、541、547、1549、1778、2754と一括全11冊のうちの1冊
1644		清洲志	宗ホ427	5	地誌	武田戦周著 文政12奏鼎序
1645		清突戦記	宗ニ104	2	戦記	阿片戦争の記 長山賢著 嘉永2自序
1646		清語命(五巻)		5	(現物なし)	
1647	渡	渡荒志	宗161	2	実録	延享元武昌陳人序 渡辺数馬・荒木又右衛門の仇討
1648		渡辺勘兵衛記	宗ロ392	1	戦記	寛文10年本の写し
1649		渡辺幸庵対話	宗ル297	1	雑記	㊟「渡辺幸庵対話記」 安政3高梨謙利写
1650		渡辺幸庵対話記	宗ル248	1	雑記	1649と同書 邑巷軒蒙鳩子写
1651	滋	滋草拾露	宗466	6	雑抄	彗星・参議等項目を分けて諸書の抜書を記す類書 巻2〜5・23・24のみ存
1652	湯	湯治の記	宗ホ506	1	紀行	天保6秋江戸を発し薩摩湯の浦に至る
1653	温	温古兜袋・弓馬三冊・兵要録・条々問答	宗	4	雑録	伊勢貞丈「条々問答貞丈抄」・壘田永年「温古兜袋」・武田信豊「弓馬三冊」・長沼宗敬「兵要録」各1冊(いずれも内題)を合帙
1654		温古雑話	宗ロ251	3	隨筆	
1655		温故書楼叢書	宗ハ135	1	雑録	「上陽箕輪軍記」「館林記」「上野国赤坂庄和田記」「長尾昌賢影像記」「新田金山伝記」を収録 明治2要道写
1656		温故隨筆	鶯総145	1	隨筆	明和7小野高潔著
1657	渚	渚乃丹敷	宗ヲ110	2	動物	外題「貝譜」と小書 享和3曾永年著
1658		渚乃丹敷(貝譜)		2	→1657	
1659	源	源元英日記	宗ル478	1	日記	渡辺崋山自刃の検使与力の御用日記
1660		源大納言親房卿家臣録(多気地図并系譜附録)	B975/5	1	伝記	大正3嵐鋭郎写
1661		源姓佐佐木嫡流大原氏系図	B982/1	1	系図	史料編纂掛本の太正元写
1662		源平盛衰記開題		1	軍記	大町桂月自筆原稿
1663		源氏和秘抄	L231/4	1	物語	注釈
1664		源氏外伝	宗ハ12	1	物語	梗概書 熊沢蕃山著
1665		[源氏物語(桐壺・帯木・空蟬・夕顔・若紫)]	L231/2	5	物語	㊟㊟なし 湖月抄か 標題の5巻のみ存
1666		源氏物語中内大調度織文図彙	宗ヘ71	1	→648	
1667		源氏物語提要	L231/1	6	物語	注釈 永享4今川範政著 寛政4源能敏写
1668		源氏物語系図	宗	1折	系図	
1669		源流夜話	宗ト162	1	茶話	茶話を集める
1670		源語秘笈	宗162	1	物語	注釈 延宝9長孝判とあり
1671		源頼政伝	宗ロ409	10	伝記	(巻末)正徳元辛卯龍集八月五日撰陽住 秀松藤吉郎経定
1672	滑	滑稽雑談	宗ツ61	23	俳諧	正徳3四時堂其諺序 寛延2宗順跋
1673	演	演噺秘論	宗ヲ10	1	曆占	「本命納音性質之弁」他
1674	漫	漫筆録	鶯総331	1	隨筆	文政10池南亭文松序
1675		漫遊雜誌一	鶯地115	1	紀行	慶応元季春序

1676	漂	漂民御覧之記	宗ル191	1	漂流記 ㊟「(於吹上御庭) 漂民御覧之記」 文政2 跋
1677		〔漂流記〕	鶺鴒地103	1	漂流記 漂流人帛帆送別詩 他
1678	漢	漢文雜聚	鶺鴒	1	雜録 「日本旧幕府元老井伊直弼公建碑贊文」「山県氏贈西郷氏文」他
1679		〔漢秘利目〕		1	刀剣 備前一家 十四之見付他 天明4 山内俊超相政
1680	漁	漁村道人禪記	鶺鴒45	1	儒学 尾題「孝経弁説」(巻一) 漁村居士海保尚賢順脚著
1681	潮	潮田廉直録	宗ロ306	2	雑史 煙霞滴者著
1682	燥	燥泉録	宗ヲ190	1	紀行 表紙に「庚辰夏日」(明治13か)
1683	澤	沢地抄	鶺鴒272	1	雑記 ㊟「沢庵和尚鎌倉之記」 元治丑卯月初九写 長松庵
1684		沢庵禪師鎌倉之記	宗ホ308	1	遊覧 谷春散人述
1685		沢田源内偽撰書由来	宗270	1	考証 ㊟「先師滄斎長沼行状集成」 中山清寛撰
1686	滄	滄斎長沼君行状集成	鶺鴒403	1	伝記 ㊟「濃陽諸士伝」(上冊)・「濃州諸士伝」(下冊) 間宮宗好写
1687	濃	濃州諸士伝	宗ル193	2	系譜 ㊟「濃陽諸士伝」(上冊)・「濃州諸士伝」(下冊) 間宮宗好写
1688	濱	浜嶋始末記	宗ロ425	1	雑史 巻末に「于時天明三癸卯五月下旬」
1689	瀨	瀨瀨禪志		1	(現物なし)
1690		瀨瀨禪志		1	(現物なし)
1691	瀬	瀬田問答	宗ル383	1	隨筆 太田璽問 瀬名貞雄答 ㊟「寛政七年乙卯秋九月十五日水野太夫蔵番写之」
1692	灌	灌頂護摩		1	寺院 玄深写 →35、257、2008、2357、2391、2567と合
1693	炎	炎の囀 (皇都大仏)	宗リ226	1	実録10 東子伝 寛政10山鳥祐著
1694	烟	烟霞堂蔵書総目	鶺鴒8	1	書目 自家の蔵書目録
1695	無	無冤録 (新註)	鶺鴒76	2	儒学 正統三年序 中国の「新註無冤録」に朝鮮で音注を加えた書 法医学 朱で訓点を付す
1696	煙	煙花小誌	鶺鴒6	1	雑録 煙草に関する語の解 龍淵先生口授を門人の筆録したもの 庚午(文化7か)の跋
1697	熊	熊本俚談	宗ロ301	5	藩史 亀井道斎著 細川重賢の治蹟を述べる 文化3の跋等あり
1698		熊沢了介先生事跡考	鶺鴒433	1	伝記 臥遊隠士清水信著 文化8 自跋
1699	燕	燕石十種第三輯	宗ル266	7	叢書 安政5 活東子序 活字本と内容異同あり
1700	爲	爲信公御開國之記	宗ル361	2	伝記 弘前藩主津軽為信の伝
1701		爲盛発心因縁	宗ル258	1	仏教 法然の説法による津ノ戸ノ三郎が悪心をひるがえし発心する話 「安居院慶念」と持主名あり 安居院流の説草
1702	燈	灯下戲墨玉之枝	宗ロ415	2	読本 森羅子 享和2 刊本の文化3 谷口信久写
1703	爐	炉手引草	宗ト67	1	茶道 明治25川上不自末門柳々斎宗静編
1704	父	父兄訓	鶺鴒514	1	教訓 林子平著 慶応2 秋葉正翠写
1705	爾	爾雅詁古	鶺鴒310	1	漢学 訓点朱書入 1922と同帙
1706	増	増補片璽記	鶺鴒134	2	藩史 元文2 九十翁序の「片璽記」の増補
1707	片	片璽記 (草稿)	鶺鴒93	1	藩史 1706の草稿
1708	牛	牛涎	鶺鴒語8	1	教訓 漢文訓法・語句解
1709	牧	牧民金鑑	H221/5	25	法制 嘉永6 荒井頭道著 内閣文庫本の明治43写
1710	牧	牧民金鑑 (通用金銀部附総目録)	D610/12	1	法制 前巻の目録及び通用金銀部 内閣文庫本・帝國図書館本 明治42・43写
1711		牧笛類叢	宗ロ148	3	伝記 明和4 抱嶺館自序 嘉永2 遠山窓主人写
1712		牧笛類叢		3	→1711
1713		牧野康済詩稿	鶺鴒325/2	1	(現物なし)
1714	特	特典者五個由緒	宗ヲ	1	雑録 松ヶ岡御所・町年寄・新吉原町・三芝居・穢多弾左衛門の由緒
1715	狂	狂歌生駒山 (下)	L262/61	1	狂歌 貼紙で別歌に改めた箇所散見 あるいは稿本か 長谷寺奉願四季発句集八千坊、三千坊集句ピラ貼付
1716		狂詩諺解	鶺鴒324/22	1	狂詩 天明7 四方山人自序 慶応2 写
1717	猪	猪隈閑白記	宗ツ64	3	日記 第1冊正治3年正月~3月・7月~9月、第2冊建仁2年正月~3月、第3冊承元2年正月~3月
1718	獅	獅子之話	宗ヲ151	1	動物 明治以降
1719	獨	(水僊一色) 独生之図写	鶺鴒花45	1	生花 水仙の生け方の図 寛政10小松長兵衛写 識語に「独生水仙一式花形図」とあり
1720	明	明独立易禪師碑銘并序	鶺鴒707	1	碑文 明治30西尾良伯写
1721	獨	独語	鶺鴒390	1	隨筆 乾坤2 冊合綴
1722	獻	献備千歳花	鶺鴒花69	1	花道 未生流華道書 門人の立花図 転写本
1723		献立帳	宗ナ21	1	料理 文化12~文政11仕出屋とおぼしき者の献立記録
1724	煎	煎茶	宗ト241	1	茶道 煎茶作法 「天保十一年庚子七月写之 北園斎長遊より聞書」とあり

1725	玄	玄洲文章 嘉永元年三月以降	鶴文 6	1	隨筆	㊤「竹中玄州文稿」 未完 和歌・隨筆
1726	玉	玉川紀行	宗ホ429	1	紀行	渋谷から二子之宿を経て、玉川を渡り、稚子松、聖松を見物 巻頭脱落があるか
1727		玉峰詩鈔	鶴詩文651	1	漢詩	網取善成作詩草稿(明治12~13)に大沼枕山が添削したもの
1728		玉蘂	宗ツ147	12	日記	享保7 資時の写す奥書あり
1729		玉露叢	宗ロ151	15	記録	嘉永4 宮司因宗親写
1730		玉だれ物語	宗ハ51	1	物語	弘化2 写 擬古物語
1731	珍	珍味料理品	宗ナ2/B	1	料理	諸献立と作り方
1732	珠	珠光一紙目録	宗ト215	1	茶道	天正18山上宗二の奥書を持つ原本の写本に拠って寛保2 岩田信安淑芳が写
1733	琉	琉球之赤壁小松島他	宗ル519	4	雑録	巻1「琉球と為朝」・巻2「解得ぬ謎(和解式)」・巻3「為朝窟鐘乳洞」 幽芳生著 いずれも明治以降 標題作が巻4
1734		琉球貢使録	宗ル110	1	外交	㊤「中山貢使録」 2836の上巻
1735		琉球雑話	鶴地119	1	雑録	嘉永3 堀野義礼自序 同4 富永忠良序 同4 米山中郵親成跋 琉球入貢ほか 草稿本か 琉球関係の雑録
1736	月	(琢磨学舎)月謝領受記	鶴哲507	1	教育	明治11~13 琢磨学舎の門人月謝受領台帳
1737	理	理尽抄	宗ル115	6	軍記	太平記評判
1738		理趣経口文		1	仏教	寛文11写本を拠に延宝3、元禄7と写されてきたものの弘化4 写
1739	琳	琳光院寄進百会	宗ト9		茶道	茶会記 川上不明白編 嘉永5 写 表紙見返に「東海寺中琳光院寄進并利休石碑建立のため明和三丙戌年二月廿八日より同四年丁亥二月二十八日迄於黙雷庵茶湯百会之扣」
1740	琴	琴学啓蒙	鶴楽7	1	音楽	鈴木龍著 文政4 北尾軌序
1741		琴学心声諧譜	鶴楽8	1	音楽	篠鳳蝶著
1742		琴経	鶴楽14	2	音楽	張大命著「太古正音琴経」
1743	瑞	瑞龍公世家	鶴史364	1	雑録	㊤「文抄」「瑞龍公世家」「国家停侯伯歳旦奉朝賀侍従以上鹵簿服京室指紳家之衣冠之制」「私対策」「真田幸村論」「邵康節問鶴二首」を納める
1744	環	環海異聞	C081/3	9	地理	15巻9冊
1745		環海異聞	宗ロ60	9	地理	5巻10冊 うち第9冊を欠く
1746	生	生花・古流	宗ト55	4	花道	安政3 鶴飼景林の奥書あり 伝書
1747		生花七種	宗84	1	花道	㊤「七種」 大正5 池坊専啓
1748		生花之巻 伝書巻物之写	宗七	1	花道	大正5 池坊専啓
1749	秘	秘授真之巻	鶴花63	1	花道	㊤「天花心花伝」 1750にならって「生花伝書 真之巻」とすべきか 「草之巻」(目録題)
1750	生	〔生花伝書(草之巻)〕	鶴花34	1	花道	
1751		生花六十一瓶図	鶴花82	1	花道	
1752		生花分体口決 後伝	鶴花13	1	花道	松花堂古流は心軒一露の伝書
1753		生花口伝前巻百二十ヶ条	鶴花3	1	花道	㊤「生花前巻百二十ヶ条」
1754		生花口伝集	鶴花81	1	花道	弘化5 写
1755		生花図式秘要鈔	鶴花6	1	花道	㊤「生花秘要鈔」 寛保元猪飼入道友枝の伝書
1756		生花天地人之巻	鶴花7	1	花道	
1757		〔生花秘伝書 草之巻・真之巻〕	鶴花33	2	花道	上巻「草之巻図解」・下巻「真之巻図解」と外題
1758		生華名人図譜	鶴花16	1	花道	
1759		生滿出生伝 他	宗ト46	54	→18	
1760	産	産物国字便覧	N621/1	2	植物	
1761		産語	鶴哲118	1	物産	太宰春台著 桐箱入り
1762	田	田中家戦功実録	宗ル309	1	戦記	慶応4 槐尚軒写
1763		田佐実秘録	宗ロ421	1	実録	此書文化十四丁丑歳五月中村介次郎之写之粟水静(巻末)
1764		田子養生訣(不老長生)	宗医25/C	1	医学	田中雅樂郎著 蒼龍堂蔵梓 嘉永4 岡実正直写
1765		田宮物語	宗ロ471	3	実録	
1766		田沼一睡之枕	宗ロ254	3	雑史	
1767	甲	甲子新聞志	宗ロ459	8	雑録	㊤「元治新聞志」 巻一(上・下)
1768		甲州幌制作書	鶴史676/1	1	武具	早川種徳編 ㊤「甲州幌制作書 伊勢家元服法式」「元服法式」(伊勢万助)と合写
1769		甲越戦争記	鶴	3	合戦	甲越戦争記付録 乾、坤 正徳五祀乙未仲冬日香四成資誌(識語)
1770		甲陽北原問答記	宗ソ406	1	仏教	
1771		甲陽軍鑑評	宗イ225	1	兵法	明和九年壬辰五月晦日
1772	申	申次故実	宗ハ307	1	有職故実	文化五年戊辰閏六月廿五日 貞春
1773	町	町奉行・勘定奉行	B972/8	1	雑史	㊤「録余一得二集」 標題は扉題による
1774		町奉行職譜	B972/12	1	官職	
1775		町女房				(現物なし)

1776	男異	男山臨時祭記	宗レ2	1	祭儀	㊤文政六年未のとし文月廿九日
1777		異国船入津記	B245/40	1	記録	㊤「嘉永六癸丑六月二日相州浦賀湊江異国船入津古今珍歌次第」
1778		異国説		1	外国	幕末諸外国の風聞 →61、201、541、547、1549、1643、2754と一括全11冊のうちの1冊
1779		異朝王代記	宗ヲ177	1	通史	道允纂輯（跋）正保元年ヨリ寛文九年己酉マデ二十六年也
1780		異賊考	鶴史7	1	雑史	中下巻のみ存
1781	番	画道金剛杵	M210/32	1	番画	題簽に「中林竹洞所作」享和元成
1782	番	（番奉行統譜）	B972/7/9	2	雑史	㊤「録余一徳三集」㊤「城代勤番奉行統譜」「奉行統譜」偶堂陳人輯
1783	當	当麻曼多羅口伝抄	宗ソ191	5	縁起	
1784		当時武家衣服	宗	1	装束	
1785		当時諸家官位昇進次第	H240/14	1	官職	㊤「這一帖者余初学之日未知今世諸家昇進之次第是以尋家別乃葉室頼重卿云々」貞享4当時の一萬石以上の大名とその親類名をイロハ別にした名簿
1786		当武枝葉集	宗ル263	25	名録	
1787		当風年中記事	鶴	1	年中行事	森川半助写
1788	畫	画工系図	鶴史312	1	番画	狩野・土佐系図 中国・日本の画人名 宝曆2成
1789	畿	畿内治河記	宗ホ215	2		（現物なし）
1790	疑	疑字弁・四昏句弁・四昏論題	鶴哲271	1	文字	四昏につき題名のような問題のある語句を抽出し、出所を示す「芝蘭蔵」の用箋使用
1791		疑惑		1	小説	近松秋江の自筆原稿
1792	病	病翁字波言	鶴史203	1	政治	辛亥（嘉永4か）年嶮雨「海防糸口下付録」を合写
1793	發	発句塚壘直	鶴歌76/2	1	俳諧	文化8序 美濃派 風盧坊編か →1562、1794、2684と合写
1794		発句塚壘直し	鶴歌76/3	1	俳諧	文化7序 1793とは別番 風盧坊編か →1562、1793、2684と合写
1795		発句大概	鶴歌123	1	俳諧作法	天明6紅蓼舎風察序 刊本写か
1796		発句集	鶴歌70/2	1	俳諧	㊤「白寿坊/掃一坊」文化6の白寿坊・掃一坊中心の歌仙等 連句・発句集
1797		発句集	鶴歌145	1	俳諧	宝曆11の不断井桐節の試筆を巻頭に幽霊舎朝雨・雪炊庵・五竹坊などを主にした連句・発句集
1798		発句集	鶴歌63	1	俳諧	天保4正月良礎・緑山・二字亭三吟を巻頭にすえる句集
1799		発句集	鶴歌64	1	俳諧	白寿坊撰、雪香園草路撰、木兎坊撰、雄古撰、風盧坊撰それぞれ点をつけた発句集
1800		発句集	鶴歌65	1	俳諧	多佐坊序
1801		発句集	鶴歌79	1	俳諧	㊤「發句集」一人の句控か 末掃一坊一丁半
1802		発願文	鶴歌142	1	俳諧	「発願文」蓮二房・「廟前」（独吟歌仙）蓮二房・「名利解」渡部狂、ミノ二竹、木因等 発句 版本の写か 抄写
1803		発駿紀行	鶴地99	1	紀行	甲斐莊正博著 元治元成 駿河の勤番を終り江戸へ帰る途中のもの
1804	白	白山筆記	宗口340	7	隨筆	㊤「蕉齋筆記」巻七まで 末尾によれば巻十で完のもの七までの写か
1805		白川家伝		1	家伝	
1806		白石先生著述目并同附録	鶴総53	1	目録	源朝風編
1807		白石叢話	宗口47	5	雑記	
1808		白石建議	鶴法111/1	1	政治	正徳三年三月老中に提出
1809		白石手簡	鶴法111/2	1		→1808
1810		白石手翰	宗ヲ35	3	番簡	㊤「(応酬洞巖)白石手簡」文化元大矢頼景写
1811		白鹿洞学書院揭示	鶴哲308	1	教育	山崎闇斎「白鹿洞書院揭示」に佐藤一斎「揭示問」を併せる
1812		白鹿洞揭示講義筆記	鶴哲207/1	1	儒学	㊤「綱齋先生白鹿洞揭示筆記」→869と合
1813	百	百人一首古説	宗チ63	3	和歌	賀茂真淵著 荷田在満校
1814		百人一首古説	宗チ44	5	和歌	1813と同書
1815		百人一首抄	宗チ33	2	和歌	慶安2洛陽黄台山勸息切臨著
1816		百人一首晝曇抄	宗154	10	和歌	享保10越山龍甫写
1817		百人一首秘註外歌書註釈	詠4	8	和歌	「〔百人一首注〕」「さそなの論」「百人一首秘註」「〔源氏物語注〕」「伊せ物かたり問書」「〔詠歌大概注〕」「〔 〕」を一括 三条西家伝来
1818		百官仮真愚抄	宗	1	法制	「職原抄」の注解 丹治氏泰著
1819		百々志季	宗ル356	2	美術	御所その他の襖杉戸等の絵師を解説

1820	百皇	百里齋	鶴歌80	1	俳諧	㊟「諸国名録」文化12写
1821		皇宋十朝綱要25巻		16		(現物なし)
1822		皇宋十朝綱要				(現物なし)
1823		皇統授受図	宗ヲ196	1	系図	享保18山宮維深著
1824		皇統略譜巻之一	鶴史53	1	系図	大館清字編 巻1のみの零本
1825		皇統比叡瀛洲航海日誌	J440/6	1	紀行	明治24
1826	島	島山夷記	宗ハ155	16	家伝	「島山記」「島山私記」等内題は種々 享和14池田秀陳・井足方儀共編
1827	阜	(阜月園句集)	鶴歌74/2	1	俳諧	㊟「野遊の駕」「野遊の駕」「阜月園句集」の2つを収める →2557
1828	盆名	盆山之記	宗ト135	2	工芸	安永3笹井岩肌の伝書
1829	盆	名所式盆山図式	宗ト78	2	工芸	㊟「極秘伝名所図式」
1830		盆山正式	宗ト79	2	工芸	
1831		盆石之事	宗174	1	工芸	
1832		盆砂式拾七景(早雲流)	宗144	1	作庭	于時文化拾貳亥三月 景雲堂双月
1833	鹽	塩原紀行(寛政十年)	鶴地53	1	紀行	原南陽筆
1834		塩尻	宗	24	隨筆	10・11・12・15・16・19~24・27~30・35~62・65~68存 →1456と合
1835	盤目	盤溪文鈔(巻下)	鶴総324/7/1	1	詩文	「燕霞館蔵」の原稿用箋(巻末識)中村親齋慶長十七稔菊月吉日一の長(花押)
1836		目利口伝書	鶴	1	刀剣	浄瑠璃 ㊟「(平井権八傾城小紫)目黒比翼塚夷録」
1837		目黒比翼塚夷録	宗ロ413	2	淨瑠璃	月俵・市税・紙鈔等の論
1838	盲相	盲蛇論	鶴蛇68/22	1	隨筆	天明三年卯十一月日興平六郎 泉屋喜右衛門殿
1839		(養寿院益寿院)相伝秘本	宗医	1	医学	(巻末)右秘花数十ヶ条 花道一流奥儀深秘之伝云々 京師正風誌
1840		相応の巻(水揚秘伝諸花口伝)	鶴花71	1	花道	㊟「御覧相模(ママ)夷事 寛政三年六月十一日吹上にて相模」第3冊目内題「相模古夷略伝」
1841		相摸之記	宗ヲ33	3	遊技	㊟「秋野秘伝相法五色筋脈」寛政六甲寅歳三月吉安日山口豊前橋千条
1842		相法五色筋脈	宗ヲ189	1	相法	卷2~5 法橋石龍子 第4冊目内題「倭鏡表裏巻天中内編」第5冊目「天中本義」法眼石龍子
1843		相法天中巻	鶴哲545	4	相法	㊟「天中巻」文化二年乙丑正月書之
1844		相法天中巻(内篇)	鶴哲546	7	相法	「相法天地巻」(山口流相法秘書)・「相法天中巻南部位捷徑」(上中下3巻1冊)・「天中巻内編第一九論」
1845		相法天中巻	鶴哲548	1	相法	㊟「相法天術録」 延陵北溪道人秘伝
1846		相法天地巻(山口流相法秘書)	鶴哲542	3	相法	
1847	秋相	秋野秘伝相法天術録	宗ヲ189	1	相法	
1848		相法玄機 象法伝	鶴哲550	1	相法	
1849	相	相豆紀行	鶴地51	1	紀行	金谷英讎序 関慎叔成著 旨寛政庚戌孟春写櫻樓南窓下
1850	看	看相法秘伝(秋野)	宗ヲ189	2	相法	寛政四年山口和泉朝輝齋橋千条 二代目山口和泉朝起齋千枝直伝
1851	眞	眞之巻 他	宗ト47	6	花道	生花伝授書 眞之巻・行之巻・草之巻・眞之巻高雲齋・行之巻高雲齋・草之巻高雲齋
1852		眞太陽大陰五星四余之説	宗		天文	㊟「眞太陽之説 五星順逆留状」
1853		眞相精通	鶴哲555	3	相法	児島信好古著 渡辺篤泰民校
1854		眞言宗之事業(頼富実毅師行状)	宗ソ524	1	仏教	六大新聞抜書 眞言宗之事業 頼富実毅師行状(明治43年11月13日発行)
1855		眞野山皇陵記	宗ヲ154	1	伝記	順徳院伝記 開齋編 標題のほか諸書の抜書「川中島合戦」「山の根合戦」「寛永小説」「古人物語」 明治22写
1856	矢	矢保呂考	宗	1	武具	文化6松岡行義著 天保13温故軒任蔵写
1857		矢保呂考		1		→1856
1858	知	知好好学録		6		(現物なし)
1859		知好好学録				(現物なし)
1860		知足院関白御記 公卿勅使	宗チ59	1	日記	㊟「知足院関白記」 康和5・長治元~2・天仁2~4・承久2・5~6等から公卿勅使の箇所のみ抜粋
1861	短	短尺之事 外	詠78	1	歌学	短冊についての作法 →2320、2321、2509、2875、2876と一帙
1862	石	石屋本縁	宗ソ268	1	神道	㊟「石窟本縁記」 神仏混淆 寺社縁起
1863		石原先生学談抄略	鶴哲202	1	漢学	石原寛信述 稻葉正信録
1864		石城深秘録	宗ル343	1	実録	但馬出石藩の騒動 天保10奥津善蔵写
1865		石州流口伝	宗ト164	3	茶道	㊟「三百条」 無住抄 石州流茶道秘伝
1866		石州舜臣墓碑文	鶴史692	1		(現物なし)
1867		石州流挿花中伝附録根之巻	鶴花52	1	花道	以下1869まで石州流挿花家元八世一瓢庵関里の秘伝書 自筆か
1868		石州流挿花中之巻	鶴花51	1	花道	㊟「石州流挿花伝書 表百ヶ条陽之巻之内中伝五拾ヶ条」

1869	石	石州流挿花初伝陽之巻	鶯花53	1	花道	㊦「石州流挿花 表百ヶ条之内初伝陽之巻 五拾ヶ条」
1870		石州流生花寸法簡之巻(乾)	鶯花49	1	花道	花器寸法図 会頭泉車著カ
1871		石州流百箇条	鶯花55	1	花道	㊦「石州流百箇」 用和斎編 安永4門人 閣圭子序 石州流秘伝書
1872		石州流花水上百ヶ条	鶯花54	1	花道	「文政十二己丑年春照軒花朝」の奥書あり 石州流秘伝書
1873		石州道具寸法図	宗ト208	1	茶道	石州流諸道具の寸法 「石州流道具画図寸法無相違者也 洒心庵宗心」と奥書あり
1874		石清水臨時祭再興記	宗レ6	1	祭祀	文化十年三月十五日石清水八幡宮臨時祭記録 ㊦「石清水臨時祭使以下式目」 源通岑の識話を有する文化10写本に拠って文化11写
1875		石清水臨時祭部類	宗	4	祭祀	石清水臨時祭の記録並びに古記録からの抜書
1876		石清水行幸御列 文久癸亥四月十一日	H210/9	1	記録	文久2 孝明天皇石清水行幸記録 太田仕二郎蔵本を昭和7写
1877	碑	碑文集	鶯	2	金石	碑文と共に自作の詩その他注記あり 明治のもの
1878	磯	磯つたひ	鶯歌72	1	俳諧	文化12年写
1879	示	示蒙解悟	宗ヲ90	2	教訓	小林正善著 明和3成
1880	社	社友姓名録	鶯史720	1	名録	安積氏の塾の名簿
1881		社倉私議	鶯法38	1	政治	中井竹山著 寛政6成
1882	祠	祠部職掌類聚	宗ル350	4	寺社	御朱印山城国八幡山・山城国神主・山城大和諸宗・郷土町人百姓の4冊
1883	神	神事著略	宗レ21	1	神社	「外宮神事著略」 度会常彰著 享保6成
1884		神代三字史	鶯語90	1	教育	宮内君浦著 明治3年序跋
1885		神代口訣	本居記26	5		
1886		神代字四十七言	鶯総326/21	1	文字	出雲国大社所伝神代文学 元治2 源康濟写
1887		神君御年譜	B940/27	2	伝記	正保3 源義直序
1888		神君御遺状百箇条	鶯総108	1	教訓	㊦「御遺状御宝蔵入百箇条」 天保9 本庄某写
1889		神境紀談	宗レ8	6	神社	伊勢神宮諸社殿の解説 元禄13度会延貞自序
1890		神木家語	宗ル414	1	伝記	越後高田榊原家代々の伝 石井安富写
1891	史	史蹟名勝としての神山	C244/29	1	歴史	昭和8 大西源一讀演カーボン複写
1892	神	神楽催馬楽	宗レ51	1	歌謡	㊦「神楽催馬楽加茂翁註」
1893		神機制敵太白陰経		4		(現物なし)
1894		神楽催馬楽	宗ル39	1	歌謡	外「真測考/加具羅佐伊婆良」 1892と同内容
1895		神田橋田印一件	宗口338	1	記録	佐野善左衛門の田沼山城守刃傷一件
1896		神皇正統後記	宗ハ12	3	通史	「神皇正統記」の後を継ぎ後屯山天皇没に至る南朝正統の立場よりする歴史
1897		神栴毘編	鶯哲552	4		(現物なし)
1898		神社仏閣	宗ホ474	1	寺社	扉に「大日本/神社佛閣/名所旧跡/名山高山/大川名浦」とあり、諸国のそれらの名を列挙、付注
1899		神社則	宗レ7	2	神社	明治初年布達の手社関係諸令・規則集 明治7に至る
1900		神祖之御書	鶯史93	1	教訓	家光の件につき秀忠への書
1901		神祇伯業資王記	宗ツ163	1	日記	建仁3・承元5・建暦2・建保6
1902		神護寺交衆任日次第	宗284	1	記録	史料編纂掛本の正元写
1903		神道伝受	宗レ28	1	神道	正保元林羅山著 貞享元秦正好写
1904		神道年中行事	宗レ38	1	神道	「新居東人藤原栄清」(識語)
1905		神風小名寄	宗レ27	1	地理	慶安2 荒木田盛徴著 天明元写
1906	祐	祐天大僧正御伝	宗352	8	伝記	㊦「祐天御一代記」
1907		祐天御一代記				→1906
1908		祐天大僧正御利益記附録	宗uncl	1	伝記	
1909	祇	祇園会山鉾飜付記	宗ヲ151	1	祭儀	巻末に「丑六月改 小嶋ひかへ」とあり
1910	祭	祭文碑銘類	鶯史699	1	祭文	願文
1911	粟	粟承余草	宗リ147	2	仏教	真宗の秘説37箇条
1912	茶	禁中年中行事	宗ツ23	1	年中行事	天保12写
1913		禁中年中行事	宗ツ167	1	年中行事	元禄2成
1914		禁裏惣御図	宗ヲ225	2	建築	寛政2 柴野栗山著
1915		禁裏政要	宗ツ85	3	儀式	文安2 秀林奥書 追加1巻を合せて3巻
1916		禁裏武家寺社之法度	H210/4	1	法制	公家法度(慶長20)・武家諸法度(元和2)・諸山諸法度(同)を収める
1917		禁裏造宮諸奇談話	宗口279	1	雑録	「内裏御普請帳」「明窓宝鑑」「諸奇談」等を収める
1918		禁要秘抄	宗口97	1	雑録	高松藩主三代の逸話を録する
1919	福	福井より北陸道追分迄順路	鶯総131	1	地理	道中備忘の書留めか
1920	禪	禪国山碑	拓新105	1		(現物なし)

1921	禪	禪林閑話	宗458	1	仏教	「大正二年九月十八日中外日報抜書 禪林閑話」
1922	禮	礼記抄説	鶴哲300	1	漢籍	癸巳(天保4か)写 朱訓点墨書入 →1705と同帙
1923		礼記正文	鶴哲360	4	漢籍	冢田大峯訓点 版下本か
1924		礼記贅説	鶴哲361	4	漢籍	冢田虎著 文政六年春三月序 「雄風館蔵」の用箋
1925		礼記附記卷4・5・6		6		(現物なし)
1926	禹	禹貢論3巻				(現物なし)
1927	秀	秀吉記	宗	29	伝記	1~48(4・5・14・16・22・23・26・31・32・34~36・39~42・44~46欠)
1928		秀頼事記	宗ハ193	1	伝記	
1929	私	私日記	宗	1	武家故実	(巻末)天文十五年六月廿九日伊勢六郎左衛門尉貞順(朱)貞丈朱書
1930	秋	秋湖漫筆	鶴総292	1	隨筆	田中寿軒著 明治期成「杏林風月」(漢詩)合写
1931		秋霞叢書	鶴総329	8	雜録	1冊に外題「菊人漫筆壬戌重陽日装成」1冊内題「関原戦記」
1932	租	(領知社寺領)租税録書式	D940/7	1	史料	⑨「領知租税録」「何社寺領租税録」
1933	秘	秘密奥蔵鈔	宗46	1	宗派	(巻末)享保第三 從遠寿院日久先生伝受之書写 現成院 日進(花押)
1934		秘符	宗uncl	1	占卜	(巻末)出家康了
1935		秘訣演法	宗ト42	3	茶道	⑩「茶道秘訣演法」
1936	稱	稱呼急務	本居総19	1	考証	沢誼平著
1937	稻	稻葉の露	宗ロ463	1	実録	諏訪弥右衛門著 天保14加藤長房蔵序
1938	穂	穂波家伝		1	家伝	
1939	窶	窶窓留保	A910/29	1	隨筆	(巻末朱)帝国図書館所蔵本を種ニ而明治四十三年七月増訂謄写
1940	窓	窓廼独許登	宗レ20	1	神祇	
1941		窓のすさび	宗ロ364	5	隨筆	享保9序 鳩巢著
1942		窓のすさび	宗ロ184	3	隨筆	享保9 堯臣序
1943		窓のすさび	宗ロ316	3	隨筆	松崎堯臣稿 (巻末)寛保四年二月初補正書集 堯臣
1944		(欠番)				
1945	立	立華秘伝	鶴花19	1	花道	⑪「立華秘伝百箇条」
1946	端	端空詠草	詠74	8通	和歌	飛鳥井故雅成三十三回忌追慕寄秋懐旧他→2425と合綴
1947	競	競史	宗ル152	8	通史	南北朝の歴史 第1冊天皇伝(後醍醐~後小松)第2冊后妃、皇子、皇女 第3~5冊列伝 第6冊將軍伝 第7冊將軍家族家臣 第8冊將軍家臣、雜伝
1948	竹	竹内家伝		1	家伝	嘉永3まで
1949		竹山先生国字讀	鶴語134	1	雜録	竹山中井積善の和文漫筆の一部
1950		竹山答鹿宮二生書	本居総178	1	漢学	竹山が門人鹿島文幸と宮武正蔵(一に貞蔵)の間、論文に答えたもの 安永6~8年2588と一帙
1951		竹爪子	宗ロ38	3	雜録	天保7小林溪舎序
1952		竹林流射芸	宗	1	弓術	竹林流弓術書 明治写
1953		竹生嶋縁起之写	宗ソ18	1	寺社	⑫「竹生嶋縁起」 「聖光寺江竹生嶋持出宝物員数記」を併せる
1954		竹生島文書抜萃	宗278	1	記録	史料編纂所影写本の大正2写
1955	笈	笈埃隨筆		6	隨筆	前後各三巻 雪中庵雀志本の明治41写
1956	筒	筒并船漂流記	C180/10	1	漂流記	⑬「浜名湖由来」 「于時元文四年己未秋七月諏方社権職飯田伊織藤原嘉言識」間書か 享保3、4難破船漂流記 書中には筒山船とあり
1957	筑	筑前州漂民孫七話	宗ロ422	1	漂流記	宝曆末~明和7筑前船頭十右衛門の漂流記
1958		筑前庄の浦仙女物かたり	宗ヲ147	1	雜記	海女の至孝にちなむ「寿命米」伝説 自筆草稿 「寛政十戊午十月執筆東武金城之西辺玉川里菅刈庄大蔵産住雙隣軒中仙子」
1959		筑波根於呂志	宗ヲ181	1	伝記	水戸徳川斉昭の政事、訴訟等の記事を集録
1960	策	策彦入唐雜録	鶴総358	1	伝記	二度の入唐記 送別詩等を編纂
1961		策彦和尚筆記	鶴史232	1	雜録	策彦自筆本に拠る寛永4写本の転写 禅、詩法など
1962	筆	筆濃残	宗ロ372	5	隨筆	歴史上の人物出来事についての隨筆 「嘉永三ツ乃とし七十翁長尾子友斎平景治」と奥書
1963		筆曙	鶴総68/20	1	漢学	錫山王達著 空谷茂潤釈義 嘉永7頃
1964		筆記詩伝一総論國風 周南召南	詩79	1	漢学	⑭「筆記詩集伝」講義録 →1965、2015、2227、2337、2348、2492、2877と一帙

1965	筆	筆記詩集伝国風 齊魏唐秦	詠79	1	漢学	㊦「筆記詩集伝」講義録 →1964、2015、2227、2337、2348、2492、2877と一帙
1966		筆適	鶴法69	1	法律	儒医沢元愷自筆本
1967		筆のまにまに	鶴総317	1	随筆	「筆のまにまに」上巻と「古今著聞集」下巻との合写
1968		筆のまにまに 二	鶴総318	1	雑録	諸書からの抜書 天保2為一著
1969		筆のまにまに 八	鶴	1	雑録	「此随筆七九の冊にはおくれで巻終りけるけふは天保六のとし正月五日なれば此事を思ひいてて抄録し筆を欄ぬ為ミチ」と奥書あり
1970	算	算盤	鶴理31	2	教育	位取りを教える本か
1971	管	管公一代記	宗イ8	2	伝記	内題なく、外題は後人の付けたもの 管は正しくは管とすべきもの 通俗的な伝
1972	白	白馬節会秘	宗ツ71	1	有職故実	「文暦第一之暦」云々 文明14尚書藤の奥の本の寛政8写
1973	管	管子	鶴哲53	5	漢学	浅井園南写か句読朱記入
1974	管	管窺武鑑集	宗ロ427	9	家伝	夏目定房著 慶安2自序 明暦2意林庵楽心序(印あり自筆か)
1975		管蝨秘旨	鶴理12	1	教育	前野蘭化著 安永6自序 和蘭の窮理学校の教科書よりの紹介 天文地理に関するもの
1976	篠	篠軒小録	C243/11	1	地誌	近江国地誌 大正3写
1977	簾	簾中抄	宗ツ32	2	有職故実	元禄15沢了写
1978	籌	籌海叢誌	宗ロ123	9	海防	山脇正準 嘉永2自序
1979	米	米国陸軍長官タフト其他各員 同国特命全權公使同伴参内 謁見并に御膳食次第	宗	1	外交	明治38年7月26日の事
1980		米川流香組伝書	宗ト152	5	香道	
1981		米庵先生略伝	鶴史467	1	伝記	市河三玄伝
1982		米齋筆記	鶴総307	1	雑録	儒者・池田光政・赤穂浪士など記事抄出
1983	糶	糶米積取通	E100/36	1	経済	西川屋十兵衛宛松坂町会所の請取一通
1984	粟	粟田日記	宗ロ376	2	随筆	畑維龍著 寛政4滄浪居士 閑田子菟溪序
1985	奥	奥州会津四家合考	宗ハ148	12	歴史	葦名・伊達・蒲生・上杉家の会津をめぐる興亡をしるし保科正之入城に終る年譜を付す 寛文2自序(名欠)
1986		奥州会津四家合考	宗ル365	2	歴史	巻4まで存 序に向井新兵衛吉重の署名あり
1987	精	精姫君様御引移御行列書	宗uncl	1	記録	表紙題名脇に「九月九日遠来ル/本多越中守殿へ御目付遠山半左衛門より伺済」
1988		精進生脛献立記	鶴総106/1	1	料理	本文初「五月十九日宝慶大和尚年廻法要ニ付志比村永平寺大禪師御来駕御勤仕依之一夜泊御料理三汁十一菜」
1989	糸	糸の錦	L214/2	1	歌謡	長唄集
1990	系	系図纂要	B982/11	3	系譜	宇多源氏系の公卿諸家の系図 史料編纂掛本の寛文2写
1991	紀	紀事文	鶴	1	文集	明治24頃の某の作文集
1992		紀伊国物語	宗ロ336	1	記録	嘉永4谷田宗六写
1993		紀州旧跡志	宗ホ387	6	地誌	7巻6冊 7巻上、下を綴ちがえる。
1994		(副点)紀效新書坤藁	鶴史645	2	兵法	㊦「紀効新書」 高島貞勝副点
1995		〔紀行文集〕	鶴地34	1束	紀行文集	「幸崎紀行」「住吉詣」「伊勢紀行」「あづまの道の記」「むさし野の紀行」「熊野紀行」「尾張紀行」「善光寺紀行」「東国陣道記」「平安紀行」「九州のみちの記」「蒲生氏郷紀行」「正広日記」「高野日記」「ふち河の記」「小島の口すさみ」それぞれ用箋一束ずつ一括
1996	紅	紅梅書屋独語	鶴哲28	1	随筆	天保6古賀穀堂著
1997	紐	紐刀	宗レ9	1	国学	㊦「ひもかたな」 若山(和歌山)の坂本屋喜一郎発行本の写
1998	組	組香四季之末喜	宗ト156	1	香道	志野流の伝書
1999		組香母	宗ト155	3	香道	志野流の伝書 享保6三宅試軒伝授
2000	紫	紫朱母	鶴哲436	1	仏教	宝暦13 釈大我著
2001		紫芝園漫筆	鶴総240	7	随筆	太宰春台
2002		(百物万化)紫陽花草史	L234/6	5	戯作	慶応3三味庵作 読本か 国書総目録は本草書として採録 王制復古を背景とした戯作
2003	細	細川三好合戦記	B230/29	1	戦記	明22贈写
2004		細川三齋ノ茶母	宗ト212		茶道	
2005		細川幽齋翁軍中筆記	宗ル440	1	兵法	文化6写
2006		細川御先祖		2	家伝	「〔細川家譜〕」 「網利公御年譜」(2020)とツレ
2007	累	累世記事	B983/4	3	家伝	㊦「藤堂記抜萃」

2008	結	結縁灌頂阿闍梨声明		寺院	玄深写 →35、257、1692、2357、2391、2567と合
2009	給	給松風説集	宗ロ464	4	記録 大給家改易(?)一件の詳細 罪状の一つ一つが実録風に記されている
2010	經	経信卿記	宗ツ63	4	日記 →2010
2011		経信卿記		1	書目 ㊤「経史齋科説次第」
2012		経史齋科説書次第	鸚哲62	2	儒学 「論語欄外書上帙」「経子考証(泰山遺説)」のそれぞれ1綴ずつ
2013		経子考証	鸚哲61	1	漢籍 卷4のみの端本
2014		経字名徴	鸚哲59	1	漢字 1964、1965、2227、2337、2348、2492、2877
2015		経母抜萃	詠79	1	漢字 一と一帙 標題のほか「孟子勸諸侯行王道論」和歌添削あり
2016		経済秘書	D105/24	1	政治 享保14太宰純序 「経済録拾遺」1冊を付す
2017		経済録		6	政治 (現物なし)
2018		経済ノ意義種類ヲ論シ吾国歴史上ノ経済階級ノ實際的活動ニ及ブ	D105/29	1	
2019	網	網利公御夜話	宗236	1	随筆 (巻末)右式百式拾九カ条者松雲院様御意等御座候趣私覚書仕置候云々中村典膳
2020		網利公御年譜	宗uncl	5	系譜
2021	維	維新奏議集抄録	B251/6	1	政治 ㊤「維新奏議集」中・下巻 明治二年己巳三月六日小山田省吾一義
2022	編	編年摂関雑録	宗ツ30	1	系譜 天安2藤原良房〜享保14藤原綱平
2023	維	(実記)維新随筆	宗ロ370	4	雑史 彩色絵入 維新雑録・当世百人一首他
2024	總	総国風土記	宗ホ330	1	地誌 ㊤「日本総国風土記」撰津・伊勢・志摩・尾張・三河・駿河他
2025		総遊話録	鸚哲203	1	随筆 寛政5奥平定時跋 叶先生の談話を定時筆録 嘉永7服部正行蔵書
2026	織	織出常陸帯	宗258	3	随筆 全9巻(巻7・8欠)
2027	繰	繰練詞令略式	鸚史650	1	兵法
2028	繼	(繼志述事為孝者古之訓也我)	宗ル302	1	儀式 宮中典礼 ㊤㊤なし 標題は本文の一部
2029	續	続三王外記	B249/2	1	雑史 東武野史若無子著
2030		続世継物語	宗ハ103	5	歴史物語 ㊤「続世継」[今鏡] 慶安3中野道伴刊本の写 天保元信友 小野通女本・玄陳本等校合
2031		続今昔物語	宗ロ261	1	説話 ㊤「続今昔物語集」
2032		続兵家茶話	宗ロ341	1	戦記 嘉永5子とし巻
2033		続半日閑話	宗ル202	1	随筆
2034		続日本王代一覽	宗イ82	4	通史 文化元序 片山円然編 ㊤「続日本王代一覽 近世西東略史」
2035		続日本王代一覽後記		6	通史 ㊤「日本王代一覽後記」片山円然編 (巻末)文化元甲子ヨリ天保六乙未マテ三十二年
2036		続泰平年表	宗ル269	10	年表 嘉永5序
2037		(武家必読)続泰平年表	宗ル289	2	年表
2038		続緒結餘論	宗uncl	1	有職故実 種々の緒の結び方の考証
2039		続々本邦史記	宗ロ290	5	通史 巻27まで
2040		続々本邦史記	宗	11	通史 初編とあり 30巻
2041		続をりたく柴の記	宗ル166	5	随筆 ㊤「続折たく柴」 「折たく柴の記」下巻に当る
2042	美	美濃明細記	宗ホ141	6	地誌 元文3伊東実臣自序
2043	義	義公仁徳録	宗ロ310	8	実録 ㊤「義公黄門仁徳録」 嘉永3源清道写
2044		義士対話録	宗ロ241	3	記録 ㊤「赤穂義臣対話」 堀内伝右衛門のもの
2045		義士忠信談大成	宗ロ89	4	実録 江府貧人隠士の小引に著書不明という 宝永3武江の隠士跋 記事は享保20のものあり
2046		義就治罰案	宗ツ153	3	雑録 題名は最初の文書のもの 以下はそれに関係のない諸文書の集録
2047		義景記	宗43	6	雑史 朝倉氏
2048		義残後覚	宗ロ130	4	雑史 愚軒著 文禄5成 戦国期の軍談逸話の集録
2049		義臣対話	宗ロ393	2	記録 ㊤「赤穂義臣対話」 2044の内附録なし 文化13年大原政昂写
2050	羽	羽鏡(小笠原長棟図)	宗へ226	1	弓術 矢羽根の図鑑、天文元小笠原長棟図 安永5伊勢貞丈 寛政9年伊勢貞春與 享和3大野又次郎写
2051	翁	翁物語後集	宗ロ31	12	軍学 倍曾翁との問答の体をとる
2052	習	習俗草	鸚語100	1	随筆 文字・語句についての考を主とする 山本北畠著
2053	翁	翁物語	宗ロ457	10	軍学 明暦2小早河能久著

2054	翠	翠柳園襍録	鶴総248	2	雑録	漢籍や日本人の漢文の抜抄 慶応元小野沢吉常写 翠柳園(小野沢か)蔵書目録あり
2055		翠軒雑録並茗話	鶴総247	3	雑録	④「翠軒先生雑録」立原翠軒自筆か
2056	翻	翻迷集	宗148	2	仏教真宗	東西本願寺の争、分離の事
2057	老	老人雑話	宗ロ52	1	随筆	江村専斎著 天保2源米足写
2058		老人雑話	宗	1	随筆	同上 明治45写
2059		老子道德経	鶴哲371	2	漢籍	王弼注本 宇佐美恵の考訂 明和6自序
2060		老子道德経	鶴哲368	1	漢籍	松岡敏欲訥 挿註 鶴軒自著
2061		老談一言記	宗ロ141	1	伝記	「老談一言記」(卷之三)・「老談記」(卷之一)合綴 (巻末)承応元年二月四日小早川式部少輔
2062		老談一言記	宗ロ266	1	伝記	④「(白石)紳書一名老談一言」享和元年夏写 早川定永
2063	新	新井白石老談一言記	宗ロ163	1	伝記	④「新井君美先生老談一言記簡要」
2064	老	老鶴集	鶴歌73/2	1	俳諧	李肯編 文化11白寿坊序→923、1260と合綴
2065	耳	耳袋	宗ロ366	6	随筆	「耳囊副言」(志賀理斎識)1冊を併せる
2066		耳囊	A910/69	2	随筆	藤原守信序 天保10跋
2067		耳囊撰萃	宗ヲ140	1	随筆	寛政十一年己未六月 山久茂
2068		(守信随筆)耳囊	宗ロ32	10	随筆	藤原守信序 「文化六巳年仲秋七十三翁守信謹書」(跋)
2069	職	職原鈔真名鈔	宗ツ158	10	法制	
2070	聖	聖廟誌	宗ロ346	3	伝記	
2071		聖徳太子伝	宗ソ122	2	伝記	④「安井御門跡什物之本 聖徳太子伝暦」
2072		聖武秘要記	宗ル83	1	伝記	天明3年12月跋 此書は白川少将定信朝臣家中の子弟にさつけ給ふ云々
2073	清	清武記	鶴史119	1	中国通史	④「清武記 付方国海路之記図」
2074	聚	聚分韻略	鶴語81	2	辞書	
2075		聚楽秘談	宗ロ400	5	伝記	秀吉中心の通史
2076		聚芳帯図左編	宗ス25	9	植物	享保12南湖居士序 同年石川正恒序
2077	聞	聞老遺事	宗ル396	3	雑史	④「南部家聞老遺事」 明治17写 参軍盧真年
2078		聞見即記	鶴史207	1	外交	
2079		聞見雑記	宗ロ294	2	雑録	④「見聞雑記」 松岡率忠誌、
2080	職	職原鈔	H250/2	1	法制	上巻のみ存
2081		職原鈔追加竊考	宗ツ171	1	法制	(巻末)元文元年五月廿二日貞文書于時十九歳
2082		職方外紀	鶴	2	外国地誌	④「槐園叢書 職方外紀上(下)」 天啓3序
2083	職	職源参考如鏡	鶴法31/1	1	法制	職原抄の注釈 近藤芳樹の名見ゆ 外題左下に「勝統集録」 見返「柞園落葉四十五」→760と合綴
2084	聽	聽雲仙館駢体文鈔		2	(現物なし)	
2085	肥	肥後家政録	宗ル82	5	経済	大村庄助 別名「肥後経済録」
2086		肥後物語	宗ロ220	1	雑記	嘉永5幹濟写
2087		肥陽軍記	宗ハ162	4	戦記	
2088	服	服仮令	宗レ32	1	葬祭	④「大神宮服仮令」 天明5度会貞多写
2089		服忌令撰註分釈 補選目録付	宗ヲ258	3	葬祭	安永10長山庄右衛門著
2090		服忌鑑察	H240/16	1	葬祭	嘉永5林貞恒写
2091	背	背骨国志	宗レ47	1	地誌	伊勢国の地誌 天保3写
2092	胤	胤平難頼則之歌三十首	詠77	1	和歌	④伊能願則歌三十六首 →303、319、391、1040、1081、2203、2322と合帙
2093	胡	胡蝶のゆめ附莊子七篇大意	鶴文8	1	儒学	④「読書巷胡蝶の夢」「胡蝶の夢」「莊子七篇大意」の2編を収める
2094	能	能書事蹟	宗ル11	4	書道	森尹祥校 穂積保編
2095	膽	膽心精義録	宗ロ303	1	実録	正徳2神田白竜子著 17巻
2096	麗	麗軒瑣録	鶴総173	1	雑録	「月令紀略」「美具羅為之記」その他からの抜書
2097	臨	臨川寺文書	宗290	1	記録	史料編算掛本の大正元写
2098		臨川寺重書案文	宗291	1	記録	史料編算掛本の大正元写
2099	自	(自新録附再新録)	鶴総386	1	随筆	「自新録」「再新録」を収める
2100	臺	台湾外志(10巻)		10	(現物なし)	
2101		台湾外志、100回		10	(現物なし)	
2102	興	興業県志、10巻		4	(現物なし)	
2103	舊	興正寺本願寺本末論	鶴哲592	1	仏教真宗	明治元 黙雷
2104		旧幕末重職姓名	B972/13	1	人物	明42写
2105		旧考餘録	宗ル409	5	人物	文政12竹尾次春著
2106		旧聞録	宗ト73	1	茶道	藤村正員著 庸軒流茶道故実書 寥寥庵観山所蔵本に拠り文政6矢田龍玉写
2107		旧邦記	宗ニ35	1	雑史	75章から成る旧邦記中から28章抜粋 加賀前田家とその家臣のこと
2108	舍	舍密試験	鶴理29	1	化学	化学薬品の製法
2109	舟	舟橋家伝		1	家伝	舟橋・伏原・沢家

2110	般	般若心経注訳	宗71	1	經典	至道庵主注
2111		般若心経註解	K620/204	1	經典	慶長11年興聖寺円耳著 見返「木曾福島大道寺会権首座書之者也」裏表紙裏「忍首座遺物 寛保癸亥春」
2112	船	船長日記	宗口304	5	漂流記	文政6 吉田中山美石、本居太平 文政8和氣行蔵跋
2113	良	良将達徳鈔	宗口110	11	雑録	10巻10冊 補遺1冊 種々の書物から集めた良臣の事蹟・言行 補遺には天保2の自跋あり
2114		良将達徳鈔	宗口139	3	雑録	㊤「良将達徳録」5巻 2113の1～5巻(智之部のみ) 但し、2113にない文政10自序・例言・目次を持つ
2115	芝	芝山家伝		1	家伝	
2116	花	花伝書	宗ト150	1	花道	京師専敬流花道秘伝書 花流亭如泉奥書
2117		花器寸法秘伝 松月堂古流	鶺鴒花41	1	花道	㊤「古流花器廿六品之内初伝八品」松月堂古流秘伝書 「松月堂古流統道五大坊ト友門生 桃李園止乙正之」写
2118		花山院家伝		7	家伝	花山院・野宮・大炊御門・難波・飛鳥井・今城・中山家
2119		花意三国伝来之事	鶺鴒花80/2	1	花道	→540と合綴
2120		花生切様并釘打様次第	鶺鴒花18	1	花道	㊤「花生切様図」池坊秘伝書 文左軒写
2121		(無極流初伝)花術三才の巻	鶺鴒花72	1	花道	無極流秘伝書 廣輪殿御花方宛無極庵活南奥書
2122		(花道家元末生御流)花術原一旋転之巻	鶺鴒花67	1	花道	末生流秘伝書 嘉永2正文斎敬甫写
2123		(無極流中伝)花術鉢用相応之巻	鶺鴒花73	1	花道	㊤「(中傳)花術鉢用相応之巻」無極庵活南奥書
2124		〔花道〕	鶺鴒花60	2	花道	2巻 ㊤「不許他見他言 花道前巻 下五十箇条」「不許他言他見 花道后巻 下後六十箇条」文化7～8白鹿庵青木焔山より樋上氏に伝授したもの
2125		花道口伝問書	鶺鴒花17	1	花道	㊤「京六角池ノ坊ヨリ花道口傳問書」「元禄十七申七月京六角堂池ノ坊ヨリ相傳ナリ藤田彩杏堂」と奥書あれど転写か
2126		花道書	宗ト35	12	花道	「生花養伝」「華道書」「花道表廿ヶ条」「花道裏廿五ヶ条」「花堂問答書」上、下、「華道真之巻」「華道行之巻」「華道舛之巻」「華道真之巻図解」「華道行之巻図解」「華道舛之巻図解」天保10～15鳳雲斎より伊吹花蝶に伝授したもの
2127		花野乃杖	鶺鴒歌144	1	俳諧	㊤「花のつえ」風盧坊ほか 俳諧、連句 寛政11秀仙写
2128		花の友月の友	鶺鴒文203	1	隨筆	儒学問答
2129		花のおしり	鶺鴒地97	1	俳諧	紀行 鶴歩著 安永8橋以南序 巻末に別筆で「此旅行鶴歩三十七歳之時也きてその後白眉と改名なし侍りぬ」とある
2130	苧	刈萱五段目	宗 uncl	2	浄瑠璃	床本
2131	菊	菊言	宗ル108	2	經濟	安政2 藤森弘庵著 別名「新政談」
2132	芳	芳茗録	宗ト163	5	茶道	㊤「雀舌録」「芳茗録」その他からの抜書 ゆえに標題はふさわしからず
2133	若	(若干解在食貨志)	鶺鴒	1	雑録	「漢書」その他からの抜書 樽樞軒主人編 標題は表紙にある落書 ゆえに「樽樞軒筆録」とても改めるべきか
2134		若葉の抄	宗ホ325		地誌	㊤「和佳場の小図絵」紫磨子一桐直徳著 江戸雜司カ谷の地誌 安政10自序稿本
2135	英	英公義訓	宗ル246	1	教育	元禄6成 文化2 山口忠道写 英公は初代高松藩主松平頼重
2136		英国大蔵大臣財政演説要領	D929/2	1	政治	
2137		英明録	宗口245	10	伝記	林述斎・成島司直共編 徳川吉宗の伝記 弘化2写
2138		英豪戦略	鶺鴒史643	1	兵法	「水戸碩儒鉄槍斎青山延寿草稿」とうしろ表紙にあり
2139	茗	茗柯文編手写原稿		8		(現物なし)
2140		茗柯文編手写原稿				(現物なし)
2141	荀	荀子	鶺鴒哲187	4	漢籍	享保20浅井図南ほか写
2142		荀子	鶺鴒哲186	4	漢籍	「石塾蔵」の用箋を用いる
2143		荀子巻6-20		3		(現物なし)
2144	草	草廬雑談	鶺鴒総225	1	隨筆	青木昆陽著 元文3自序 寛保2写
2145		草木撰種録	宗ヌ70	1	雑録	「草木撰種録男女之図」「北棧聞略」「万国新話」その他からの抜書
2146		草木集	宗5	1	花道	大正5写

2147	草	草露貫珠抄書	本居枝24	2	書道	草字彙に類する字体字典 巻末に柳枝軒方道藏版の「彰考館訂本刊行目錄」を付す
2148	茶	茶事要談	宗ト74	1	茶道	
2149		茶人名録	鶴茶4	1	茶道	
2150		茶入名物集 万入手筋考	M710/30	1	茶道	天保三辰八月末調とあり
2151		茶器考鑿録	宗ト154	1	茶道	安政3泉漢平日庵主人写
2152		茶器鑿定書	宗ト46	2	茶道	
2153		(茶室普請書)	鶴工7	1	茶道	㊦「フシン書」
2154		茶席之図	M710/37	1	茶道	
2155		茶席之図	M710/37	1	茶道	→2154
2156		茶席之図	M710/38	1	茶道	「客入之覚」を付す
2157		茶式	宗ト172	1	茶道	「花月之事」他茶式のこと
2158		茶式花月集	宗ト41	3	茶道	(表紙)安政四年丁巳六月中旬 前編上下(1冊)・後編上(1冊)・同下(1冊) 晋々庵
2159		茶書	宗ト38	4	茶道	一冊に㊦「清秘録」(巻末)文政五壬午年四月十一日御被授
2160		茶湯伝書	宗ト39	3	茶道	安永6序
2161	茶湯会式秘法抄	宗ト214	6	茶道	㊦「茶具と漢参考」含章稻氏著(巻末)元禄十一年 越智正喬	
2162	(孤峯不白七十之賀)茶湯百会	宗ト7	1	茶道	一乘法不白 從天明八戊申歲七月至寛政元己酉歲三月 七十賀百会(序)	
2163	茶祖珠光伝茶系	宗ト54	1	伝記	㊦「茶祖珠光伝」延享元川上宗雪写	
2164	茶記大観	宗ト160	1	茶道	「十種香之礼」他	
2165	茶話指月集	宗ト205	1	茶道	河東故人鶴巢自序 田辺希明跋 元禄十四辛巳季孟春望日(識)	
2166	茶話指月集 附列集	宗ト75	1	茶道	乙亥之冬臘八 洗竹庵(跋)	
2167	茶道七事式	宗ト155	1	茶道	明和七年寅九月 金鈴齋写	
2168	茶道伝書(宗易、仙寿院他)	宗ト91	3	茶道	(天)茶道伝書宗易仙寿院・(地)紹利仙寿院・(人)紹利仙寿院(天末)元禄十六年文月十一日(識)	
2169	茶道全書	宗ト25	9	茶道	㊦「茶方諸事」(第4冊末)明和三丙戌孟春 泉亀嶽	
2170	茶道名器写	宗ト153	75枚	茶道	茶碗 光悦不二茶碗写(文化13写)	
2171	茶道志良川の関	宗ト194	1	茶道	茶室・茶之刻限他	
2172	茶道摘要	宗ト216	1	茶道	天保九戊戌初夏上澁 嘉永三庚戌年四月廿八日 千秋亭ヨリ備求写之 不朽庵	
2173	茶道朱紫	宗ト204	1	茶道	㊦「朱紫」	
2174	茶道正伝集	宗ト122	7	茶道	㊦「茶道正伝集極秘書」(巻末)元禄七年戌中春	
2175	茶道深秘抄	宗ト124	7	茶道	遠州流の諸書からの抜書 宝永3小堀作七郎編 宝曆6岩井田尚友写	
2176	(千氏)茶道百首二之内下	宗ト185	1	茶道	「利休百首」	
2177	茶道秘事碩	宗ト70	1	茶道		
2178	茶道竹之掣抜書	宗ト72	1	茶道	茶事逸話	
2179	茶道筌蹄	宗ト39	3	茶道	巻3までの零本	
2180	茶道習事自記	宗ト225	1	茶道	嘉永元長生軒所蔵の識語	
2181	茶道旧聞録		1	茶道	(現物なし)	
2182	茶道記	宗ト200	3	茶道	千宗旦と古田織部の茶道書を収録	
2183	茶道聞書	宗ト68	1	茶道	安永7指辰庵織尺写	
2184	茶道集覧	宗ト23	6	茶道	前篇2冊は「如心齋茶道初心集」後篇4冊は遠州流の茶書	
2185	茶道露選集	宗ト158	3	茶道	㊦「露選集」5巻 鈴木宗閑著	
2186	茶録 南都土門久重家伝書	宗ト125	8	茶道	慶長9以後代々の茶会記7冊と付録1冊	
2187	茶の会飾取合之記	宗ト71	1	茶道		
2188	茶の湯道具其他	宗ト173	1	茶道		
2189	莊	莊子因	鶴哲103	1	儒学	飯田豊台写「千鍾堂藏版」の用箋を使う
2190		莊子瑣説	鶴哲111	1		(現物なし)
2191		莊子考(郭註)	鶴哲107	3		(現物なし)
2192	菅菊	菅像弁	宗ヲ208	1	考証	安永9伊勢貞丈著 天明3空阿写
2193		菊池武朝申状	宗ル14	1	家伝	弘和4菊池武朝著「懷良親王令旨」他7編を付載
2194	菅	菅像弁	宗ル42	1	考証	2192と同書 享和3法印行智直彦写
2195		菅利家御語話	宗口333	3	語録	「伊吹物語抄書」を付載 文政12嘉定斎主人編
2196	萩華	萩廻下葉	宗978	1	隨筆	㊦「萩廻下葉」天保12写 →2223
2197		華生切方口決并釘寸法 生花古夷書	鶴花1	1	花道	㊦「生花古夷書華生切方口決并釘寸法」
2198	華	華生種之草	鶴花61	1	花道	花道秘伝書
2199		(未生自然流)華術三才之巻	鶴花70	1	花道	茶道秘伝書 自然齋滄南の奥書あり
2200		華夷交態	宗辰庚四	5	外事	

2201	萃	萃説 附萃言	鶴哲213	2	漢学	「萃説」「萃言」ともに坤巻のみ 四書その他講義録
2202		萃雅集	鶴哲283	1	漢詩	三月十六日御会とあり 添削済 詩会の記録か
2203	菅	菅家百首外歌抄	詠77	12	和歌	慶長12年祐範(識語) 弘化5 坂上康敬写→303、319、391、1040、1081、2092、2322と合帙
2204	落	落穂集	宗ル394	7	雑史	15巻 家康事蹟等 安永8 丸橋嘉宣写
2205		落穂集追加	鶴総141	5	雑史	5巻 「落穂集」統編 江戸城入城以降2204とは別筆
2206		落葉秘抄	鶴	1	雑録	「吾妻鑑」「伊勢物語」「大和物語」「源氏物語」「徒然草」抜書 天保8 森川半助写
2207		落葉の抄	宗ホ325	1	(現物なし)	
2208		落し文之写	B249/44	1	雑史	明治維新関係雑録
2209	葵	葵桂草	宗ハ5	2	歴史	日本書紀巻2・3の注釈
2210	萬	万石以上高附	宗ヲ65	5	名録	「万石以上高附」「千石以上高性名附二」「千石以下五百石以上高性名附三」並びに「御旗本分限鑑」2冊の計5冊 武家の禄高と姓名を記す
2211		万国名所記	宗ヲ260	1	漂流記	④「漂流万国名所記」 宝歴7~9 小平次以下6人の漂流とその間の見聞記 志州鳥羽の領主への報告
2212		万延元年風説集	B245/46	1	雑史	⑤「安政七万延元庚申初夏風説集」 幕末雑録 落書など
2213		万葉名所寄	宗チ56	10	和歌	万葉名所を国別に整理し、歌とともに掲げる
2214		万譜取渡之事	宗uncl	1	礼法	「九冊の書」の一 ものの受け渡しの作法→98、561、2215、2505
2215		万鏡之次第		1	礼法	「九冊の書」の二 立居振舞、物の保管等についての作法→98、561、2215、2505
2216		万象亭読書録	鶴	1	雑録	⑥「読書随抄 周易尚書」 森島中良の自筆とする添書あり
2217		万都能古保連葉	鶴史212	1	雑史	維新前夜の江戸の騒乱を扱ったもの 明治3 北原種長著
2218		万里小路家伝		1	家伝	
2219		(世寶大成)万金産業袋	D400/9	6	物産	「後編統編之略目録」付 版本の写
2220		万間書		1	雑録	天和2
2221	著	著聞集	宗ヲ	2	雑録	「起駒場勇士鑑」「北条早雲二十ヶ条」「東照宮御遺状百箇条」他
2222	萩	萩之枝折	宗ロ431	3	雑録	「萩之枝折」(5巻1冊)・「長州征代一件録」(1冊)・「三都其外珍事記」(1冊)
2223		萩廻下葉		1	音楽	「幽蘭譜」「琴左右手法図」他 「蕪葎堂/蔵印」(朱印)あり
2224	蕪	蕪葎堂琴譜	鶴楽21	1	雑録	⑦「蕪葎堂雑録抄」 一休和尚之文・沢庵和尚花見之記・瓢箪之記・徳利茶話之記
2225		蕪葎堂雑録抄	鶴総381	1	雑録	初稿一・蕪稿一・二稿1~5前・5後
2226	蒙	蒙古製来 通俗伏敵編	宗ハ134	8	実録	
2227		蒙求	詩79	1	漢学	講義録 -1964、1965、2015、2337、2348、2492、2877と一帙
2228	蒲	蒲湾載記	C243/16	1	地誌	妙楽寺他寺院に関する縁起、旧記 安政5 藤田氏 大正2 嵐鋭郎写
2229		蒲生氏卿記	宗ル317	1	伝記	⑧「蒲生氏卿記」⑨「氏卿記」 ※氏郷の誤写
2230		蒲生秀実上書並不恤緯	鶴法11	1	外交	⑩「蒲生秀実上書」(文化丁卯夏六月)「不恤緯」(秀実撰)
2231	蓬	蓬軒類紀(4巻)		1	(現物なし)	
2232	蓮	〔蓮二房口状(一名露川貫)〕	鶴歌128	1	俳諧	(巻末)卯のとし八月十二日 蓬二判 露川御房へ
2233	蕃	蕃史	鶴史201	2	外国通史	嘉永4 茫洋子序 亜当(アダム)以降近世まで
2234		蕃譚	宗ニ79	6	漂流記	⑪「蕃談」
2235	薛	薛文清公説書録抄	鶴総324/9	1	雑録	小島広厚撰 慶応元写
2236	蔭	蔭原拾集	宗ル399	8	雑録	文化14中邨翫序 中邨元恒編
2237	薩	薩州横山氏建白書写	J105/6	1	政治	鹿児島藩士族横山正太郎
2238		薩州旧伝記	宗ル401	3	雑史	⑫「旧伝集」
2239		薩州旧伝記	宗ル362	1	雑史	⑬「旧伝集」
2240		薩玩軍鑑	宗ハ185	1	雑史	嘉永元藤堂 于時享保十七壬子年正月候改之書付写也
2241		薩琉球軍談	宗ハ207	1	戦記	島津氏由緒之事他

2242	蕪	蕪物方	宗106	3	香道	㊥「烏丸光広御筆写蕪物方(後小松院御蕪物之六)」(1冊)・「蕪物重秘法録 陶器香合銘記」(1冊)・「小笠原流香記之伝」(1冊)
2243		蕪物重秘法録		1	→2242	
2244		蕪風雜誌 下	蕪総181	1	隨筆	渋川時英著
2245	蔵	蔵人補任	宗ツ146	3	補任	弘仁元~万治3 上巻末に文政4阿波介藤原以文とあり
2246		(蔵充閣月次懐紙)	蕪歌150	8	俳諧	文政7・10・11・12・13正月・13初夏・14・年月未詳の8冊 各冊体裁を異にす 蔵充閣は皆川良礎
2247	藝	芸苑卮言 附録書学部	蕪画30	1	漢籍	藤田貞正による抄出
2248	楽	薬林撰葉集	宗医18	1	医学	永禄7度会常辰編 室町末写か
2249	吉	吉野拾遺	宗口436	1	説話	天保15藤原吉備万侶写
2250	藤	藤原経房遺書	宗ル254	1	雑史	別名「経房朝臣遺文」 明治31謄写
2251		藤原長能集	蕪歌37	1	和歌	林春斎とする古筆極札を貼付 「説耕斎之家蔵」(朱印)あり
2252		藤堂家書類	宗ル468	7	家伝	「御家記」「藤堂家遠祖考」等7点の新写本 明治41謄写
2253		藤堂御系図抜書	蕪	1	系図	明治44写
2254		藤堂系図	蕪uncl	1	系図	明和4年本の写
2255		藤堂系図	宗225	1	系図	2254と同書
2256		藤堂系図	蕪	1	系図	2254と同書 明治44伊孝写
2257		藤波家伝		1	家伝	
2258		藤渠漫筆	A910/31	1	隨筆	小寺玉晃「甲子雜録」巻一所載と内題に朱書 帝国図書館本の明治45写。
2259	文	文政六癸未年四月十九日御所院番番頭佐藤美濃守殿江届書写	宗228	1	記録	文政6平田篤胤編 「再生奇談」(木口書)
2260	藤	(紀州)藤野流香之記	宗ト84	1	香道	
2261	藩	藩制	H231/3	1	法制	「午九月七日 太政官」とあり 維新政府の藩制に関する通達
2262		藩譜探要	宗ル410	6	家伝	熊本藩細川家正慶5~慶安3の事跡 弘化3平野時良写
2263		藩翰譜	宗ル293	20	系譜	
2264		藩翰譜	B940/58	11	系譜	17巻11冊 ただし18巻以下を欠く不揃本
2265	蔵	蔵園十筆	蕪総191	2	隨筆	もと10巻5冊 ただし巻1・巻9欠 いま2冊に合綴
2266	處	処方録	宗医	1	医学	薬方の書 墨付4丁
2267	蚊	蚊行詩仮名鈔	宗uncl	1	漢詩注	釈(巻末)右蚊行詩ハ慈雲大和上ノ作也 鈔者不詳ナレトモ案スルニ明堂和上ナラン歟 戒心識 明治44写
2268	蝦	蝦夷図 器服	宗ホ329	1	地誌	表紙に「瀟亭蔵」
2269		蝦夷志	本居記461	1	地誌	荒井筑後守源君美著
2270		蝦夷志	蕪地6	1	地誌	㊥「白石先生蝦夷志」 享保5源君美序
2271	蝶	蝶花集	宗ト170	1	香道	梅元軍太兵衛兼充(跋)
2272	螢	螢雪余録	蕪総380	1	雑録	「方斎林先生和漢雜話」他
2273	虫	虫しらべ	宗ヲ150	1	動物	「鈴虫作り様の事」 諸虫問屋虫屋清次郎
2274	行	行囊鈔	宗ホ165	2	地誌紀行	㊥「西遊行囊抄」 →2295
2275		行幸之次第目録	宗ル220	1	儀式	㊥「寛永行幸次第之目録」(巻末)延宝九年八月十一日写之 享保六年丑年二月六日
2276	袂	袂鑑	蕪総275	1	雑録	明治十四年六月中旬六出花庵主人識(序)
2277	袋	袋草紙	宗71	1	歌学	㊥「袋草子」(巻末)永仁四年執筆中臣在判 観応三年執筆長政
2278	装	装束問答覚書	H240/8	1	装束	日曙之事・装束色々着返事他
2279		装束図彙上・下	H240/5	1	装束	
2280		装束図式考異	H240/4	2	装束	冠・袍他
2281		装束并烏帽子懸等之事	H240/9	1	装束	榊原源八郎 水干之地并色相之事他
2282		装束集成	宗ツ172	10	装束	冠・束帯 剣并刀他
2283	襖	襖鈔	蕪総230	1	漢籍	「五色録」(宋撰人欠)・「西使記」(元、劉郁)・「養痾漫筆」(宋、趙潛)他
2284		襖集瑣録	宗167	1	雑録	表紙に「文政丙戌」
2285	西	西城降誕録	宗ヲ123	2	伝記	將軍家治の誕生記
2286		西山謄筆	蕪総259	1	隨筆	「寛政三年六月十一日吹上御庭相撲上覧」他
2287		西山遺事	宗口297	5	伝記	富田清貞序 元禄14跋 宝永七年庚寅十二月六日(識)
2288		西山遺事	宗口147	4	伝記	上之一・上之二・上之三・下
2289		西征日記	宗ヲ188	1	記録	是歳孟秋友人成島司直序 杉本良仲温著
2290		西方要記	蕪総68/14	1	地誌	西洋事情 南懷仁著 天保元浅田惟常の奥書あり その転写か

2291	西	西洞院家伝		5	家伝	西洞院・交野・石井・長谷・平松家
2292		西洞院時慶御記抜萃	宗ル212	1	日記	㊤「肥前国嶋原一揆事書」時慶御記より「天草乱」の部分だけ抜粋
2293		西清詩話		1		(現物なし)
2294		西行上人談抄	本居技819	1	歌学	蓮阿自筆本を写した大槻某の写本に拠って明和2写
2295		西遊行囊抄	宗ホ165	2		→2274
2296		西遊雜記	宗ホ210	7	紀行	7巻7冊 序に家屋浸水の被害にあい、残った部分を写して7巻にしたとあり
2297	要	(常時珍説)要秘録	宗ル491	1	雜録	將軍、大名など武家に関する記事や年中行事事実など 寛政10写
2298		要篋弁志	宗ル231	4	武家故実	幕府年中行事・故実・典礼の記録など4巻4冊
2299		要篋弁志	宗ル103	3	武家故実	2297と内容の配列など異同あり 3巻3冊
2300		要篋弁志年中行事	宗ル291	4	武家故実	2297、2298とは別本 文化9の序 文化8の跋をもつ 4巻4冊
2301		要門拾粹	鶴法4	1	兵法	文禄3直江兼統自序を有する写本 兵法用語と解説
2302	見	見聞諸家紋	B987/1	1	紋章	諸家の紋を集めたもの 天文8佐々木秀勝編
2303		見聞隨筆	宗口368	3	雜録	越後高田藩に伝わる徳行・武勇など 宝暦7閑松軒霞雲自序 同年高田九華山人川口直英跋
2304		見聞集	鶴理60	1	雜録	㊤「(新古)見聞聚」巻3〜5鳥の部と料理部のみ
2305		見聞集	鶴総195	1	雜録	漢学のノートほか 嘉永3葉齋山人編
2306		見きくま	宗口412	2	隨筆	稲垣休叟茶話 文政3竹画跋
2307	規	規則摘要	J220/17	1	法令	㊤「月俸規則其他局中例規類纂」 官員給与その他勤務上の規則の集成 明治7〜11頃
2308	視	視聽雜記	鶴総7	1	雜録	種々のものの製法・本の値段・藩蔵板書・その他しめみぬき・料理方・応急手当など 幕末
2309	親	親鸞聖人御一代記	宗ソ58	1	伝記	親鸞伝記 寛政5写 「本願寺聖人親鸞絵伝」を下敷にしたものか
2310	覺	覚悟之事 伊勢備後守貞明	宗へ308	1	武家故実	寛政8伊勢万助貞春写
2311	觀	觀原天周之巻	鶴哲533	1	相法	山幡流人相秘伝書 文政7 武内嘖の口述の筆録 山幡三郎更賢後書あり
2312		(観音来由等)	宗ソ243	3	寺社	㊤㊤なし 仮に「略縁起集」とす 江戸の諸寺社縁起に「飛鳥山詩歌」「箕田園記」を付す 文化7円雉園編
2313	觀	觀鸞百譚	鶴画29	3	書道	㊤「觀鸞百談」享保10序 享保19広沢主人知慎 天明元辛丑笹作正香写
2314	解	解頤自然助飯名弁	宗テ42	4	語学	賀茂義氏著 宝暦12義氏序 巻上・中・下・ツ、カナ之巻
2315	訂	訂斎先生雜記	鶴哲205	1	漢学	「補伝口義」他 (巻末) 延享改元年五月廿一日久米順利識
2316	訓	訓点考	鶴語64	1	漢学	㊤「点訓考草稿」 堀秀成章著
2317	記	記事録	宗ヲ34	3	雜録	「道学先生より問書」 和歌他
2318	訥	訥堂雜纂	鶴	1	雜録	㊤「葵堂雜纂第一号」 「雪夜清話」「滑川八郎建言」他
2319	詞	詞の重浪	宗ヲ65	10	語学	㊤「詞のしき波」
2320	詠	詠歌之大概	詠78	2	和歌	問書 →1861、2321、2509、2875、2876
2321		詠歌入学抄	詠78	1	和歌	嘉永4年2月伊庭秀賢述 →1861、2320、2509、2875、2876
2322		詠百首和歌	詠77	1	和歌	平賢兼(加賀前司)詠 →303、319、391、1040、1081、2092、2203と合帙
2323		詠草 文禄至天保	詠73	27	和歌	実条(天和九 愚詠草) 慶長8 享保4 「道堅法師自歌合」(永禄十二月通勝)
2324		詠草 雜	詠72	26	和歌	「初秋風」(敬明詠) 「岸藤」(雅言詠) 「梅香」(植基詠) 他
2325		詠草	鶴歌8/2	1	和歌	文久6歳九月十九日他 詠草
2326		詠草扣	鶴歌173	1	和歌	「立巻」以下部立 詠者不明
2327	詩	詩学集	鶴uncl	1	漢詩	「歳旦」他 山田申之助、吉村直三郎隆改 伊藤友端他
2328		詩文集	鶴	1	漢詩	三浦安貞詠 「静好斎蔵」の原稿用箋
2329		詩家春秋	鶴総278/1	1		→1310
2330		詩文稿	鶴	4	漢詩	天保十四年二月(巻初) 「名所百首」(文政4) 収録
2331		詩文集	鶴	2	漢詩文	巻2・3のみ 「大明湯來賀撰寿文」他
2332		(詩文雜録)	鶴詩文1499	1	雜録	㊤㊤なし 「関里換骨」「楠公墓碑」他

2333	詩	詩歌集	鶺歌166	1	雜録	㊦「詩歌集」和歌、漢詩(文政2年他)
2334		詩稿	鶺	3	漢詩	「石川丈山翁百五十回追福」他 「五言絶句草稿」他 辛未元旦試筆(明治4か)
2335		詩篇	J 1977/1	1	(現物なし)	
2336		詩經朱子集伝私解	鶺哲126	1	儒学	㊦「詩經私解」
2337		詩經筆記	詠79	8	儒学	講義録 →1964、1965、2015、2227、2348、2492、2877と一帙
2338		詩經講義	鶺哲125	7	儒学	明治26中村喜寧著 稿本 自序の版下を添え「彫刻家八名エヲ撰抜ヲ望ム」とあり
2339		詩經集説	鶺哲127	1	儒学	龍山堂蔵本とあり
2340		詩草	鶺	3	漢詩	和歌山県土族栗生鎗吾の詩草
2341		詩藻	鶺	1	雜記帖	
2342	説	説弘難波録 北倭紀事	宗ロ476	5	実録	㊦「俱婁尊仏未来記正誤再説説弘難波録附北倭紀事」
2343	誌	誌記戦場之巻	宗ハ140	3	軍記	㊦「誌記増語戦場巻」上田合戦から関ヶ原合戦まで 戦ヶ原の軍記か
2344	誠論	誠齋先生易伝	鶺哲11	7	漢籍	
2345		論孟考文	鶺哲405	1	儒学	猪飼敬所著
2346		論語小講	鶺哲399	2	儒学	文政11関五龍著 自筆
2347		論語小講		1	→2346	
2348		論語序説	詠79	1	儒学	講義録 →1964、1965、2015、2227、2337、2492、2877と一帙
2349		論語徴	鶺哲401	10	儒学	(現物なし)
2350		論語欄外笈	鶺哲404	1	儒学	一斎居士稿本
2351		論語欄外笈	鶺哲403	1	儒学	巖垣龍溪著自筆稿本
2352		論語集解標記	鶺哲394	1	有職故実	
2353	調談	調度懸之記	宗	1		
2354		談海	宗ル195	27	伝記	慶長10~寛文13の徳川秀忠の事蹟を年次を追って記す
2355		談海記抜笈	宗ル115	1	伝記	2354の抜笈
2356	諦	諦了院様御家督後被仰出候御自筆之写	鶺史114	1	文書	明和2成
2357	諸	諸佛通坎第			寺院	玄深写 →35、257、1692、2008、2391、2567と合
2358		諸加持秘伝	宗	1	仏教	病者、疫病の加持法を説く
2359		諸國之煩	鶺文45	1	雜記	㊦「乱人直伝一橋笈」狂歌他
2360		諸國海港道路行程	宗ホ188	1	交通	經濟問答秘録抜笈(巻首)
2361		諸國道中道法附	宗ホ110	1	交通	㊦「諸國御城下并御在所道法付」 明治17写 松井範春
2362		諸城攻守	宗ル87	3	城郭	山城京二条之御城~対馬府中 天和元 水象軒跋
2363		諸大名京都屋鋪附并ニ御旗本衆御代官倍臣屋敷付	宗ヲ259	1	地理	
2364		諸家伝	宗ル102	16	家伝	近衛・九条・二条・一条・鷹司家(巻一)他
2365		諸名家物記	宗ト36	4	物産	(巻末)享保甲寅夏六月下旬 享和2雪庵茂閑写
2366		諸名家物記 千家名物記	M710/5	1	物産	文久3江戸太田根本写 京浅井写之有
2367		諸家深秘録	宗ロ407	10	雜史	
2368		諸家系図	B982/15	1	系譜	大原二十代綱義撰(巻末朱)京都嵐峯郎採集本大正三年九月写
2369		諸家系図纂要大全	宗ル210	5	系譜	天神地祇神系図、神皇正統図
2370		諸家興亡記	宗76	6	雜史	長沢上野介康忠他
2371		諸家要秘録	宗ロ70	1	隨筆	「鳥丸光広卿和歌の事」他
2372		諸家記	宗ル161	22	諸家	㊦「武家大系譜」平逸民書
2373		諸寺院社家由緒宝物記	宗ヲ277	1	寺院	㊦元録十四辛巳年十月日
2374		諸州採薬図草木写生	宗ヲ37	1	植物	
2375		諸州採薬記 奇跡録	宗222	1	医学	㊦「諸州採薬記抄録」(巻末)右宝暦五子年植村政勝
2376		諸州採薬記抄録	宗医27	1	医学	㊦「採薬記抄録」(巻末)元文五吉村公江奉献 宝暦五家重公江奉献植村政勝 弘化4写
2377		諸役代々記	B972/4	14	法制	御老中 御側御用人 若年寄他
2378		諸方会附	宗ト231	1	茶道	天明4年9月23日の茶会記他
2379		諸猷立類聚	宗	1	料理	桂宮日々御猷立他
2380		諸社根元記	宗レ6	3	縁起	宝暦十一歳次辛巳八月仲二日書成 讃岐守從五位下服部宗美書写之
2381		諸礼法式	宗229	3	儀式	(巻末)此書尚祐家伝之抜書也云々
2382		諸行軍備之節	宗ル473	1	記録	將軍関兵の細部を指示した書 安政2成立 岩村昌之助画 →2386と同

2383	諸	諸草木養方伝書 石州流挿花初伝	鵜花50	1	花道	家元八世一瓢庵奥書、印あり
2384		諸草木養方秘書 石州流挿花中伝	鵜花48	1	花道	家元八代目一瓢庵奥書、印あり
2385		諸華百瓶之図	鵜花40	1	花道	種々の生け花の図
2386		諸行軍備之節			→2382	
2387		諸願書及統計書類集書抜(史談会採集史料)	J 320/27	1	史料	カードに合2冊とあるが1冊しかない 明治45東京帝大所蔵本より写 三井家編纂室
2388		諸食物能毒の弁	宗医	1	医学	いろいろな食物のもつ薬用効果と毒について
2389	讀	読十八史略	鵜史165	1	漢学	㊦に全とあるが上巻のみ 十八史略の注解 西島校佐稿本とあり
2390	護	護国女太平記	宗99	1	東	実録
2391		護摩		1	寺院	大師御作 玄深写 →35、257、1692、2008、2357、2567と合
2392	讀	読史摘要	鵜	1	漢籍	漢籍抜書「通鑑要要」「綱鑑易知録」
2393		読史臆断	鵜史160	2	歴史	唐及び五代史について 平山子龍の注釈
2394		読史余論	宗ロ44	9	史論	3巻9冊
2395		読呂氏春秋	鵜哲294	1	漢学	㊦「徂来(ママ)山人外集巻八」
2396		読孔子家語	鵜哲288	1	漢学	自問礼至好生
2397		読書徑要	鵜語99	1	漢学	「塩鉄論」「中唐」「礼記」「家語」などからの抜書、単語、名前のおぼえ 山田椿庭自筆とあり
2398		読書矩 初学課業次第	鵜哲292	1	漢学	2冊合写 ともに漢籍学習法を示す 「読書矩」は文化12のもの写
2399		読書矩 白鹿洞書院掲示	鵜哲293	1	漢学	2冊合写 「読書矩」は天保元の改訂後のもの写
2400		読書矩	鵜哲291	1	漢学	「読書矩」末尾を欠く 三島毅遠写
2401		読書類抄	鵜哲269	1	漢学	漢籍抜書
2402		読書余塵録	鵜史166	4	漢学	其一漢籍雜書・其三同・其四史記、歴史綱鑑、世説・其五國史略 其二欠 其五以外は漢籍よりの抜書
2403		読莊子	鵜哲289	2	漢学	莊子注釈
2404		読趙翼廿二史劄記	鵜総70/4/2	1	→386	
2405		読通書	鵜哲270	1	儒学	「通書」の注釈
2406		読韓非子	鵜哲287	4	儒学	㊦「読韓非」 荻生徂徠著
2407	變	変成男子之記	宗ル117	3	仏教	㊦「(鬼子母神御利生) 変生男子」 畑銀鷄著自筆
2408	豆	豆州七島記	宗ホ529	1	地誌	
2409	豊	豊公御葬式列書	宗ロ108	1	葬祭	大正2森大狂編 豊公は長野豊山
2410		豊山先生遺稿	L 311/12	1	漢詩文	長野豊山の文集 大正2森大狂編
2411		豊後国風土記	宗ホ392	1	地誌	
2412		豊明節会 和歌作者之事	詠2	13	通	文書 標題のもののほか、佐竹淡路宛光聚院書簡 18通・能順発句何路連歌等一括 秀吉に関する記事抜書
2413		豊臣記翁草抜萃	宗ハ190	1	隨筆	
2414		豊臣秀吉公御葬式記	B 940/T 23	1	葬祭	
2415	象	象胥記聞	鵜法85	1	外国地誌	寛政6 山田士信著 朝鮮の制度風俗等を録す 著者は対馬藩通事
2416		(讚州)象頭山御靈験記	宗ソ514	4	神社	寛政6 浪華馬祥序 文化5 山川彦彦跋 上中下3巻に追加1巻を添える
2417	豫	予州祀先聖及二先生祭文	鵜哲359	1	葬祭	延享4 川田資深著 中江藤樹ほか2先生を祭るの文
2418	貞	貞和六年具注暦日	宗ツ53	1	日記	㊦「後野宮内府公清公記」 貞和6 正月～3月
2419		貞和四年伝法灌頂記	鵜哲456	1	仏教	㊦「貞和記」 貞和4 文海著 同年11月醍醐釈迦院で行われた伝法灌頂の記録
2420		貞興返答	宗	1	有職故実	元龜3 伊勢貞興著
2421		貞要集	宗ト27	5	茶道	貞置流の茶道書 嘉永5 不爭写
2422		貞観政要	宗	9	政治	仮名書 大形本 近世極初写か 巻10欠 巻3まで声点あり
2423		貞軒叢書第二篇	鵜総335	1	雜録	明治32
2424	貢	貢献録	宗ロ87	1	外交	㊦「和漢対応」 朝鮮・琉球・阿闍陀等との交接の記事集成
2425	賀	賀垂丸詠草(寛永年中)	詠74	17	通	和歌 郭公他詠草 寛永七年四月十八日
2426		賀新臨行即	宗レ		典禮儀式	㊦「賀茂祭行列/新嘗祭儀/石清水臨時祭次第/同所参向行列/賀茂臨時祭次第/同所参向行列/行幸行啓御列書/御即位次第」 →2429と同
2427		賀茂季感鹿嶋紀行	宗ホ454	1	紀行	明治28小沢醉園写
2428		(賀茂注進雜記)	宗レ48	2	神社	㊦「注進雜記」(巻末) 右諸国御神領之旧記 云々 延宝八年三月廿二日 賀茂社家中上
2429		賀茂祭行列他	宗レ	1	→2426	

2430	賀	賀茂祭部類	宗ホ193	3	祭祀	古記録から賀茂祭資料を集成
2431		賀茂祭部類記	宗ツ168	2	祭祀	
2432		賀茂登記	宗ハ189	1	雑史	
2433	資	資季卿記 仁治三年三月	宗ツ37	1	日記	
2434		資定卿記	宗ツ152	4	日記	大永4～天正元 ㊟寛文二年 亜槐三品源(花押)
2435	賈	亮茶翁茶器図	宗ト199	1	茶道	文政癸未陽月浪華石居木孔陽識
2436	賑	賑ひ草	宗ロ59	4	隨筆	
2437	賢	賢己集	鷺総193	1	雑録	小朝拝・吳竹・承明門・剣・京・大津絵他
2438	賢	賢談	鷺総68/15	1	政治	辛未至日前二日 七十六老人南園乘(明治か)
2439	購	購典録	鷺総28	1	図書	㊟「吐法集成」(表紙)天保十四季癸卯天保14、弘化2年 書籍名と代金
2440	赤	赤城義士編参考	宗ロ43	13	実録	寛政壬子春二月 静坐百七十翁吐口誌(自跋)
2441		赤城義臣伝	鷺史247	6	雑史	㊟「義臣伝」享保4序 片島深淵子編
2442		赤穂義士母状留	鷺史249	1	書簡	
2443		赤穂義士観	J3374	1		(現物なし)
2444		赤穂義臣対話	宗ロ416	1	実録	表紙に「堀内伝右衛門覚書」
2445		赤穂記堀部安兵衛自筆之状	鷺	1	書簡	
2446	起	起草稿	鷺総157	1	雑録	(表紙)廿三年一月第壹巻「起草稿」廿三年五月八日第貳巻
2447	越	越前古城跡旧記	鷺総81/2	1	城郭	享保五庚子 文政九丙戌年八月中旬 毛持武寿所持 →2459と合綴
2448		越前国司記	鷺総84	1	系譜	(表紙)天保十一子秋本庄政房写
2449		越前国名勝志	鷺総87	2	地誌	元文歳次 春庵平泉時 竹内寿庵著
2450		越前家系図	宗ル469	2	系譜	矢野勝理写
2451		(越前往来)	鷺総89	1	地誌	㊟「越前社寺名蹟方角抄」巻末に「越前往来終」とあり 越前の寺社に関する記事を諸書から抜粋 文化7中山豊郊述
2452		越州年譜	鷺史275	2	地方史	上杉謙信、景虎景勝の事蹟ほか
2453		越後名寄	宗ホ487	20	地誌	越後国の事物を分類考証 宝歴6丸山元純著 長岡藩池守包荒写
2454		越後名寄	宗ホ480	2	地誌	2453の第1～7のはじめまでを収録
2455		越後国内輪弓箭	宗ロ477	1	戦記	問書、書状等により永正～天和頃迄の戦記諸記録
2456		越後騒動記	宗ロ402	10	記録	㊟「越後騒動(ママ)日記」寛文5越後高田の地震から延宝9まで
2457		越後騒動記	宗ロ484	3	実録	㊟「越後騒動根元記」越後高田藩松平家騒動一件
2458		越藩編年大成巻之一	鷺総78	1	藩史	㊟「越藩編年舛舛」天正2～慶長12の福井藩編年史 源恭次
2459		越叟夜話	鷺総81/1	1	隨筆	(巻末)享保8 →2447と合
2460		越叟夜話	宗ロ239	1	伝記	越前福井藩藩祖秀康の伝記ほか、忠真、忠昌、光長のことを問答体にする 宝暦6写 有時庵柳昌編 寛政8仲秋風廬序 一如十七回忌追善 →1196、2523と合綴
2461		(追善)越路之手向	鷺歌67/3	1	俳諧	
2462		越路かがみ	宗ロ437	3	実録	㊟「(正邪)越路かがみ」加賀騒動
2463		越雑記	鷺総82	1	雑録	2巻1冊 越前関係雑録 嘉永7写か「おあん物語」1巻がはさまれている
2464	足	足利將軍御内書并奉書留	宗279	1	記録	史料編纂所本により大正元写
2465	改	改訂足利系図	宗ヲ197	1	系図	足利常尊(寛文11没)まで
2466	足	足袋之考	鷺総274	1	服飾	足袋に関する故実 天保13松岡重三郎著
2467	身	身延中山両流御符抄	宗87	1	仏教	㊟「御符巻」護符 文政5 表紙裏に「加州大鳳栄山本光寺涌出未弟泰琢日調花押」
2468	膳	膳方日用集 近臣之巻	宗	1	礼法	㊟「近臣之巻 日用集 三冊之内下」上中欠 田中節蔵・田中昇・市川熊男・小林太郎次共編
2469	軍	軍用図式	鷺史675	1	武具	武具の図 明治2写
2470		軍用記 伊勢家	宗へ80	4	武家故実	武具・兵事に関する故実 伊勢貞丈著 天保5岩波延後写
2471	軸	軸飾巻	宗ト176	1	礼法	㊟「軸飾之」軸飾の作法
2472	輜	輜軒小録		1	隨筆	
2473		輜軒小録		1	隨筆	㊟「東涯先生輜軒小録」文政5 竹岡松園写
2474		輜軒小録	ル428	2	隨筆	㊟「東涯伊藤長胤隨筆 天明八申年八月書培遠堂蔵書」
2475	辨	弁舟式拾篇	鷺哲210	1	教育	「文化十二年亥九月廿五日学習館御試弁舟一条」天保15
2476		弁道	鷺哲317	1	漢学	物茂卿著 享保2跋
2477	迂	迂齋先生学話附録	鷺哲198	1	漢学	巻12・13
2478	近	近世名家文抄	鷺	1	漢学	「封建論」(古賀煜)他
2479		近世名家著述一覧	鷺総16	1	書目	古賀精里、柴野栗山他の著作

2480	近	近世志士遺書	宗レ77	1	記録	明治11小出惟知書「桜田志士遺書」他
2481		近世文学年表	鷗史532	1	年表	年代別出版書文学者消息
2482		近世江都著聞集	宗口325	6	隨筆	宝曆7馬文耕序 弘化三年丙午六月写之原所蔵(巻末)
2483		近世著聞集	宗口136	5	隨筆	
2484		近代公実叢秘録	宗口285	2	隨筆	
2485		近代公実叢秘録	宗口175	5	隨筆	嘉永7写
2486		近代公秘録	宗口31	3	隨筆	
2487		近代城主記	宗ヲ171	1	雜史	(一)山城・二条・淀 (二)大和・郡山・高取～(十七)常陸水戸
2488		近代年中行事細記	宗ツ25	1	年中行事	從四位上行豊前守賀茂県主清達(花押)
2489		近代正説碎玉話	宗口64		雜史	淡庵子編
2490		近代諸城主次第	宗ル216	2	雜史	天正18～万治元
2491		近古隨筆 名家稿	鷗総170	1	雜録	「水天宮考」(小中村清炬)他
2492		近思録	詠79	1	漢字	→1964、1965、2015、2227、2337、2348、2877と一帙
2493		近思録欄外書	鷗哲48	3	漢学	一斎居士稿本
2494		近江八幡町記	C243/3	1	地誌	㊦「八幡町土地之記」(巻末朱)右安政二年丙辰三月以奥村徳義本写之 要齋
2495		近藤重蔵		1		(現物なし)
2496		近衛家伝		7	家伝	近衛・九条・鷹司・二条・一条・醍醐・土佐一条家
2497	述	述志小言	鷗哲490	1	雜記	
2498	追	追難図并考	宗ル332	1	儀式	文化八年正月書写畢 窪田勝榮 嘉永七甲寅夏十三日 渋谷齋行
2499	退	退省漫録	宗ヲ215	1	雜録	㊦「拾葉」宝曆9「此度衣服御改の仰付候云々」「新吉原類焼年譜」他
2500		退閑雜記	宗口146	10	隨筆	第4巻～第13巻存
2501	造	造邦賢勲録	宗口229	3	隨筆	㊦「智囊」
2502	速	速水氏系図	宗267	1	系譜	(巻末朱)原本滋賀県蒲生郡市原村字甲津島速水定右衛門所蔵 明治45写
2503		速水氏系図	B982/19	1	系譜	明治29まで
2504	途	途中日記	鷗地75	1	紀行	表紙に「下条治」
2505	通	通之次第	宗 uncl	1	礼法	表紙に「九冊之書通之次第三」→98、561、2214、2215
2506		通語	B230/55	2	通史	表紙に「通語河野店村自写」「杏花郵舎」の箋 天保甲午初冬杏花郵舎主人逸手写
2507		通議	鷗法58	3	政治	頼山陽著 穀堂古賀先生評
2508		通鑑紳二	鷗語97	1	漢学	
2509	連	連歌新式外歌書	詠78	9	連歌	㊦「連歌新式和歌篇」→1861、2320、2321、2875、2876と同帙
2510		連阿法師木曾路之記	宗ル476	1	紀行	天明六丙午秋九月十八日書於灯下(巻末)
2511	逸	逸史俗談	宗ハ165	12	通史	佐々木愛甫訳
2512	遊	遊松島記	L311/63	1	紀行	紀徳民著 ㊦「遊松嶋記付録詩」「大槻磐溪松島詩」「南山外集付録」他
2513		遊藝臈記	宗ホ131	9	紀行	文化13信齋大郷良則序
2514		拓雜山作	拓雜202	1	枚	(現物なし)
2515	道	(道中記(自箱根至西蝦夷))	C270/13	1	紀行	㊦「口演」万延元歳庚申六月中旬 羽州大泉 善太郎 順証
2516		道中雑々の記	鷗地63	1	紀行	(表紙)「元治元甲子年九月吉日 松風軒一朝」
2517		道二翁道話二篇	鷗哲508	2	心学	八宮齋編
2518		道奄隨筆	宗ト16	3	隨筆	㊦「台記 山科道安隨筆」
2519		道学標的講義筆記	鷗哲204	1	心学	㊦「奥平道学標的筆記」㊦「奥平先生道学標的」 嘉永五子四月写之服部蔵書
2520		(道歌集)	鷗総324/23	1	道歌	㊦「古歌」寛政五癸丑初春卯井正宣序 慶応元乙丑歳閏五月日
2521		道程一統志	宗ホ225	13	地誌	五畿内・東海道上中下・東山道上中下・西海道乾坤・南海道・山陽道・山陰道・北陸道
2522		道齋譚話	宗口199	8	雜史	家康などの人々の逸話集 初編4冊 後編4冊は㊦「統道齋譚話」
2523		(俳諧)道の恩	鷗歌67/1	1	俳諧	寛政4年10月時雨庵祐阿序 芭蕉百回忌法席歌仙ほか →1196・2461と合綴
2524		道の花集	鷗歌82	3	俳諧	外題下に元・亨・利とあり 亨・利は㊦「道の花集附録二(三)」
2525		道の記	宗ホ446	1	紀行	端本
2526	達	達齋筆記	鷗総273	1	雜抄	漢籍類の雑多な抄録 表紙右肩に「明治十二年五月標目成」
2527	運	運気之図	宗庚	1	兵学	挿絵入り 書写年次不明
2528	遠	遠州流中伝	鷗花26	3	花道	㊦弘化三年七月遠家十一世末流栄齋友一花

2529	遼	遼州流秘伝図式	鶯花25	1	花道	㊦栄松庵一涪社中宵柳庵一夫
2530		遼州流秘伝書 岸の松 切紙	宗ト34	3	花道	題簽右肩に「遼州流秘伝書」と小書して、岸の松・切紙・住の江とあり 岸の松・住の江は㊦天保5
2531		遼州流茶湯伝書	宗ト21	3	茶道	㊦「遼州流茶湯秘伝書」
2532		遼州浜松騒動一件	宗ロ335	1	記録	外題右肩に「弘化三丙午年閏五月写」とあり 水野越前所替一件
2533		遼州高天神城主始末記	宗ハ194	1	記録	㊦「遼州高天神ノ小笠原与八郎ガ始末附武田晴信遠参働キ其子勝頼度々遼州ニ出陣」巻1のみの端本 ㊦文化五年閏六月十一日写
2534		遼江国風土記伝	宗ホ101	1	地誌	2534の完本 内山真龍編
2535	遼	遼江国風土記伝	宗ホ175	13	地誌	幕末の街談巻説の書留
2536	遼	適の落穂	宗ル256	3	記録	45、48、1315と合 次項とは別本
2537	遼	遼老物語	宗ロ40	19	雑録	備前老人物語・三河物語等の諸書の抄録
2537	遼	遼老物語	宗ロ40	20	雑録	備前老人物語・三河物語等の諸書の抄録
2538	遼	遼訓正花論	鶯歌172	1	俳論	㊦文化七年十二月堀一坊写
2539	邪	邪蘇征罰記	宗ロ438	2	雑史	島原の乱一件
2540	郡	郡名字訓考	鶯総252/2	1	戦記	諸国の郡名の考証 -987と合綴
2541	郡	郡国城塙記	J410/3	1	城郭	向山誠斎「丁未雜記の三、大正2写 「諸国城地陣屋記」と同一内容
2542	部	郡宰格記 加州	宗ニ30	1	法制	加賀藩 諸届用式とその実際
2543	部	部類記	宗ツ112	2	儀式	下巻は「二水記」「妙槐記」「山槐記」からの抜抄
2544	都	都乃錦	宗ヲ91	2	見聞	明治9の博覧會見字記 明治18冬藤章奥書
2545	都	都流の毛衣	宗ロ42	13	雑史	25巻 自序あり
2546	都	都能保梨酒爾瓊	鶯地116	1	紀行	奥書「安政六年むつき廿三日佐藤仲甫藤原相和かします」 京都への旅行記
2547	醒	(醒梅子紀行)	鶯地61	1	紀行	寛文十二壬子卯月四日醒梅子 →818と合綴
2548	醒	醒醒記談書抜	鶯総269	1	雑録	安政7北条義質が抜書きしたもの 説話・美談・教訓
2549	釋	釈奠儀註	鶯哲235	1	儀式	文久4 東方履天沢甫写 附「祠堂式及通礼微考」(宝歴7 山熊熊写本の転写)
2550	里	釈氏往來	K712/3	1	往來	寛政元写本の天明2写 僧の消息文を編集
2551	里	里見家分限帳	宗ヲ277	1	経済	㊦「里見安房守義安公 御家中知行并寺社領 村付覚」 慶長15の家臣の知行 享保14写本に拠って転写
2552	野	(野史)	鶯史287	2	伝記	㊦「孝子列伝」 巻87・88のみ存 巻87は孝子列伝1〜2、巻88孝子列伝3・義勇列伝1〜2を所収
2553		(和歌和文)野江問答	鶯歌42/2	1	歌学	野江問答43ヶ条(日野弘資御答、大江氏之間)と野坂問答43ヶ条(日野弘資御答、坂上宗永問答)に分る 享保2 草庵医眞書写奥書有 →2556に同
2554		野客叢書鈔録	鶯総334	1	漢学	未の玉樞「野客叢書」の抄録 狩谷掖斎後書あり 慶応3転写
2555		野常太平記	宗ロ201	3	記録	いわゆる天狗党の乱(元治元 於筑波山)の記録 慶応元年頃成立
2556		野江問答	鶯歌42/1	1	→2553	
2557	金	野遊の駕	鶯歌74/1	1	俳諧	→1827と合
2558	金	金光山永明寺釋迦牟尼畧縁起 草稿	宗ニ62	1	仏教	略縁起 「享和二年壬戌春二月仏涅盤日永源第一座喬山元案拜書仏弟子了秀謹写」 その転写か
2559		金剛般若波羅蜜經	K620/200	1	經典	㊦「金剛般若經 六祖大師解義全」 慧能の解義
2560		(金地院由緒略記)	宗	1	寺社	㊦「東照宮御遺命金地院由緒略記」㊦「御由緒略記之抜萃」
2561		金城録	宗ヲ165	1	名録	天保7 林甚助編(但し天保10、12の両度訂正済とあり) いろは順武士の名鑑付石高
2562		金毘羅詣道の記下書	宗ホ312	2	紀行	文政元江戸出立 越前、京等巡遊し、金毘羅詣をした際の紀行
2563		金沢由來	宗ニ32	1	雑録	㊦「金沢或言尾山又御山共」金沢城下雑録
2564		金玉詞林集	宗ルo-temp	2	雑記	
2565		金蘭簿	鶯史321	1	名録	信陽の下条英の友人の名簿 文政5 自序
2566		金言録	鶯総99	1	雑史	戦国近世初期の人々の逸話集 天保9 写
2567		金輪王仏頂畧念誦法		1	仏教	玄深写 →35、257、1292、2008、2357、2391と合
2568	鈞	鈞船物語	宗ロ112	3	外交	
2569	釜	釜戸浴湯日記	鶯地26	1	紀行文	安永2 惺寅著
2570	鉛	鉛断録	鶯画467	1	書道	玉江著 ㊦此書予先生戯之染筆在之所也 安永9年正月綠江
2571	鑛	鑛道会社設立并鑛道敷設願	D510/26	1	交通	明治21 三重県安濃津より山田に至る鉄道

2572	銀	銀台遺事	宗ロ159	4	伝記	
2573	錦	錦城先生大田才佐墓表	鶴史291	1	墓碑	㊤「錦城先生墓表」 藤田幽谷撰
2574		錦小路家伝		1	家伝	
2575		錦川志	鶴地39	2	地誌	周防岩國の地誌、文久壬戌重陽後三日宵門居士長爾序
2576	鍋	鍋島直茂公御年譜	宗ロ472	10	伝記	㊤「直茂公御年譜」
2577		鍋島勝茂公御年譜		10	伝記	㊤「勝茂公御年譜」
2578	鎌	鎌倉将軍家譜	宗ル19	1	伝記	頼朝から守邦親王に至る鎌倉将軍年譜 寛永18林道春
2579		鎌倉将軍家譜				→2578
2580		(鎌倉紀行附詠草)	鶴文42	1	紀行	㊤「詠草」 ㊤弘化二年三月二十日みなもとためきよ
2581		鎌倉見聞志	宗ロ397	24	雑史	㊤「湘史」 安永3 上田東雲序 頼朝開幕から三浦合戦あたりまでの読物風通史
2582	鏡	鏡着初之事	宗	1	有職	明和2 伊勢貞丈識語
2583	鏡	鎮征軍記書抜	宗ロ160	5	実録	いわゆる毛谷村六助伝
2584	長	長久手軍記	宗ハ188	1	雑史	㊤享保三年二月中旬石黒親清
2585		長家代々記	宗ニ33	1	家伝	能登の土豪長氏の中世初頭から近世初頭にかけての歴史
2586		長祿四年記	宗ニ73	1	記録	㊤明治45年6月史料編集掛蔵本を以て写す上と同じ識語の次に未で「大正元年八月十七日右写専嵐伊孝」
2587		長祿四年記	鶴	1	記録	㊤明治45年6月史料編集掛蔵本を以て写す上と同じ識語の次に未で「大正元年八月十七日右写専嵐伊孝」
2588	開	開先正名	本居総177	1冊	国学	享保3度会忠知の序 秦信慶編 開板用草稿か →1950と一帙
2589		開帳花くらべ	鶴哲590	1	評判	安永2 似笑著 転写本
2590		開飲酒序	鶴総324/19	1	漢文隨筆	安永2 常足道人佚山著 飲酒のすすめ 文久2 牧野康済書
2591	間	間窓叢話	宗ル416	3	隨筆	㊤巻一のみ「閑窓叢話」 武家にかんする逸話
2592		間裁居漫筆	鶴総370	2	雑録	種々の書からの抜書き 明治6以降のもの
2593	閑	閑居漫抄	鶴哲488	1	政治	河合榮著 天保5 波古堂主人(著者)跋 「社会勸諭」(文政2 版本の写)を付す
2594		閑窓倭筆	宗ソ124	2	隨筆	
2595		閑窓隨筆	鶴総154	1	隨筆	奥村安民著 和歌、詩
2596		閑散余録	宗ヲ210	1	隨筆	儒者の事蹟 天明2 版本の写
2597		閑距余筆	鶴哲591	1	隨筆	中井積善著
2598		閑齋雜記	宗ロ320	4	隨筆	黒川春村編 天保10以降
2599	閑	閑史日鈔	鶴史17	1	漢字	語彙 讀義録
2600	閑	閑巷往來	K713/22	1	往来	慶応3 写
2601	閑	(追善)閑晴集	鶴歌81/1	1	俳諧	北越小國相山亭二扇編 文政7跋→451と合写
2602	閑	閑原物語(宝永補正千種本)	宗ハ129	3	軍記	㊤「せきかはら物語」 千種安清の写本に拠り宝永2 写
2603		閑原記(阿部本)	宗ハ128	3	軍記	㊤「閑ヶ原記」5巻 阿部忠秋撰
2604		閑原誌記	宗ハ127	12	軍記	27巻 孤鶯峯素尊(著者)の奥書があれど年時不明 →2614
2605		閑ヶ原軍記	宗ハ125	1	軍記	2606とは別書
2606		閑ヶ原軍記	宗ハ126	1	軍記	太田和泉守著 2605とは別書
2607		閑原軍記秘伝抄	宗ハ124	1	軍記	3巻 延宝2 玄斎井真写
2608		閑屋録	宗ロ67	2	雑録	諸届出様式ほか諸記録書留
2609		閑東一宮兩御宮御由緒	宗レ4	1	寺社	㊤「下総国葛飾郡船橋兩御神社御由緒御神宝并神宮口授大略之記」
2610		閑東古戦録	宗甲4	12	戦記	駒谷散人模都輯 享保11成 閑東の古戦場
2611		閑氏略譜	鶴史369	1	系譜	小羽戸村名主閑氏系譜
2612		閑西紀行	宗ホ451	1	紀行	元禄11 加納・京・兵庫・南部・伊勢・加納の紀行
2613		閑邪讞言	K630/2	1	宗教	㊤「拒絕邪教歎願書之写」 明治2
2614		閑ヶ原合戦誌記	宗ハ127	12	軍記	2604と同じ25巻
2615		閑ヶ原合戦誌記	宗イ109	10	軍記	㊤「閑原私記」 2604と同一内容で巻25肥後国宇土落城以下欠
2616		閑ヶ原軍記	宗イ124	2	軍記	㊤「慶長年中記」㊤「閑ヶ原記」 阿部忠秋の「閑ヶ原記」か
2617	阿	阿字観	宗ソ571	1	仏教	内題下に「大日本仏教青年会主催夏期講習会に於て豊山大学長権田雷斧」
2618		阿州平島氏伝記	宗ル303	1	記録	
2619	阿	阿発伝	鶴史278	1	伝記	野州梁田郡百頭村里正権右衛門女の伝、漢文
2620		阿茶の局一件				→1059
2621		阿闍陀油類目錄	宗医21	1	薬学	阿闍陀渡りの種々の油の製法・効能を記す
2622		阿談夢物語	宗ロ473	20	雑史	㊤「阿談夢物語」 明治4 浪華散人序 阿談両州の興亡を記す
2623	院	院御著到百首	L212/42	1	歌集	扉右下に享保六年三月三日以来

2624	院	院号書目	宗ツ34	1	記録	院号決定の経緯を左経記・後二条関日記・台記などから抄録
2625	陣陰	陣歿法名牒	B978/1	1	名録	北畠具教以下討死の際の法名帳 ㊶大正2
2626	陸	陸忠報咄	鷗史270	1	伝記	寛政6 藤原兼行序
2627		陸安集	宗ト211	3	茶道	延享4 時習軒序 外題下に「便察問書」と小書
2628		陸池亭雜録 上之方	鷗総338	1	雜録	本朝宝貨通用事略・伊呂波軍歌・以呂波(仮名遣伝書)・秋夜談を収む
2629	陳	陳子相法	鷗哲564	11	相法	人相・手相
2630		陳志篇卷二	鷗哲508	1	教訓	㊶草稿即慶応元年の秋、消書即明治二年十二月
2631	陽隨	陽湖叢録	宗ル435	5	雜史	戦国武将の逸話集 弘化3 柳塘小林陳善序
2632		隨函錄放	K620/24	1	漢学	㊶帝國図書館況斎叢書第八十卷所載 大正12写
2633		隨筆	鷗総236	1	→21	
2634		隨筆	鷗総251/1	1	雜録	漢学ほか諸事書留
2635		隨筆	鷗総251/2	1	雜録	諸事書留 安政頃のものか
2636		隨筆	鷗総316	1	隨筆	上覧相撲・納札・落語・豆腐料理・白石の母のことなど 明治期
2637		(隨筆抄)	A910/26	1	雜録	㊶朱で「土岐氏拔萃隨筆」 奇聞そのほか諸事書留覚
2638		隨視手録	鷗総250	2	雜録	漢籍抄録 辰集巻之一と辰集巻之六が存。各裏表紙にそれぞれ辛卯(天保2か)、天保甲午とあり 学半山本錫自筆
2639		隨問書	宗ト28	5	茶道	伝授された事項の筆録 各事項につき秘伝の程度を五段階にわけた符号を付す 編者年代等不明
2640	雀集	雀頭夜話	宗ロ351	2	隨筆	
2641		集古図統録	M420/56	1	印譜	「集古図」の統編 古来の印章を集めたもの 藤貞幹編 藤原印あり
2642		集古雜話	宗ロ76	2	言行録	江戸初期以来諸名士 巻末に「加藤氏政慶問覚書也」とあり 編者か 寛政元転写本
2643		集美録	宗ル518	1	雜録	諸人士の徳行を集めたもの
2644	雅	雅俗集語	宗ヲ203	1	雜録	語彙とその解説ほか諸書抜萃 江村北海講義筆記
2645	離雜	離宮八幡宮文書	宗ル292	1	記録	史料編纂所本の大正2写 →2673
2646		雜交珍説集	宗ル81	4	隨筆	㊶「雜交吾日記」 明和6 中田主税竹翁軒著
2647		雜兵物語	宗ヲ141	1	兵法	種々の役目の足軽ら雜兵の話の集成 彩色挿絵
2648		雜字新箋	鷗語75	3	漢学	字義解説 明治11村山徳淳著
2649		(雜写本)	鷗uncl	1	雜録	「奉呈勘解由公書」「釈奠記」「塙屋館甘勝歌」「突亥春抄赴」「八橋碑」「伊豆州熱海湯前神祠之碑」「谷氏譜法」「外題不知」「扶桑記」合写
2650		雜抄	鷗総229	1	雜録	諸事書留 文政12中川侯侍医阿部玄達著か
2651		雜抄	鷗総231	1	雜録	語彙 その他 諸書抜萃
2652		雜書	鷗総324/4	1	雜録	兵法武術等について諸書抜萃
2653		雜綴	宗ル453	1	雜録	表紙に「享保十三年江戸洪水記」「福王茂右衛門盛有書留」「武州上野東叡山終夜物語」「外国入津記」とあり、その四本を合綴したもの
2654		雜纂	鷗総227	1	雜録	戯文・漢詩・医学・易学・俳諧・茶道・料理・和歌・演説草稿等 幕末～明治 越中阿波加道高なる人の身辺にあった文書をとじたもの
2655		雜纂(奉納和歌雜纂)	鷗歌12	1	和歌	享保～延享 堂上の歌
2656		雜聞拔藁	宗ロ465	1	武話雜録	文化5 深町貞の依頼で水上某が写
2657		雜記	鷗総226	1	雜録	近世の様々な人士の逸話集
2658		雜話筆記	宗ロ205	10	雜録	享保15白龍子序 ㊶天明元年夏井坂泰度
2659		雜話筆記	宗ロ469	5	雜録	13巻 15巻 ㊶天保五年冬山崎久知 2658の別本
2660		雜談集	宗ソ504	2	説話	無住著
2661		雜録	鷗総70/1	2	雜録	種々の漢籍の抄録
2662		雜録	鷗総233	1	雜録	種々の書物の抄録 編者不明 表紙の右肩に「荻野梅塙書加手沢本」
2663		雜録	鷗総382	1	雜録	中に「林家説書次列」あって文政4 小沢左仲跋
2664		雜録	鷗総383	1	雜録	中に南畝の詩等あり
2665		雜録	鷗総384	1	雜録	

2666	雜	(雜録)	鷗総324/25	1	雑録	㊤「抜萃書」永井雅楽辞世・予何人書屋序等 以下2670まで牧野康済編
2667		(雑録)	鷗総324/11	1	雑録	㊤「抜書」長州御征討御陣列・天山藤森先生墓表等
2668		(雑録)	鷗総324/13	1	雑録	㊤「抜書」
2669		(雑録)	鷗総324/14	1	雑録	㊤「抜書」
2670		(雑録)	鷗総324/15	1	雑録	㊤「古文」
2671		(雑録)	鷗総323	1	雑録	㊤「分類雑記」儒話・仏老・詩文等21門に分ち諸書を抄録
2672		雑隨筆	鷗総228	1	雑抄	外題右肩に「享保ノ比」とあり 雑然たる書留 医術関係の記事多し
2673	離	離宮八幡宮文書	宗ル292	1	-2645	
2674	難	難波事跡伝	宗ロ323	1	雑史	大坂の陣をめぐる記録
2675		難波後記	宗イ47	12	戦記	大坂落城から島原の乱に至る
2676		難波戦記大全	宗ハ117	10	戦記	
2677		難波戦記追続	宗ハ116	1	戦記	大坂落城後の顛末
2678	雨	雨月物語	鷗文44/1	1	評論	㊤「詞華古今集」雨月白峰に対する依田学海・宮崎三昧の評 →2677と合綴
2679	雪	雪炊庵深切	鷗歌59	1	俳書	㊤安永7年初秋以白齋里従
2680		雪白河集	鷗歌69	1	俳諧	享保12巴静序 越前一奥羽一江戸一尾張一京 曇花房魯九
2681	雲	雲萍雑誌	宗ヲ281	1	隨筆	卷之三のみ
2682	震	震災記聞	鷗史151	1	変災	㊤「良斎震災記聞」弘化4年3月におきた信州の地震のこと 万延元写
2683		震窓隨筆	宗ル5	10	雑録	古文書・古記録上書を筆録し、夫々に意見を加える。著者二楽舎主人(容木門主人とも)
2684	霜	(追善)霜之手向	鷗歌76/1	1	俳諧	有時庵此由編 文化2 風塵坊序 →1592.1793.1794と合写
2685	露	露滴集抄	宗ル234	1	雑史	卷末に「右十八箇は露滴抄により抄書す其編せる箇条ハ常山紀談、鳩巢小説等に詳なれハ爰に略す露滴抄ハ何人の撰なるや未詳」とあり、本書は吉村球伯琳輯
2686		露艦隊來航秘録	宗ニ139	7	戦記	日露戦争に参戦したロシア造船技師ポットウスキイの日記(1904/9/10-1905/3/24) 訳者不明
2687		露艦隊最期夷記	宗ニ140	4	戦記	56章 訳者(名不明)注によれば著者は日本海海戦に参加した参謀将校であるが後難を慮って匿名 ロシア側の日本海海戦記
2688	靈	靈元帝御幸宸記	宗ハ22	1	儀式	卷末に「右神沢杜口翁翁草抜書写寛政十年孟夏」とあり、享保6~11年分(「翁草」巻101~102) 2689の異本
2689		靈元法皇御幸宸記	宗ロ83	2	儀式	享保6~16年 靈元院修学院離宮行幸の記 元文4写
2690		靈怪草	宗ル147	5	仮名草子	5巻5冊 延宝五年丁巳九月七日意諱 政貞公の命によって懶斎写との書写奥母 →2788
2691		靈空大和上行業記	B 940/R 2	1	伝記	僧靈空伝 明治27釈妙馨撰 東洋大学蔵の原本によって大正14写
2692	背	背諷山人路史	鷗史118	2	漢籍	享保15怡顔斎写
2693	静	静僻書屋叢書	鷗総262	1	雑録	「速水通鑿」講義筆記ほか書留 裏表紙に「明治三年倉龍庚午秋九月上毛州前橋柳巷之屋用拙散生」とあり 洞斎中邨峻輯 文政頃 卷20のみ存 雑録ならびに漢方処法
2694		静成樓筆記	鷗総261	1	雑録	洞斎中邨峻輯 文政頃 卷20のみ存 雑録ならびに漢方処法
2695		静谿漫筆	鷗総260	2	隨筆	地誌・歴史・風俗・行事のほか日本についての記事を漢籍・古書から拾い集めて考証
2696	面	面相十二官論図解	鷗哲583	1	相法	㊤「十二官之論」挿絵のみ版、それに書込み
2697		面初巻陳陰書		1	馬術伝書	寛文8年3月 →281、282、657~659.661~666と同一箱入
2698	鞞	鞞隨筆	鷗総76	1	隨筆	権道(岡田)米仲著
2699	鞍	鞍鏡秘伝書	宗へ85	1	有職	馬具鞍鏡の秘伝書 戦国時代、伊勢家先祖の故実をも記す
2700	韓	(定本)韓非子纂聞	鷗哲40	1	漢学	卷三のみ 「韓非子」の注釈書 蒲阪円著
2701		韓子迂評	鷗哲32	4	漢籍	㊤㊤「韓子」20巻 万曆6陳深子、狂謹味、門無子序 享保18淺井図南写、書入 嘉永3写
2702	韻	韻字滂卓	鷗語43	1	韻書	㊤明治4矢部次郎
2703		韻鏡	鷗語36	1	韻書	㊤「順徳院百首」 ㊤于時寛延三庚午孟春
2704	順	順徳院御百首	宗168	1	和歌	㊤「順徳院百首」 ㊤于時寛延三庚午孟春 従大久保氏爲想望写之畢武陽散人吉川正虎
2705	須	須磨の日記	宗ホ447	1	紀行	いわゆる「菅公須磨日記」

2706	頼	頼甲法	鵜哲568	1	曆占	㊦「遁甲指南」
2707	頼	頼朝日記	宗ル484	1	記録	㊦に「建久八年」と小巻 偽巻
2708	類	類聚雜要抄	宗ツ	1	有職	㊦元禄第九初秋九權中納言藤基勝判
2709	類	頼如上人員塚御座所日記	宗ル460	1	日記	天正11年7月4日～14年12月30日 史料編纂掛本明治45写
2710	風	風聞雜記	A910/32	1	隨筆	淺間焼その他天明ごろの風聞を記す
2711		風鑑蔽秘抄	鵜哲582	1	相法	人相・手相
2712	食	食事之種々	宗ナ	1	料理	明治40年頃の新聞の料理関係記事の抄出
2713	飲	飲中八儂歌		1	法帖	㊦明治庚子歳香雨居士辻真茂
2714	飽	飽雲閑話	宗183	1	寺院	大徳寺芳春院由来記 延享4年5月芳春院某集記 大正9写
2715	養	養源天産母簡	鵜語145	1	書簡	唐金喜右衛門宛
2716		養生翁草	宗医30	1	医学	「日用掌中食鑑」を合綴し、その末尾に丹南侍医宮原立庵輯とあり
2717		養育略志	鵜法109	1	医書	子供の育て方 ㊦丁卯冬日大川宗炳
2718		養庵先生碑銘行状	鵜史681	1	伝記	㊦「養庵先生墓誌銘」 墓誌銘(香川修徳撰)・行状(子省撰)・養庵先生遺教より成る ㊦宝暦九年五月写
2719	餞	餞章	鵜歌62	1	俳句	天保5 皆川良礎の東武行を送る
2720	香	香之記大概	宗ト160		(現物なし)	
2721		香元備忘抄	宗ト166	1	香道	
2722		香問答并婚儀礼	宗ト169	1	香道・儀礼	
2723		香棚図説	宗ト148	1	香道	
2724		香道百箇条	宗ト131	1	香道	㊦文化五年四月山中坦齋写
2725		香道秘極集	宗ト151	1	香道	
2726		香道師付	宗	1	香道	扉題右側に「伊藤重香より伝承」
2727		香道の話 茶湯事理問答	宗ト181	3	香道・茶道	「香道の話」は明治34の新聞の抄録 「茶湯事理問答」も同筆、同時期か
2728		香師之記	宗	1	香道	扉題右側に「香道指南伊藤重香氏口伝」
2729	馬	馬関日記	鵜史195	1	日記	文久3年5月26日～6月5日 相原弘が下関事件を目撃した折の日記
2730	駒	駒谷芻言	鵜哲49	1	隨筆	松岡梅岡著 ㊦于時天明丙午年秋九月写之并敬義蔵
2731	駿	駿府寺誌	K620/63	1	地誌	
2732		駿府政事録	宗ル287	8	記録	慶長16年8月1日～20年12月29日
2733		駿河国今川家中分限簿	宗ル485	1	名鑑	扉題右側に「永禄三庚申」左側に「正月十一日記」 ㊦文化五年初秋上旬藤原忠雄写
2734		駿河国志	宗ホ442	7	地誌	巻2～8存
2735		駿河国高附	宗巳31	1	経済	巻頭に天保頃の武鑑を抄録する 駿河各村の石高を記す
2736		駿河土産	宗ル295	1	雑史	家康その他の逸話集 ㊦于時文化六年仲夏写之太田蔵
2737		駿台先生秘録	宗ロ302	1	政治	「献可録」に同じ ㊦于時寛政戊午仲秋写之岡本保孝校合
2738		駿台秘書	宗ル393	2	政治	同上 書写年次不明
2739		駿台逸話	宗ル390	2	隨筆	見返しに南畝の筆で「統三十幅巻四(五)駿台逸話上(下)」とあり
2740		駿台雑話	鵜総357	1	隨筆	巻3～5存 ㊦天明元年二月天游叟
2741		駿話本別集	宗ル375	5	伝記	家康の事跡を種々記す
2742	骨	骨董記	宗ロ127	4	記録	南北朝から戦国時代までの種々の文書を収録 書簡・掟書・朱印状等
2743	體	(微笑流華術)体用相應の巻	鵜花64	1	花道	(見返)「微笑流華術體用相應の巻」(見返は板刻) 「(微笑流華術)さんさいのまき」(2798)を合帙
2744	高	高倉家伝		3	家伝	高倉・堀河・樋口家
2745		高山様御留書	鵜	1	記録	藤堂高虎の事跡の記録
2746		高尾考	宗ル286	1	伝記	山東京山著
2747		高田屋嘉兵衛伝	鵜史399	1	伝記	巻頭に明治13年7月21日付、子孫高田鶴喜代への三条実美の賞詞を掲げる
2748		高虎公一代雜譜	鵜	1	伝記	
2749		(高見喜兵衛御用遠金貨)	D650/26	2枚	経済	天保12年高見喜兵衛が旧園部藩に用立てた百両の覚 明治4のもの 及び高見宛、弥兵衛の預り金請求覚
2750		高辻家伝		7	家伝	高辻・五条・唐橋・東坊城・滑岡・小川坊城・桑原家
2751		高郵香旧詩余			(現物なし)	
2752		高野檢校帳	宗ソ319	1	名録	高野山管長歴代名簿 第14代良禪～第160代真嚴(文明16没)まで
2753	魏	魏書天象志 卷1、3			(現物なし)	
2754	魯	魯西亜對話筆記		1	外国	幕末魯西亜の風聞 →61、201、541、547、1549、1643、1778と一括 11冊のうちの1冊

2755	鳩	鳩巢小説	鷺総379	2	隨筆	
2756	鳩	鳩巢小説	宗口30	6	→458	
2757	鳳	鳳來軒漫録	鷺総396	1	雜録	河合業輯 諸書からの抜書と自作の詩 巻末に「此鈔五十四丁文化戊寅年三月上旬起草十月下旬為冊」とあり
2758		鳳巾の晴	鷺歌83	5	俳諧	10巻 安永3掃童老人(五竹坊)序 以哉坊編 文化5黒田有隣写
2759		鳳閣見聞図説	宗ツ29	1	建築	宮中の間どり・庭園・障子絵歌など見聞したものの図説 源宗隆著
2760	鳩	鳩巢書翰附録	宗口54	2	書簡	享保7~8の書簡(鳩巢、青地藤太夫)
2761	鷓	鷓肋編	鷺総187	1	雜録	「孫子」「項羽本紀」「大学」閉書ほか「嬾語」等諸書抜書き及び自作の詩文 黒川友恭編 嘉永以降幕末
2762	鶴	鶴岡社務記録	宗レ56	2	神社	鶴岡八幡宮建久3~文和4の記録
2763		鶴鳴筆録	宗口319	5	雜録	14巻 土佐藩世子山内豊熙編 天保5自跋 裨史野乘の類から嘉言善行を集めたもの 文政11岡真清序
2764	鶯	鶯森旧事記	宗			(現物なし)
2765		鶯画源聞蔵家母	宗ト53	1	茶道	南部鶯絵源三郎編 寛永11~17茶会記及び細川流茶道の記事 鶯絵家家母としていたものを元録12僧怡浜が写、さらにそれを正徳2転写したもの
2766	鷓	鷓鷓石の事を記す	鷺文44/2	1	評論	伊藤東涯の和文に対する評 2678と合綴
2767		鷓鷓斎漫録	鷺史1	1	雜録	天明~文政年間の諸記録、届の写し
2768	鷹	鷹三百首和歌	L212/34	1	和歌	定家著 江戸末写
2769		塩尻	宗口192	12	隨筆	巻数の記載をせず
2770	塵	塵塚之塵	鷺総281	1	雜録	1冊目巻尾「天保十五年八月一日書終、大雨風北」とあり 2冊目彩色挿絵あり 3冊目「癸卯正月三日耳かき一步堂臈々集」と表紙にあり 3冊合綴
2771	麗	麗沢園叢書	鷺総348	1	隨筆	「九万八千軍神」の項で終わり次の「僧巫争利」は題のみ
2772	麻	麻須登加伎	宗ヲ175	1	度量衡	
2773	黄	黄白問答	宗ル328	3	有職故実	新野問答 ㊟天明三年写之吉野俊秀
2774	黍	黍稷稻梁弁	鷺理22	1	隨筆	㊟文久辛酉之孟冬季二日写終間終加点検査 金外史
2775	黒	黒漆銀地菱紋古鞍	宗	1	馬具	㊟天保七年十二月七日写
2776		黒田勲功録	宗ハ142	12	伝記	黒田孝高・長政の事跡
2777		黒田家老土物語	宗ル488	1	雜録	孝高・長政の逸話 「栗山大膳記」「如水翁遺書」を合綴
2778		黒田家臣伝	宗口457	10	伝記	10巻 貝原益軒著
2779		黒田家旧記	宗口168	4	系譜	初代孝高から四代忠之までの事跡 4巻
2780		黒田家譜	宗口447	8	系譜	16巻 貝原益軒著
2781		黒田家譜	宗ル336	16	系譜	16巻 貝原益軒著
2782		黒田家譜	宗ル56	8	系譜	15巻 貝原益軒著
2783		黒田家譜	宗口146	15	系譜	15巻 貝原益軒著
2784	墨	墨子	鷺哲322	1	漢籍	「墨子」の白文写本 ㊟宝暦癸酉秋謄写芝閣室主人
2785		墨子	鷺哲323	3	漢籍	第2冊末尾に㊟享保乙卯冬十月二十八日勝政直写
2786	黙	黙齋草(一名孤松全稿)	鷺総75	42	→775	
2787	龍	龍光院殿如水円清大居士碑并序	鷺史712	1	墓碑	黒田如水の墓誌 僧玄蘇撰
2788		あやしぐさ	宗ル147		→2690	
2789		いけのもくず	宗ハ99	4	歴史物語	荒木田麗女著
2790		いづみぐさ	宗ト161	1	茶道	
2791		うきね物語	宗ハ52	1	擬古物語	㊟天保十四年夏□□たはふれにつくれり
2792		おくのほそ道	鷺歌133	1	俳諧	㊟明和七寅十月翁忌の日湖南養仲寺の廟前にて蝶夢書す
2793		かげろふ日記	宗ハ50	6	注釈	㊟「かげろふ日記解環」
2794		かたそぎの記	宗44	1	雜録	並河天民の和文を天民の伝とともに録したもの ㊟万延二年正月吉日寿量写
2795		きくまゝの記	宗口378	4	雜録	寛永御上洛御道之記・兼好法師之伝・大乗院宮二品尊円親王之伝・大坪左京亮成有入道禪之伝・沢庵和尚百首歌・狂歌妙々疵譚 以上六部を収める
2796		きのふはけふの物語	鷺文4	1	仮名草子	
2797		ささ葉集	鷺歌17	2	歌文集	表紙右肩貼付の紙片に「滝原宗開豊常稿」
2798		(微笑流花術)さんさいのまき	鷺花65	1	花道伝書	2743と合帙
2799		しぐれもの語	宗ハ59		(現物なし)	

2800	しだれ柳 (稀書複製会)	A 890/158/ 1	(現物なし)
2801	ちがや草	鶺鴒277	1 随筆 桂秋斎著
2802	つれづれ草秘伝	宗ヲ	1 注釈 内容は三箇乃口伝・八箇乃習ひ ㊟于時元 文五歳舎庚申太簇中辨弄花堂胡蝶子 歌集 ㊟「時の歌」
2803	ときのなかめ	鶺鴒30	1 和歌
2804	とりかへばや	宗ハ67	4 物語 ㊟「右とりかへばやの物語四巻は蓬萊氏の 本をかりて写しとり校合もをへぬ天明五年 乙巳正月十日本居宜長」 宜長写本の転写 本
2805	にはたつみ	鶺鴒31	1 和歌歌集 表紙右肩貼付の紙片に「本間遊消詠草」 とあり内題下に「文政十一戊子年」
2806	ひとり旅	鶺鴒71/3	1 俳句 ㊟「飛登里旅紀行」白茅舎編 608、667と 合綴
2807	ふところ鏡	宗ヲ18	3 辞書 いろは分けの古語字典 逸斎著 文化元自 序 (現物なし)
2808	ふところかがみ		3 お伽草子 奈良絵本
2809	ぶんせう		2 有職 雅亮装束抄
2810	まさすけさうそく事	宗114	1 俳諧 書写年次未詳
2811	みち風笈さかし	L 213/4	1 和歌 伊勢松阪の藤方延益、正徳→享保にかけて 諸国行脚の際の歌集
2812	みちしは物かたり	L 212/23	1 故実 守袋の伝書 延宝7年伊勢貞衡著 ㊟「宝 暦十二年二月一日伊勢貞丈」 ただし転写 本
2813	むねの守秘伝	宗へ316	1 俳諧 緑山編 1311と合綴
2814	めくる風草集	鶺鴒60/1	1 消息文 範 ㊟「遊芸可飛布理」 加藤千蔭著
2815	ゆきかひぶり	宗口32	1 紀行 源泰州の和文2篇、「よしの、道の記」冒頭 小沢醉園の朱筆頭書に「天保五年也」 ㊟ 「明治二十九年七月二十二日購入小沢醉 園」
2816	よしの、道の記・神路山の道 の記	宗ホ444	1 教訓 ㊟「右このふみ文政のはじめとか信陽のあ かた守荒井某なる人(朱・平兵衛ト云シ) 郡中の里正にあたへ給ひし冊子をけみして 其書にもとつきやつかれか悪なる心のくさ くさをもましくはえて…」
2817	をしえくさ	鶺鴒5	4 (現物なし)
2818	をりをりをぐさ	宗口380	1 仮名草子 延宝4版本による文政5写
2819	むさしあぶみ	B 249/34	1 法帖
2820	千字文祇南海真蹟	鶺鴒74	1 法帖 千字文各字を古印書より集字
2821	漢篆千字文	鶺鴒77	1 法帖 ㊟「拾遺千文」 烏石山人編書の文政写
2822	拾遺千字文	鶺鴒84	1 法帖 自筆
2823	道本和尚詩帖	鶺鴒158	1 法帖 文化10写
2824	注解千字文	鶺鴒87	1 法帖 南城筆
2825	南城先生蘭亭記	鶺鴒494	1 法帖 曆字 ㊟「日本紀曆考」 保井春海(算哲)編 日 本書紀中の曆關係記事の考証
2826	日本書記曆考	宗ヲ11	5 記録 ㊟「諸大名旗本石高寛永壬申記」 寛永9 現在の大名旗本の石高
2827	寛永壬申記	宗ヲ63	1 仏教 信心銘の調義 その趣旨に沿った和歌を添 える
2828	信心銘隨問記	宗ヲ214	4 有職故実 「当家用装束以下事」1冊・「胡曹抄」 (天文13典、慶安3写)2冊・(応安度例追 加)「名目抄」1冊
2829	応安度例・胡曹抄・着用装束	宗ツ138	13 雑史 秀吉時代以来延宝まで滅亡大名列伝
2830	古今滅滅諸家評判記	宗イ55	1 書画 平安末以来戦国末までの武将の花押を集成
2831	花押集	宗ヲ9	1 雑録 諸家の詩歌・文稿・書簡・抄出文などを雑 然と収集 明治期
2832	(雑稿)		1 雑録 諸書抄出
2833	拔萃文叢		3 記録 中世末近世初の書状・目録・文書等の写
2834	(文書写)		1 建築 古来の名茶室 範とすべき茶室の設計図
2835	(茶室指図)		1 外交 ㊟「(琉球)貢使録」(第9巻は「琉球人来 朝記」)巻7~12 →1734の下巻
2836	中山貢使録 下		1 雑録 和漢書抜抄
2837	(諸書抜抄)	宗ル446	1 法令 「武家諸法度」ほか
2838	(法度条目録)	鶺鴒 2204	3 雑史 元和以後の諸大名を宝暦武鑑により宝暦 元・2に改め、さらに寛政に武鑑により改 正したもの
2839	城主録	宗ヲ207	10 地誌 59・66~69・74~76・84~93・96~100存
2840	近江国輿地志略		1 枚 墨蹟 細野要齋識語
2841	神野菊叢翁真筆	鶺鴒17	1 枚 墨蹟 「峯石堂草訣百韻歌」を双鉤に写し楷書と 送り仮名を傍書
2842	其昌書	鶺鴒491	1 枚

2843	郭翁管作帖	鵞画27	2	法帖	服部南郭筆 「管作帖」は書出しの文字による
2844	〔沢田東江書〕	鵞画99	1	書画	赤染衛門尾張紀行 天明8 法帖仕立
2845	〔有栖川熾仁親王書〕	鵞画550	1枚	書画	
2846	笛浦野田先生壮時筆跡	鵞画107	1	書画	法帖仕立
2847	太令帖	鵞 56	1	書画	淳化帖の模写 山影写
2848	〔刀工名鑑〕	宗ヲ203	1	名録	明暦元写
2849	六集帖	拓新820	1	工芸	「商器款識」「殷器款識」「秦泰山詔譜」他を模写
2850	宝篋印陀羅尼經解説	A 890新3A-12	1	仏教	河内金剛寺蔵の同経影印の解説 活版
2851	〔手習手本発句揮毫等一括〕	鵞画569	2冊 5通 65枚	雑録	④「古文/弓俗往来/唐八景/地手本/化物つくし」とする1冊 「旧冬中句誰の東」に始まる手紙手本1冊 「七夕御手本」「書初手本」等5通 発句・和歌・画等65枚 皆川良礎・伴二關係収集物 天保期 「□邨温印」「字曰良齋」の印記あり
2852	〔書蹟〕	鵞画552	1枚	書画	長田徳本の書を明治44に複製 石版 富士川游解説を付す
2853	〔徳本書複製〕	鵞画553	1枚	書画	大字四字 「岡崎先生雅鑑/吟香居士題」
2854	〔岸田吟香書〕	鵞画554	1枚	書画	大字発句一行 2枚
2855	〔二字老人緑山書〕	鵞画555	2枚	書画	大字発句一行 発句四句四段
2856	〔鍋牛斎突由書〕	鵞画556	2枚	書画	大字発句一行 3枚
2857	〔皆川良礎書〕	鵞画557	3枚	書画	大字発句一行
2858	〔春香園書〕	鵞画558	1枚	書画	大字発句一行
2859	〔凡二書〕	鵞画559	1枚	書画	漢佳句二十字 出典未詳
2860	〔静脩山人書〕	鵞画560	1枚	書画	発句大字一行・三行等混
2861	〔多左坊書〕	鵞画561	8枚	書画	漢詩文大小混 一枚に「辛巳」とあり
2862	〔応渠逸人書〕	鵞画562	5枚	書画	横一行
2863	〔天洋僊史書〕	鵞画563	1枚	書画	「為国手岡崎先生」横一行
2864	〔湘雲居士書〕	鵞画564	1枚	書画	横一行
2865	秋夜隨筆		1	隨筆	享保19隠口翁柳瀬方塾自序 和歌に関する31条
2866	琉球城主代々記		1	記録	
2867	楽道纂解		1	音楽	元禄16宗覚正旦編 雅楽書の写 「嵩浪閣蔵」の用箋
2868	衣服定		1	法令	琉球王朝の規定
2869	口伝		1	和歌	古今伝授ほか
2870	胡琴譜		1	音楽	目録題「清風雅譜」 楽譜
2871	大般若波羅蜜多經		2	仏教	卷381(祖応他写) 卷587(元統写) 元禄4写
2872	〔官職名解〕	鵞法112甲	1	官職	→811と同一書
2873	官名解	鵞法113	1	官職	中国官名に注解を加える →811
2874	松本元伸上書写	鵞法114	1	政治	間引等の書についての書 →811
2875	〔歌学書抄〕		2	和歌	三部抄・雨中吟・自讃歌・二条家懐紙詠草 書法・景樹関係書その他 明治12写 →1861、2320、2321、2509と合
2876	〔歌題〕		2	和歌	歌題を列挙 1冊は明治期
2877	〔孟子講義筆記〕		1	儒学	講義録か

頭 字 一 字 索 引

	あ		エイ	咲	560	カ	加	344-347
ア	あ	2788		永	1563-1566		可	456-458
	亜・亞	129-133		瀛	1689 1690		嘉	563
	阿	2617-2622	エキ	英	2135-2138		夏	614
あおい	葵	2209	エツ	詠	2320-2326		家	830-836
アク	悪	1076		易	1241 1242		歌	1469-1478
アン	安	782 783	エン	越	2447-2463			2875 2876
		785-801		閱	2599		河	1591-1593
	按	1129		厭	441		花	2116-2129
	晏	1279		円・圓	584			2831
	闇	2601		延	532		華	2197-2200
	鞍	2699			975-979		蝦	2268-2270
イ	い	2789 2790		役	992		鍋	2576 2577
	以	162		演	1673	が	蝸	2856
	伊	168-197		炎	1693		我	1105
	位	219		烟	1694		画・畫	1781 1788
	圍・囿	585		煙	1696		賀	2425-2432
	惟	1078		燕	1699		雅	2644
	為・爲	1700 1701		塩・鹽	1833	カイ	怪	1070
	異	1777-1780			1834 2769		恢	1075
	維	2021 2023		遠	2528-2537		懷	1101
	遣	2537 2538	オ	鉛	2570		改	1159 2465
	衣	2868		お	2792		会・會	1290-1292
い	咲	560		於	1194		槐	1458
いそ	磯	1878	お	阿	2617-2622		海	1608-1616
イチ	一	1-10	おいて	於	1194		苺・刈	2130
イツ	乙	97 B	オウ	奥	750-757		解	2314
	逸	2511			1985 1986		開	2588
イン	印	438 439		往	993 994	ガイ	皆	2857
	尹	888		応・應	1086-1094		外	616-623
イン	烟→エン				2829 2862		鎧	2582
	胤	2092		横	1465 1466	カク	各	510
	飲	2713		桜・櫻	1468		客	821
	院	2623 2624		欧・歐	1481		攪	1150
	陰	2626		翁	2051 2053		画・畫	1781 1788
	韻	2702 2703		鸚	2766 2767		覚・覺	2310
ウ	う	2791	おく	黄	2773		雀	2640
	右	463		奥	750-757		鶴	2762 2763
	宇	780 781	おけ		1985 1986		廓	2843
	有	1296-1303	オツ	桶	1441-1443	ガク	楽・樂	1459
		2845		乙	97 B			1460 2867
	禹	1926	オン	越	2447-2463	カツ	活	1605 1606
	羽	2050		温	1653-1656		滑	1672
	迂	2477		遠	2528-2535	かま	鎌	2578-2581
	雨	2678				かる	苺・刈	2130
うつほ	靱	2698		か		カン	勸・勸	365 366
ウン	雲	2681	カ	か	2793 2794		官	808-812
エイ	衛	138		下	63-65			2872 2873
				仮・假	248		寛	848-855
								2827

カン	換漢	1133	キユウ	朽求	1337 1338	ケ	家	830-836
	漢	1678 1679		求	1567 1568	ゲ	下	63-65
		2821		笈	1995		外	616-623
	灌環	1692		給	2009	ケイ	京	140-149
	看	1744 1745		旧・舊	1235		刑	324 325
	管	1850			2104-2107		啓	554 555
		1971		鳩	2755		恵・惠	1077
		1973-1975			2756 2760		慶	1086-1096
	菅	2192	ギユウ	牛	1708		系	1990
		2194-2200	ギョ	御	1002-1052		経・經	2010-2018
	観・觀	2311-2313		漁	1680		繼・繼	2028
	間	2591 2592	キョウ	享	136		螢・螢	2272
	閑	2593 2598			137 139	ゲイ	鷄・鷄	2761
	関・關	2602-2616		京	140-149	ゲキ	芸・藝	2247
	閑	2700 2711		兇	280	ケツ	擊・擊	1140
ガン	元	264-278		匡	384	ケツ	結	2008
		784		恐	1074	ゲツ	月	1293-1295
	岩	915		橋	1436			1736
		916 2854		狂	1715 1716	ケン	兼・兼	313 314
キ	き	2795 2796		競	1947		建	980-983
	其	311		経・經	2010-2018		憲	1099
		312 2842		興	2102 2103		検・檢	1467
	季	779	ギョウ	仰	167		献・獻	1722 1723
	岐	908 909		業	1452		兼	2224 2225
	己	932		行	2274 2275		護	2265
	旗	1199	キョク	極	1444-1446		見	2302-2306
	帛・歸	1553	ギョク	玉	1726-1730		賢	2437
	畿	1789	キン	權	1462		顯・顯	2709
	磯	1878		琴	1740-1742	ゲン	元	264-278
	紀	1373		禁	1912-1918			784
		1991-1995		近	2478-2496		原	442
	葵	2209		金	2558-2567		敵・嚴	564
	規	2307		釣	2568		彦	990
	記	2317		錦	2573-2575		源	1659-1671
	起	2446		銀	2572	コ	玄	1725
ギ	儀	260	ギン	久	92-97A		古	466-501
	疑	1790 1791	ク	九	98-103		壺	2830
	祇	1909		公	293-307		孤	613
	義	2043-2049		句	464 465		己	774 775
	魏	2753		臚	2096		扈	932
キク	菊	2193		駒	2730		故	1111
キツ	吉	506-509		愚	1079-1081		胡	1152-1155
		2249	グ	求	1567 1568	ゴ	五	2093 2870
	喫	558 559		喰	561		吾	123-128
		562		堀	601		後	525 526
	橘	1461 1464		熊	1697 1698			995-999
きび	黍	2774		喰	561		御	1001
キャク	客	821		君	528 529		梧	1002-1052
キユウ	久	92-97A	クン	薫	2242-2244		護	1433
		98-103		訓	2316	コウ	仰	2390 2391
	九	198-201	グン	軍	2469		公	167
	休	825-827		郡	2540-2542		好	298-307
	宮	984						763

コウ	孝	773	さ	泉	1827	ジ	滋	1651
	岡	910-914	ザ	座	966		爾	1705
	幸	957	サイ	柴	1407		示	1879
	庚	962 963		歳	1526 1527		耳	2065-2068
	康	971 972		祭	1910		自	2099
	広・廣	974		細	2003-2006	シキ	職	2069
	弘	985 986		西	1453			2080-2083
	晃	1276	さかき	紳	1457	ジキ	食	2712
	更	1282	サク	作	203-206	ジク	軸	2471
	江	1574-1587		策	1960 1961	しじ	榻	1132
	甲	1767-1771	ささ	篠	1976	シチ	七	11-15
	皇	1821-1825	サツ	殺	1536 1537	シツ	執	600
	泉	1827		薩	2237-2241		室	822-824
	紅	1996	ザツ	襍	2283 2284	ジツ	日	1200-1233
	綱	2019 2020		雜・雜	1582			2826
	興	2102 2103			2646-2672		実・實	843-847
	行	2274 2275			2832	しつけ	襲	2468
	貢	2424	サン	三	16-60	しば	柴	1407
	購	2439		刪	326	シャ	射	859
	香	2720-2728		参・参	445-452		社	1880 1881
	高	2744-2752		山	897-907		舍	2103
	黄	2773			923	ジャ	邪	2539
	口	2869		産	1760 1761	ジャク	尺	887
ゴウ	合	503 504	ザン	算・算	1970		赤	2440-2445
	業	1542	シ	残・残	1534 1535		积・釋	2549 2550
	毫	1548		し	2799 2800	ジャク	弱	987
	江	1547-1581		史	459-462		若	2133 2134
		1583-1587			1102	シュ	主	89-91
コク	告	525		司	502		守	802-804
	国・國	573-583		四	565-572		手	1112 2851
		589		士	611		朱	1339-1342
	石	1862-1878		姉	768		私	1929
	黒	2775-2783		師	935		須	2705
ゴク	極	1444-1446		志	1067-1069	ジュ	儒	261-263
コツ	乞	104		思	1072 1073		入	283-285
	滑	1672		柿	1370		受	455
	骨	2742		枝	1371		珠	1732
これ	惟	1078		止	1482		聚	2074-2076
コン	今	156-160		獅	1718	シュウ	修	231 232
	婚	770-772		矢	1856 1857		周	530 531
	根	1426-1429		祠	1882		執	600
	混	1630		紫	2000-2002		宗	814-820
	近	2478-2496		糸	1989			829
		2840		芝	1891 2115		崇	919
	金	2558-2567		視	2309		拾	1125
				詞	2319			1128 2822
	さ			詩	2327-2341		秀	1927 1928
				誌	2343		秋	1930
サ	さ	2797 2798		資	2433 2434			1931 2865
	佐	207-216	ジ	事	105-108		習	2052
	左	927-931		侍	220		聚	2074-2076
	茶	2148-2188		寺	857 858		舟	2109
		2835		時	1277 1278		萩	2222 2223

シュウ	裸→ザツ		シヨク	喰	561	セイ	正	1483	488
	集	2641-2643		織	2026		清	1639-1646	
ジュウ	十	385-394		統・續	2029-2041			2073	
シュク	宿	837		職	2069	生		1746-1748	
シュツ	出	318 319			2080-2083			1750-1759	
ジュツ	戌	1104		食	2712	精		1987 1988	
	述	2497	シン	信	224-227	聖		2070-2072	
シュン	俊	223		心	233 2828	西		2285-2296	
	春	1260-1265		慎・慎	1066	誠		2344	
		1267-1275		新	1083-1085	醒		2547	
		2858			1178-1192	青		2692	
	駿	2731-2741			2063	静・靜		2693-2695	
ジュン	荀	2141-2143		森	1448			2860	
	順	2704		榊	1457	ゼイ	贅	2438	
シヨ	初	334-339		津	1604	セキ	夕	615	
	所	1108		清	1639-1646		尺	887	
	書	1283-1289		申	1772		席	936 965	
	渚	1657 1658		真・眞	1851-1855		昔	1237-1240	
	処・處	2260		神	1883-1890		石	1862-1876	
	諸	2357-2388			1892-1905		赤	2440-2445	
		2837		親	2841	セツ	切	323	
	黍	2774		賑	2309		折	1117 1118	
ジョ	助	348 349		身	2436		拙	1119	
	女	758-760		震	2467		接	1130	
	如	761 762		人	2682		撮・攝	712	
シヨウ	将・將	860-863	ジン	仁	150-155			1143-1149	
	小	866-869		紐	161		殺	1536 1537	
		871-876		陣	1997		薛	2235	
		878-882		鞞	2625		說	2342	
	尚	883-886		塵	2698		雪	2679 2680	
	抄	1116		須	2770	セン	仙	164-166	
	昌	1243 1244	ス	図・圖	2705		先	279	
	晶	1281	ズ	豆	586 587		千	395-408	
	松	1344-1368		垂	2408		山	2820	
		2874	スイ	水	612			897-907	
	正	1483-1488		穗	1549-1562		川	923	
	相	1839-1849		翠	1938			925 926	
	生	1746-1748		萃	2054 2055		扇	1110	
		1750-1759		瑞	2201 2203		戦・戰	1106	
	称・稱	1936	ズイ	隨・隨	1743		洗	1600	
	篠	1937		崇	2632-2639		浅・淺	1628 1629	
	聖	2070-2072	スウ	務	919		煎	1724	
	莊・莊	2189-2191		駿	2131		船	2112	
	装・裝	2278-2282	スン	世	2731-2741		餞	2719	
	象	2415 2416	セ	勢	71-73	ゼン	前	341-343	
	湘	2864		瀨	355-364		善	553	
ジョウ	上	61 62 877	セイ	井	1691		禪・禪	1920 1921	
	城	598 2839		制	119-122	ソ	租	1932	
	定	813		勢	340		組	1998 1999	
	常	937-939		性	355-364	ソウ	喪	557	
	条・條	1431 1432		惶	1071		宋	805-807	
	淨・淨	1636-1638		政	1082		宗	814-820	
	篠	1976			1156-1158			829	

ソウ	挿	1126 1127	タツ	達	2526 2527	つばき	椿	1454
		1134 1135	たな	棚	1447	つば	坪	597
	掃	1131	たもと	袂	2276	テイ	堤	603 604
	操	1142	タン	但	202 218		定	813
	早	1236		旦	1234		帝	934
	桑	1423		淡	1631-1635		庭	967-970
	澡	1682		澹	1686		提	1136 2548
	相	1839-1849		短	1861		訂	2315
	窓	1940-1943		端	1949		諦	2356
	総・總	2024 2025	ダン	膽	2095	テキ	貞	2418-2423
	繰	2027		断・斷	1193		敵	1479 1480
	草	2144-2147		断	1776		萩	2196
	荘・莊	2189-2191	チ	男	2354 2355		適	2536
	装・裝	2278-2282		談	2801		笛	2846
	霜	2684		ち	595	テツ	鏡	2571
ゾウ	増	607 1706		地	1569-1573	テン	天	716-734
	蔵・藏	2245 2246		池	1589 1590			2863
	蔵	2415 2416		治	1858-1860	デン	伝・傳	255-259
	象	2501	チク	知	1948-1954		殿	1538 1539
	造	2646-2672		竹	1957-1959		田	1762-1766
	雑・雜	2832	チャ	筑	2148-2188	ト	と	2803 2804
ソク	即・卽	440		茶	2835		図・圖	586 587
	足	2464 2466	チュウ	中	74-88		渡	1647-1650
	速	2502 2503			2836		途	2504
ゾク	俗	228 229		厨	443 444	ド	都	2544-2546
	粟	1984		屋・壺	1280	トウ	土	590-594
	続・續	1165		籩	1978		冬	315
		2029-2041		虫・蟲	2273		唐	551 552
				注	2824		島	917
	た		チヨ	猪	1717			918 920
				著	2221		嶋	921 922
タ	た	1196	チヨウ	塚	605		揀	1132
	多	624-630		彫	991		榻	1137
		2861		懲	1054 1100		東	1372
タイ	太	735-747		朝	1305-1309			1374-1405
		2847		潮	1681		桃	1424 1425
	対・對	864 865		町	1773-1775		桶	1441-1443
	戴	1107		窀	1939		湯	1652
	泰	1594-1599		聴・聽	2084		灯・燈	1702
	台・臺	2100 2101		蝶	2271		当・當	1783-1787
	袋	2277		調	2353		稻	1937
	諦	2356		長	2584-2587		筒	1956
	退	2499 2500	チョク	勅	351-354		藤	2250-2258
タ	体・體	2743	チン	枕	1369			2260
ダイ	大	588		椿	1453 1454		刀	2848
		637-711		珍	1731		豆	2408
		713-715		鎮・鎮	2583	ドウ	同	505
		2871		陳	2629 2630		洞	1601
	提	1136 2548	ツ	つ	2802		道	2515-2525
	醒	2548		都	2544-2546			2823
たか	腐	2768	ツウ	通	2505-2508	トク	徳	1055-1065
タク	沢・澤	1683-1685	シイ	追	2498			2853
		2844	つか	塚	605		特	1714

ドク	独・獨 読・讀	1719 1721 2389 2392-2406	バツ	抜	1123 1124 2833	へイ	丙	70
トツ	訥	2318	ハン	半	409		兵	308-310
トン	頓	2706		反	411-413		坪	597
	な			坂	453		平	941-946
				斑	596		敵	1160
ナ	奈	749		般	1175	へイ	薛→セツ	1979-1982
ナイ	内	286 287		藩	2110 2111		米	2276
なベ	鍋	2576 2577	バン	番	2261-2264	へン	袂	1707
ナン	南	410		盤	1782		片	2022
		414-434		万・萬	1835		編	2407
		2825		番	2210-2220	ベン	變・變 弁・辨	2475 2476
	楠	1449-1451	ヒ	碑	2233 2234	ホ	保	222
	男	1776		秘	1877		布	933
	難	2674-2677		肥	1749		步	1489 1490
ニ	に	2805		備	1933-1935	ボ	蒲	2228-2230
	二	109-118		尾	2085-2087		墓	606
		2855		微	250-254		戊	1103
	爾	1705	ビ	美	889-895		慕	1097 1098
ニチ	日	1200-1233		筆	1054		母	1540
		2826	ヒツ	百	2042	ホウ	保	222
ニャク	若	2133 2134	ヒヤク	兵	1962-1969		報	602
ニュウ	入	283-285	ヒョウ	漂	1813-1820		奉	748
ニョ	女	758-760	ヒョウ	病	308-310		宝・寶	856 2850
	如	761 762	ヒン	品	1676 1677		庖	946
ニン	人	150-155		品	1792		抛	1114
	仁	116		濱・濱	550		抱	1120 1121
ネン	年	947-956	フ	不	1688		放	1151
ノウ	濃	1687		婦	66-69		棚	1447
	能	2094		富・冨	769		法	1588 2838
				布	838-842		芳	2132
				府	933		蓬	2231
				扶	960 961		豊・豐	2409-2414
	は			扶	1113 1115		飽	2714
バ	馬	2729		步	1489 1490		鳳	2757-2759
ハイ	佩	221		浮	1607	ボウ	亡	134 135
	俳	234-247		父	1704		傍	249
	拜・拜	1122		釜	2569		房	1107
	背	2091	ブ	武	1491-1525	ホク	北	367-383
バイ	梅	1434-1440		部	2543			870
	楳	1455	フウ	楓	1456	ボク	卜	437
	売・賣	2435		風	2710 2711		墨	608-610
はぎ	萩	2222 2223	ふき	落	2236			2784 2785
ハク	博	435 436	フク	復	1053		木	1310-1313
	柏	1407		福	1919		朴	1343
	白	1804-1812		服	2088-2090		牧	1709-1713
		1972	ブツ	仏・佛	217	ホツ	発・發	1793-1803
バク	幕	940	ブン	分	320-322		堀	601
はたけ	畠	1826	ブン	文	1161-1164	ホン	本	1316-1333
ハチ	八	289-296			1166-1174		翻	2056
ハツ	撥	1141		聞	2259 2834	ボン	盆	1828-1832
	発・發	1793-1803		蚊	2077-2079		凡	2859
					2267			

	ま		ヤク	薬・藥	2248	リョウ	料	1176	1177
			ユ	ゆ	2815		良	2113	2114
			ユイ	唯	556	リン	林		1406
マ	摩	1139	ユウ	勇	350		琳		1739
	麻	2772		友	454		稟		1911
マイ	埋	599		右	463		臨	2097	2098
	毎	1541		幽	959	ルイ	累		2007
	米	1979-1982		有	1296-1303		類		2708
マツ	末	1314			2845	レイ	令		163
マン	漫	1674 1675		熊	1697 1698		冷	316	317
	万・萬	2210-2220		祐	1906-1908		嶺		924
ミ	弥・彌	988 989		翰	2472-2474		礼・禮	1922-1925	
	未	1334-1336		遊	2512-2514		靈・靈	2688-2691	
	美	2042	ヨ	よ	2816		麗		2771
ミョウ	名	511-524		予・豫	2417	レキ	歴	1528-1532	
	妙	764-767	ヨウ	容	828	レン	冷	316	317
	明	1245-1259		幼	958		簾		1977
		1720		庸	973		蓮		2232
	茗	2139 2140		臞→ク			連	2599	2600
ミン	眠	536		要	2297-2301		鍊	2578-2581	
ム	夢	632-636		陽	2631	ロ	炉・爐		1703
	無	1695		養	2715-2718		露		2236
メイ	め	2814		鷹	2768		魯	2685-2687	
	名	511-524	よろい	鎧	2582		鷺		2754
	明	1245-1259					朗	2764	2765
		1720		ら		ロウ			1304
	茗	2139 2140					浪		1617-1627
メン	免・免	281 282	ライ	礼・禮	1922-1925		老		2057-2062
	面	2696 2697		頼	2707				2064
モ	募	1138		瀨	1691	ロク	六	297	2849
	母	1540	ラク	洛	1602 1603		陸		2627 2628
モウ	亡	134 135		落	2204-2208	ロン	論		2345-2352
	孟	776-778		染・樂	1459				
		2877			1460 2867		わ		
	毛	1542-1547	リ	利	327-333				
	盲	1838		里	2551	ワ	和	533-535	
	蒙	2226 2227		理	1737 1738			537-549	
モク	木	1310-1313		履	896		倭		230
	目	1836 1837		離	2645 2673	ヲ	を	2817	2818
	黙	2786	リク	六	297 2849				
もみ	扱	1983		陸	2627 2628		不明		
モン	文	1161-1164	リツ	立	1945				
		1166-1174		栗	1430		眠		536
		2259 2834	リュウ	琉	1733-1735		啖		560
		1266			2866				
	問	2077-2079		竜・龍	2787				
				柳	1000				
	や				1411-1422				
ヤ	夜	631	リョ	旅	1195				
ヤ	野	2552-2557			1197 1198				
や	矢	1856 1857		閩	2600				
ヤク	役	992	リョウ	令	163				
				両・兩	288				

パークレー校蔵旧三井文庫本調査始末記

伊井春樹

1 調査計画

昭和58年9月13日の夜、当館の長谷川強・渡辺守邦・伊井春樹、それに京都大学の日野龍夫の4人は、成田からサンフランシスコへ向かって飛び立った。カルフォルニア大学パークレー校に蔵される三井文庫本を、調査し整理することを目的としてである。

パークレー校に旧三井文庫本の存在することは一般に知られており、すでにいく人もの研究者が訪れて閲覧したり、調査してその成果を公にしている。しかし、パークレー校における三井文庫本とは、トータルしてどれくらい蔵されているのか、それがどのように保存されているのかとなると、的確な情報はなかなか手に入らなかった。

当館の調査・収集（マイクロフィルムによる撮影）については、発足以来在外資料を進めることを求めてきたが、当面は国内資料の充実に力を注いできた。昭和56年に在外資料撮影の予算化が認められたため、これまでアメリカ議会図書館・大英図書館・フランス国立図書館等、一部についてマイクロフィルムの購入を進めてきた。しかしこの方法は、資料が整理されて目録ができしており、出納が比較的容易でマイクロ撮影の設備を持っている機関にしか通用しない。この注文によるマイクロフィルム入手の方式には、書誌の不明な点は当分断念するにしても、上記のような条件を満たした機関がきわめて少いだけに、早晚限界の訪れることは目に見えている。できるならば、国内と同じく調査に出かけ、自前のマイクロ撮影をするのが望ましいであろう。カメラを日本から運ぶのが無理であれば、せめて調査だけでも手がける費用を予算化し、所蔵機関なり地元の業者に撮影を求めるのが次善の策かと思う。

この一つの解決方法として、科学研究費（海外学術調査）による申請の示唆を受け、当部ではまずパークレー校の旧三井文庫本の調査を具体化することに決め、昭和56年度から準備していった。昭和57年7月から6カ月間、たまたまウィリアム・マッカラウ教授（William McCoullough）が当館の客員教授として赴任されたこともあって、調査の方法などを相談することができた。このようにして実現したのが、今回のメンバーによる旧三井文庫本の調査である。

長谷川・渡辺・伊井は9月13日から10月6日までパークレーに滞在して調査、その後ワシントンD・C・ニューヨークに寄り、10月15日に帰国した。日野は途中ボストンに調査に出かけ、再びパークレーに戻って調査、帰国は同じ10月15日である。パークレーにいる間、図書館の方々と多くの資料から、三井文庫本の購入されるにいたるいきさつや、現在の状況など数多く知ることができた。三井文庫本の歴史を知り、今後の調査等の参考にするため、心覚えとして以下記しておく。

2 東アジア図書館の設立と三井文庫本の購入

三井文庫は、現在の国文学研究資料館が占める同じ場所に、昭和24年までかつて存在していた。三井家が家史編纂所として大正5年に三井文庫を発足させ、同11年までに赤レンガ造りの建物を完成させた（そのうちの書庫の一棟は、現在も残されている）。昭和24年に文部省史料館の設立、その後3年計画で三井文庫の土地・建物を買い上げ、昭和47年には現在の国文学研究資料館が創設されたのである。このような当館と三井文庫との因縁浅からぬ関係により、海外調査の第1回目としてパークレー校に買い取られた三井文庫本を対象とした次第であった。

渡米するまでに、三井文庫の歴史を人から聞いたり、パークレー校へ調査に赴いた人々の記録を集めて読みはしたものの、それだけではどうしても芒漠として全体像がつかめないうでいた。9月13日夕刻にパークレーに着き、翌日から図書館通いが始まったのだが、そこで東アジア図書館初代館長のエリザベス・ハッフ女史 (Elizabeth Haff) のインタビューによる回想記「教師と東アジア図書館の初代館長—アーバナから北京を經由してのパークレー」(Teacher and Founding Curator of the East Asiatic Library—From Urbana to Berkeley by way of Peking, 1977 University of California, 278page) と、ロジャー・シャーマン氏 (Roger Sherman) による図書館学の修士論文「東アジア図書館による三井文庫の入手」(The Acquisition of Mistui Collection by the East Asiatic Library, 1980. 196page) の存在を知った。早速それらを借り出し、宿 (Women's Faculty Clubという大学の宿泊施設) では毎夜のように辞書を片手に読み取り、必要なことがらをメモしていった。読むにしたがい、すっかり面白くなり、購入にいたるまでの大変な苦労とともに、三井文庫本の運命に深い関心を抱くにいたった次第である。これによって、三井文庫本の購入にいたるまでのいきさつ、パークレー校に運び込まれて以降の整理、それに現在の状況などを知ることができた。リッチモンドの倉庫に大半の板本が保管されていることとか、三井文庫で作成された目録の存在することなども、これらの資料によって知ったのである。このほか日本に残された記録とか、購入の過程を知る数多くの文書や手紙をまとめた“Mitsui File”、由谷英二氏による「東アジア図書館における日本の貴重書と特別コレクション」(Japanese Rare Books and Special Collections in the East Asiatic Library, 1976) などを参考にしながら、以下三井文庫本の購入とその後の経過を述べておくことにする。

第二次世界大戦後、アメリカではアジア研究をさらに推進する必要があることを痛感するにいたる。その関連として、1947年にパークレー校では各所に分散していた日本と中国関係の本を1カ所にすべく、東アジア図書館 (The East Asiatic Library) を設立する。その後数年が、本の収集時期にあたり、日本関係の村上文庫や三井文庫本が購入されたのである。それをもっとも強く進めたのが、初代館長エリザベス・ハッフ氏であった。彼女は1912年イリノイ州アーバナの生まれ、ハーバード大学で中国文学を学び、やがて中国に渡り、1939年には京都にも住み、神戸カレッジで教えたこともある。その後再び北京に赴き、そこで日本軍によって抑留され、1945年に

解放、翌年アメリカに帰国するにいたる。1947年4月15日にバークレーに迎えられ、それが事実上の東アジア図書館の発足につながる。

1948年にエリザベス・マッキンノン女史 (Elizabeth Mckinnon) は、日本資料収集の任務を帯びて日本に派遣され、そこで購入したのが村上文庫であった。明治期の初版本などを中心とした11,000冊のコレクションで、2,500ドルで入手することができた。

※このコレクションは、東アジアの図書館のあるDullant Hallの地階に収蔵されており、カードもすべて揃っている。

マッキンノン氏は、さらに多くの古書肆や大学等を訪れ、情報の収集に努めるが、やがて尊経閣文庫の今井吉之助氏から三井文庫本放出の話を知る。1948年12月19日に、彼女は今井氏と三井文庫を訪れ、文庫長の山口栄蔵氏と会見している。我々が勤めているこの国文学研究資料館の敷地を訪れたのだと思うと、感慨もひとしおである。やがて、この三井文庫本がバークレー校に買い取られるのだが、そこにいたるまでのいきさつは波乱に富んだものがあり、ドラマチックですらある。

交渉が始まり、本の値段、支払いの方法、資料の内容等、マッキンノン氏はそのつどハップ館長に連絡して指示を仰ぐ。彼女の帰米後は、もっぱら今井氏がバークレー校の代理として、三井文庫や三井家と交渉の任にあたる。これらはすべて秘密裡に進めていたにもかかわらず、三井文庫のリストがエール大学に持ち込まれて売り込みがはかられていたり、新聞に間違った記事が流されて反対の声が起こったり、さらには三井一族の同意がなかなか得られないなど、困難をきわめたようである。代金の支払いにしても、すさまじいインフレーションの時期であった上に、占領軍によってドルの支払いが禁じられていたため、円に不安を抱いた三井家は、アメリカの本との等価交換といったプランも、途中では具体化しかけていた。いよいよ船積み段となっても、リストと本のチェック、数社と契約した輸送に関しても、それぞれに依頼する本の量、これも間際になって海運業者の変更があるなど、厄介なことばかりであった。このように落ち着くまでにブローカーの暗躍があるなど、戦後の混乱期の世相を如実に示している。

最初の35ケースの本を積んだ船は、ずい分遅れて1950年6月に横浜を出航、朝鮮動乱の影響などもあったが、その年の末までに485ケースがアメリカへ運ばれた。三井文庫の総数は10万冊、5万ドルという買物だった。交渉の始まりから本を手に入れるまで、まさにはらはらのし通しだったことから、この顛末を“三井ロマンス”と、当時の図書館では呼んだそうである。

3 旧三井文庫本の内容とその後の状況

1950年(昭和25年)にバークレー校の購入した三井文庫本の内分けは、次の通りである。

- | | |
|----------|---------|
| (1) 基本図書 | 20,000冊 |
| (2) 鸚軒文庫 | 28,000冊 |
| (3) 今関文庫 | 19,838冊 |

- (4) 本居文庫 8,694冊
- (5) 宗辰文庫 22,742冊
- (6) 古地図 2,000点
- (7) 浅見文庫 6,737冊
- (8) 聴永閣文庫 500点
- (9) その他（入札目録）

※このうち本居文庫は直前にリストから削除されて日本にとどめられることになったが、ただパークレー校には「本居文庫」の紙標を持つ本がかなり入っている。このあたりの事情は不明。

(1) 基本図書

三井文庫の参考図書として用いられていたらしく、歴史・地誌・経済書等、三井各家の本が集められる。

(2) 鶚軒文庫

東京帝国大学医学部教授土肥慶蔵（鶚軒）（1866—1931）の蔵書。医学・哲学・言語などのほか、漢詩文の書がもっとも多い。1931年に三井文庫が購入。パークレー校が三井文庫本を購入したのと同じ頃、鶚軒文庫の医学書は東京医科歯科大学に、漢詩文は国会図書館に入り現在にいたる。3者に分けられる以前のタイプ印刷による「鶚軒文庫目録」がパークレー校にある。

(3) 今関文庫

今関天彭（寿啓）の蔵書。三井合名会社に入社し、中国にあつて情報収集に努めるかたわら、中国の本を収集。1937年に三井文庫が購入する。1,418点を収める、三井文庫で作成した目録がある。

(4) 本居文庫

三井高蔭と宣長とは近い関係だった縁もあって、本居文庫は三井文庫に購入される。3,660点（8,694冊）のうち、3分の1が板本、残りが写本だったという。この本の大半は東京大学が購入し、残りの1部がパークレー校に入ったようである。

(5) 宗辰文庫

三井新町家（京都）の8代目宗辰（1845—1922）の収集した文学・歴史等の書。このほか、明治期の大阪での歌舞伎番付約2,000点、明治の絵ハガキも加えられる。

(6) 古地図

地図・地誌類で、三井文庫の中では貴重な存在。1,966点を収めた「宗堅所集地図類目録」（132頁）とするカタログが存在した由だが、現在のところ紛失という。

(7) 浅見文庫

浅見倫太郎（1869—1943）の収集した朝鮮本で、「李朝実録」（888冊）ほか朝鮮版の古活字本60点などが目につく。Chaying Fang氏とハップ館長編による“The Asami Library A Descriptive Catalogue”（University of California Press, 1969）が出版されている。

(8) 聴永閣文庫

三井高堅（1867—1950）・宗堅によって集められた法帖・拓本類。「聴永閣所蔵古代支那碑碣法帖拓本目録」（35頁）がある。

三井文庫本がパークレー校に購入されて後、1952年に池田ヒロ子氏が基本図書・鶴軒・宗辰文庫本はカタログ化したほか、浅見文庫は専門家によって整理され、すでに紹介したように目録が作成されるにいたる。そのほか、中国本・拓本・地図類も比較的整理されて配架される。

現在の三井文庫本の状態を述べると、東アジア図書館の建物である Durant Hall の地階に、上記の今関・浅見文庫などとは別に、約8,000冊の写本だけが書棚に積まれている。日本から運び込まれた後、写本だけはすべて抜き出して、別の扱いをしていたらしい。図書館の3階の書庫には、ジャンル別にした板本が置かれている。そのほか、生物学科図書館別館（The Life Sciences Building annex）の6階にも、日本関係の活字本に混じって、三井文庫本の板本が書架の各所に配される。さらに残りの4、5万冊が、パークレーから車で20分ばかり行ったリッチモンド（Richmond）の倉庫に、まさに累々と積み重ね、延々と並べられている。自動車会社フォードの工場だった建物を倉庫に利用しているとかで、中に入ると遙かにはるかすほど書架の波が続く。中央図書館、さらに多くの分館が飽和状態であるため、毎日のように倉庫に本が運び込まれ整理されている。ちなみにパークレー校の蔵書は650万冊で、国内ではハーバード大学に次ぐという。

このように、旧三井文庫本は、①東アジア図書館（地階と3階の書庫）、②生物学科図書館別館、③リッチモンドの倉庫の3箇所に分散されていることが分かった。総計すると、まさに10万冊は数えることができるであろう。中でもリッチモンドの倉庫には、4、5万冊の板本があるようで、鶴軒とか宗辰などといった、旧分類を用いて並べているようである。そのほか、明治期以降の日本関係の活字本も多く、「都の花」などといった明治の雑誌から最近の研究書にいたるまで、その数の多さには圧倒される思いであった。

板本は、漢籍・朝鮮本、それ以外の日本のものの一応の分類ができるが、もっとも整理に困ったのは、一括して集めていた写本だったようである。そこでハッフ館長の求めにより、1957年10月に京都大学の小倉親雄氏（現在は京都大学名誉教授）が招かれ、そこに1年間滞在して写本の整理に従事されたようである。一点一点調査し、1から1288番までのスリップをはさむとともに、書誌・伝本・内容等の考察を加えたメモをはさみ込まれた。しかし、その後本の移動などにより、配列は乱れてしまい、求める本を取り出すことは、まず絶望的な状態にあった。

これまでパークレー校に出かけて調査された人々の話や、報告されたものを読む限りでは、三井文庫本とはこの写本8,000冊を指していたようである。いずれの方も、三井文庫本は近世の写本ばかりで、未整理であるというのが、一致した見解であった。渡米前に、売られた本は約10万冊だったと知り、一体大多数の本はどうなっているのかと不思議に思っていたのだが、3カ所に分散されているのを知り、謎の氷解する思いだった。ハッフ女史の回想記やシャーマン氏の論文を読み、シャイプリー館長や図書館の由谷英二氏などに、三井文庫本の行方を知りたいと厄介なこ

とをお願いした結果であり、その点でもなにかと御配慮いただいたことをありがたく思う次第である。

4 調査と整理

パークレー校に三井文庫本が移されて後、いく人もの日本の研究者が訪れながら、その全貌はまったくつかむことができず、写本8,000余冊がそのすべてであると誤解し続けていた。当然10万冊があるはずなのだが、探索されることもなくそのままになっていたのである。このように旧三井文庫本の分散された姿を確認することができたのは、我々が最初であろう。図書館の方の話によると、リッチモンドまで出かけて三井文庫本を見に行った研究者は、ほかにいなかったという。

ただ、我々の調査は8,000余冊の写本しか対象になかった。もうすこし全貌を知っていれば、調査人員や滞在日数などの計画も、もっと異なったものになっていたであろう。この写本については、図書館にカードのあることを知り、前もってそのコピーを作って日本を送っていただくよう依頼していた。このカードの書目の配列は漢字の部首引きの画数順で、それに通し番号(1~2877)が付ってあった。このカードの順序と書庫の本とがまったく対応しないことは、多くの人の証言によって知っていた。渡米までの準備として、その書目名をすべて罫紙に1行ごとに転写し、それぞれの空白にした備考欄に書誌が書き込めるようにした。もう1つは和紙を短冊形に裁断し、それにカードと対応する1から2877までの番号をナンバーリングで押した。書目カードの番号を登録番号とし、それぞれの本に番号カードをはさみ込むことにしたのである。このような調査方法をあらかじめお願いし、了承を得ることができた。

パークレー校での調査は、それほどスムーズにははかどらなかった。ただ、書庫のすぐ前の広い部屋を、我々の作業用として開放していただき、大きな机といくつもの書棚を壁に沿って置いていただいたのは、この上もなくありがたいことだった。書庫から本を次々と運び出していただき、その山の中から必要な本を取り出し、番号カードを挿入するとともに台帳にチェックし、100番台ごとに書棚に置く、というのがもっぱらの仕事であった。しかし、本を手にしてそれが何番に相当するのか、探し出すのが容易なことではない。1点数冊の本があちこちに分散していたり、表紙が欠けて書名が分からなかったり、書名があってもカードには見つからなかったりと、不明の本の山も高くなる一方である。一方では複数の冊数の本はばらばらにならないよう一応紐でしばったり、表紙のない本は袋とか仮の帙を作ったり、目のまわるほどの忙がしきだった。この作業を、朝9時から夕方5時まで続けて、ほぼ1週間でかたづけることができた。番号カードを入れた本は、1番から若い順に書庫にすべてを収めたのだが、結局カードがあっても本が見つからなかったり、本があってもカードがないのも出てきてしまった。

この基礎作業を終えた後、再び1点ずつ見ての書誌調査である。またまた書庫から本を取り出してもらうのだが、今度は番号カードを入れているので、1番から順番に運び出せる。このようにして、倉卒ながらまとめたのが、ここに示した目録である。ジャンル別に本を配列することも
267(74)

考えはしたが、内容を読んで調査する時間的な余裕がなかったため、今回はカードの番号順に並べることにした。この我々の整理によって、番号さえ言えば、書庫にはその順番に本を配架しているので、目ざす本がすぐさま出るようになった。

我々は仮に紐でしばったり、番号カードを挿入したが、図書館としては近く帙や箱を作って、本の保存をするとともに順番の乱れないようにするとのことであった。また、我々の帰国後のことだが、リッチモンドの倉庫から新しい別館に本を移す作業が始まり、三井文庫本もそのための整理を手がけたという。図書館には、写本以外にも三井文庫本の書目カードがあるが、それをまづ本にはさみ込むことから始めたところ、カードのない本、あるいはその逆の例などが多数あると聞いている。この数万冊の板本を、今後どのようにきちんと整理し目録化していくか、これが残された課題であろう。

我々が出かける直前に、ハーバード大学教授であったシャイブリー博士 (Donald Shively) が東アジア図書館長として赴任された。専門が日本史だけに古書の造詣も深く、なにかと調査について御配慮をいただいた。この点に関してはウイリアム・マッカラウ教授も同じことで、我々の滞在中数々のお世話にあずかった。さらに由谷英二氏にはこまごまとしたことまでお願いし、ずい分御迷惑をおかけしたのではないかと思う。それに石松久幸氏とともに本の出納・整理など、とくにこのお2人の御助力を心から感謝する次第である。また、補助者としてお手伝い下さった坂内泰子、ロジャー・シャーマンの両氏にもお礼を申し上げる。

「旧三井文庫本」への追憶

小倉親雄

一昨年8月のこと、未知の、東京の島本昌一氏から一通の書簡と、同氏が「研究と評論」誌上に発表された「益軒の止戈編について」と題する論文の抜刷を頂戴した。この論文は、同氏が昭和53年の秋、海外所在の日本文献についての調査に赴かれたとき、9月カリフォルニア大学パークレー校の東亜図書館地階に在る旧三井文庫写本中で偶然瞩目された「止戈編」についての研究であるが、その末尾に、

私は1か月近く調査したが、私を見る前に調査された人は五指に満たないものと思うが、なかに「Ogura」なる人が、1か年近くかかって丹念に調査されたく、氏の手になる書誌カードが挟まれている本が多かった。これは「アメリカ図書館思想の研究」(1977)の著者である小倉親雄氏であろうと思う。すると昭和33年頃であろうか。

と記されている。そしてお手紙は、拙著の中で滞米のことにも触れている箇所を頼りに、同氏ご推測の当否を質されたものであった。これが旧三井文庫本と私との係り合いを直接指摘された最初である。

このたび国文学研究資料館の伊井先生から、「旧三井文庫写本目録稿」が完成されたことを承り、顧みれば私が始めてこの写本に手を触れた時点からでもすでに4分の1世紀以上、いまその整理が一応完了し、研究者への便宜が拓かれようとしていることの大きな慶びもさることながら、私自身、今ではすでに遠くなった当時への追憶に、ほのかな感慨を禁じ得ない。

実のところ私の第1回の渡米は、昭和32年8月から翌年11月までの約1年半であったが、この「旧三井文庫本」のことについては、事前何んらの知識もなく、ましてやそれに自分自身が手を触れることになろうなどは、想像するすべもないことであった。すなわち「パークレー校」に到着して始めてこの集書に接し、終戦直後の大きな課題であった図書館の海外流出、その現実をここで見せつけられた思いで、しばし呆然というのが、いつわらないその時の実感であった。

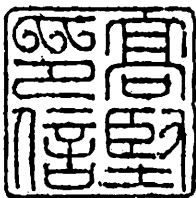
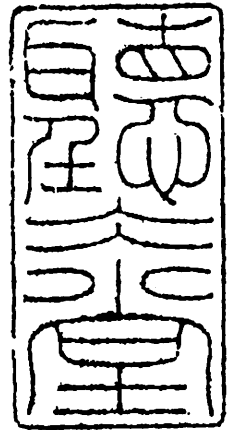
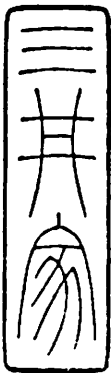
この私の最初の渡米は、当時国務省が進めていた「国際人物交流計画」の一環に、新しく「外国図書館専門家交流計画」が加えられ、日本では始めて私が指名されたという経緯によるものであった。もちろんここに至るまでにはその前に少くとも2年以上の期間が介在しており、こうした結果は、私の図書館歴、そして現に京都大学附属図書館事務長の職に在って、米国図書館人との間に親交が保たれていることなどによるものであったが、しかし私はこうした結果となる1年半ほど前に、図書館の現場からは離れ、教育学部に新設の図書館学講座にすでに係っており、こうした身分上の変更と相まって、私の渡米主目的も、もはや「図書館専門家」としてのものではなく、図書館学を担当・志向するものとしてのそれであり、何よりも先ずアメリカにおける図書

館学・図書館学教育の実態に触れること、そのためには、できるだけ多くの図書館学部をもつ主要な大学や、著名な図書館学者を訪問し、同時に図書館の現状と歴史とを学びとる点に在った。すなわち「旧三井文庫本」に手を触れることは、私のこうした主要目的とはなんらの係り合いもない埒外のことであった。

ただカリフォルニア大学は、本来は国務省・議会図書館両者の協同責任の下で進めることになっていた上記の「計画」に上乘りした形で、私がこの大学に滞在している限り、その経費を負担することを申し出で、代わりに私に対しては、この大学の中央図書館活動の面で、随意な形で、同館に対する援助をして欲しいというきわめて自由で漠然とした要望が付されていた。そして私の渡米目的に沿って、出来るだけ多く私を、アメリカの地域社会に導き入れるよう努力する積りであることも付け加えられていた。当時はまだ学生の身分以外で、長期滞米の機会を得ることは至って稀れであり、私もこうして提出された便宜の上で、上記の渡米主目的をある程度果し得たことは幸いでもあった。

しかしながらこの大学に到着し、東亜図書館の地階に、全く放置の状態にあった旧三井文庫の蔵書に接して、「中央図書館に対する援助」の語は、直接にはこの旧蔵書の措置に連なるものであることを知り、渡米目的を果すための調査・訪問・資料収集・長期旅行などのかたわら、時間の許す限り、写本の間簡単なメモを挟んだ黄色い小紙片を残す作業を続け、館員が後日目録作業を行う場合の参考に資することとした。したがって私の場合、主体的に調査に取り組んだものもなく、しぜん「丹念に調査」という語には値せず、しかも図書館人としての経歴のみで、国文学に対する特別の造詣を持ち合わせていない者である以上、正鶴が期し得られるものでもなく、ほんの地均らし程度のことに終っている。それにも拘わらず、専門家の後の調査に、いささかでも役立つものがあつたとすれば、それは私にとってまことに望外の喜びである。そして昨秋1か月余にわたり、国文学研究資料館のスタッフを中心に、この集書に対する「目録稿」が、国文学者によって成し遂げられたことによって、個々の写本は、太平洋を距てた異境に在って、正に蘇生の喜びを深くしていることであろう。

なおこの旧三井文庫本の中には、司法官としては異色の愛書家浅見倫太郎旧蔵の、一群の朝鮮本がある。図書館経歴の第一歩を、朝鮮総督府図書館に印し、朝鮮本との交わりを深くして来た私にとって、同氏収集に係る朝鮮古刊・古活字本にここで接したことはまことに驚異であつたが、また偶々この大学を訪れて来た当時のソウル大学大学院長、そして朝鮮史の偉大な権威であつた李丙森先生にも再会し、朝鮮稀覯書を前に、書物のたどる運命の数奇は、人間のそれに比して如何に大きなものであるかを、共に感慨深く語り合った記憶が、今もなお生々しい。

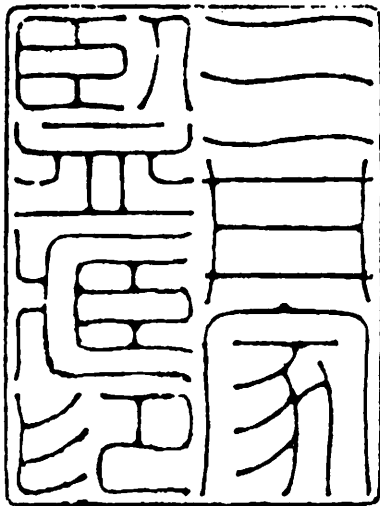




三井家藏冰閣



三井家鑒藏



三井家

三井家

三井家
纂室

三井家

三井文庫

三井文庫

三井家
藏

